HP LaserJet M9040/M9050 MFP
ユーザーズ ガイド

HP LaserJet M9040/M9050 MFP
ユーザーズ ガイド

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP 製品およびサービスの唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証書に規定されています。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

パーツ番号: CC395-90945

Edition 2, 10/2009

商標表示

目次

5 接続性

6 用紙と印刷メディア

7 印刷タスク

8 コピー

9 スキャンして電子メールに送信

付録 A サプライ品とアクセサリ

付録 B サービスおよびサポート

付録 C 仕様

付録 D 規制に関する情報

1　製品の基本情報

製品概要

図 1-1 HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP

HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP には、次の付属品が標準で含まれています。

- 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1)
- 500 枚給紙トレイ 2 個
- 2000 枚給紙トレイ 1 個
- 自動文書フィーダ (ADF)
- 10/100/1000Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー (Gigabit 対応)
- 384MB のランダム アクセス メモリ (RAM)
- 両面印刷ユニット
- ハードディスク
- 排紙デバイス

製品機能

HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP は、ワークグループで共有できるように設計されています。MFP は、コンピュータへの接続を必要としないスタンドアロンのコピー機です。MFP のコントロール パネルから、ネットワーク印刷を除くすべての機能を選択できます。

機能

- 両面コピーと両面印刷
- 画像修正
- カラー デジタル送信
- モノクロ印刷とモノクロ コピー
- ワイドフォーマット印刷
- ドキュメント仕上げ

速度とスループット

- HP LaserJet M9050 MFP でレターサイズまたは ISO (国際標準化機構) の A4 サイズの用紙にスキャンと印刷を行う場合、印刷速度は 50ipm (画像/分)
- HP LaserJet M9040 MFP でレターサイズまたは ISO の A4 サイズの用紙にスキャンと印刷を行う場合、印刷速度は 40ipm
- スキャナ ガラス使用時は 25 ～ 400% の倍率変更
- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) 使用時は 25 ～ 200% の倍率変更
- Transmit Once, Raster Image Processing (RIP) ONCE テクノロジ
- 8 秒で最初のページを出力
- 負荷サイクルは最大 300,000 画像/月
- 533MHz (メガヘルツ) マイクロプロセッサ

解像度

- 600dpi、Resolution Enhancement テクノロジ (REt) 採用
- FastRes 1200 では最高速で 1200dpi の品質を提供
- 最高 220 のグレイ レベル

メモリ

- 384MB RAM、業界標準の 100 ピン DDR DIMM により 512MB まで拡張可能
- RAM をより有効に使用するためにデータを自動的に圧縮する MEt (Memory Enhancement technology: メモリ強化テクノロジ)

ユーザー インタフェース

- コントロール パネル上のグラフィック ディスプレイ
- 埋め込み型 Web サーバー - サプライ品やサポート情報へのアクセスに使用 (ネットワークに接続できる製品の場合)
- HP Toolbox ソフトウェア - MFP のステータスや警告情報の確認、情報ページの印刷などに使用

言語とフォント

- HP Printer Command Language (PCL) 6
- HP PCL 5e との互換性を確保
- プリンタ管理言語
- 80 種類のスケーラブルな TrueType 書体
- HP PostScript 3 エミュレーション

コピーと送信

- テキスト、グラフィック、およびテキストとグラフィックの混合用のモード
- ジョブ割り込み機能 (コピー セットの区切りで割り込み)
- 1 枚の用紙に複数ページを印刷
- オペレータ介入アニメーション (たとえば、紙詰まり除去など)
- 書籍をコピー可能
- 電子メールの互換性
- エネルギーを節約するスリープ機能
- 1 回通過させるだけで両面をスキャン

プリント カートリッジ

- 装着時に振る必要のないカートリッジ設計
- HP 純正プリント カートリッジ検出
- 密閉シールの自動除去

用紙ハンドリング

- **給紙**
  - **トレイ 1 (多目的トレイ):** 普通紙、OHP フィルム、ラベル、封筒対応の汎用トレイ。普通紙 100 枚、封筒 10 枚まで収納。
  - **トレイ 2 および 3:** 2 個の 500 枚収納トレイ。このトレイには、標準の用紙サイズ (最大サイズは 11 x 17/A3) に対する自動用紙検出機能が備わっており、カスタムサイズの用紙にも対応しています。

- **トレイ 4 (2000 枚給紙トレイ):** このトレイには、標準の用紙サイズ (最大サイズは 11 x 17/A3) に対する自動用紙検出機能が備わっており、カスタムサイズの用紙にも対応しています。
- 自動原稿送り装置 (ADF): レターサイズまたは A4 サイズの用紙は 100 枚まで、11 x 17 または A3 サイズの用紙は 50 枚まで収納できます。
- **両面印刷**： 両面印刷 (用紙の両面への印刷) 機能が備わっています。

- **排紙**

  MFP では、次の排紙デバイスのいずれかを選択して装備します。

  - **3000 枚収納スタッカ**： 用紙を 3,000 枚まで収納できます。

    上部ビン (上向きビン): 用紙を 100 枚まで収納できます。

    下部ビン (下向きビン): 用紙を 3,000 枚まで収納できます。排紙ビンは、排紙デバイスの一部です。

  - **3000 枚用ステイプラ/スタッカ**： 1 つのジョブにつき用紙 50 枚まで (または最大 5mm (0.2 インチ) の厚さまで)、複数位置でのステイプル留めが可能です。

    上部ビン (上向きビン): 用紙を 100 枚まで収納できます。

    下部ビン (下向きビン): 用紙を 3,000 枚まで収納できます。排紙ビンは、排紙デバイスの一部です。

  - **マルチファンクション フィニッシャ**： 用紙を 1,000 枚まで収納できる用紙スタック デバイスです。ドキュメント 1 つあたり 50 枚までステイプルで留めることができます。また、ブックレット (用紙 10 枚まで) の折り畳み/中綴じも可能です。

    上部ビン (上向きビンと下向きビン): 用紙を 1,000 枚まで収納できます。

    下部ブックレット ビン：ブックレットを 50 冊まで収納できます。

  - **8 ビン メールボックス**： スタッカ、丁合い、ジョブ仕分けの役割を果たすビンです。8 つのメールボックス ビンを備えており、各メールボックスをユーザーやワークグループごとに割り当てることができるため、出力した印刷物を簡単に見分けることができます。8 ビン メールボックスでは、どのビンにも A4 またはレターサイズの用紙を 2,000 枚まで収納可能です。

    上部ビン (上向きビン): 用紙を 125 枚まで収納できます。

    ビン 1 ～ ビン 8 (下向きビン): それぞれ、用紙を 250 枚まで収納できます。

接続性

- 高速 USB 2.0 接続
- 外部インタフェース ハーネス (FIH) 接続 (AUX) によるサードパーティのコピー制御ソリューションとの接続
- HP JetDirect 635n IPv6/IPSec プリント サーバー. LAN コネクタ (RJ-45) (埋め込み型プリント サーバー搭載の場合)

- オプションのアナログ ファックス カード
- HP Jetdirect EIO プリント サーバー カード (オプション)
  - HP JetDirect 625n ギガビット Ethernet 内蔵プリント サーバー
  - IPV6/IPSec

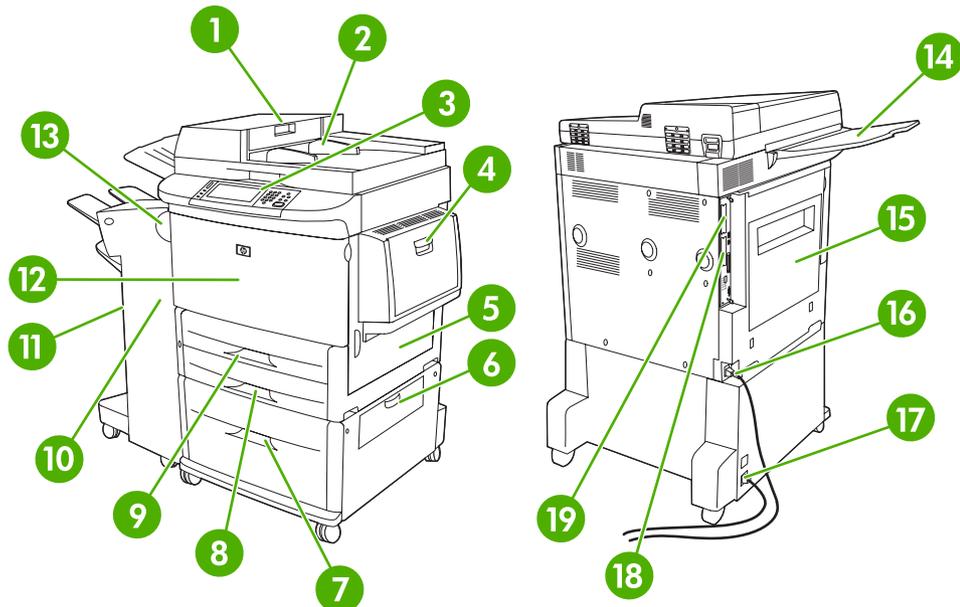
環境への配慮

- スリープ設定による省エネ機能 (Energy Star® 1.0 ガイドラインに準拠、HP LaserJet M9050 MFP のみ)
- ファームウェアを更新することにより、MFP ファームウェアをアップグレードできます。最新のファームウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/ljm9040mfp_firmware または www.hp.com/go/ljm9050mfp_firmware にアクセスして、画面に表示される指示に従ってください。HP Web Jetadmin ソフトウェア (www.hp.com/go/webjetadmin) を使用すると、複数の製品にファームウェア更新ファイルを簡単に送信できます。
- 選択した印刷ジョブは、内蔵ハード ディスクに保存できます。このハード ディスクは RIP ONCE テクノロジに対応可能なため、ダウンロードしたフォントとフォームを MFP に保存することができます。標準的な製品のメモリとは異なり、このハード ディスクに保存した情報は、MFP の電源を切っても維持されます。ハード ディスクにダウンロードされたフォントは、同じ MFP に接続しているすべてのユーザーが利用できます。
- オプションの EIO ハード ディスク アクセサリを使用すると、フォントとフォームを保存する機能を追加できます。EIO ハード ディスク アクセサリは、RIP ONCE や保存ジョブなどのタスクに対しては使用されません。これらのタスクに対しては、内蔵ハード ディスクが使用されます。どちらのディスクも、セキュリティ ソフトウェアを追加して書き込み禁止にすることができます。

セキュリティ機能

- 外部インタフェース ハーネス
- Secure Disk Erase
- セキュリティ ロック
- ジョブ保留
- フロントパネル認証

各部の名称

図 1-2 各部の名称

1	文書フィーダのカバー
2	文書フィーダ (ADF)
3	コントロール パネル (タッチスクリーン式グラフィック ディスプレイ)
4	トレイ 1
5	右扉
6	上方用紙送り扉
7	トレイ 4
8	トレイ 3
9	トレイ 2
10	左扉 (排紙デバイス背面)
11	排紙デバイス
12	正面扉
13	両面印刷アクセサリ (MFP 内部)
14	ADF 排紙ビン
15	左扉
16	プリンタの電源コード
17	トレイ 4 の電源コード
18	EIO スロット 1
19	コピー プロセッサ EIO カード

排紙デバイス

この MFP には、3000 枚収納スタッカ、3000 枚用ステイプラ/スタッカ、マルチファンクション フィニッシャ、または 8 ビン メールボックスが付属しています。

3,000 枚収納スタッカ

- A4 またはレターサイズの用紙を 3,000 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズの用紙を 1,500 枚まで収納
- ジョブのオフセット、またはジョブの最初のページのオフセットが可能

下部ビン (下向きビン) が、すべての出力ジョブのデフォルト ビンになります。

3,000 枚用ステイプラ/スタッカ

用紙処理の機能

- A4 またはレターサイズの用紙を 3,000 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズの用紙を 1,500 枚まで収納
- ジョブのオフセット、またはジョブの最初のページのオフセットが可能

上部ビン (上向きビン) が、すべての出力ジョブのデフォルト ビンになります。

ステイプル情報

3,000 枚用ステイプラ/スタッカでは、75g/m2 (20 ポンド) の用紙で 2 〜 50 枚までのドキュメントをステイプルで留めることができます。用紙の厚みに換算すると、5mm (0.2 インチ) の高さまで対応可能です。対応する用紙は、MFP で使用できるサイズの 64 〜 199g/m^2 (17 〜 53 ポンド) の用紙です。

- 厚紙を使用すると、枚数の制限が 50 枚未満になる場合があります。
- 用紙が 1 枚だけの場合、または 50 枚を超える場合、ステイプル留めは実行されませんが、MFP はジョブをコピーまたは印刷します。

通常、ステイプル留めは、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択します。詳細については、「プリンタ ドライバ設定の変更」を参照してください。オプションを選択する手順と方法は、プログラムまたはドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラを選択できない場合は、MFP のコントロール パネルから選択できます。手順の詳細については、108 ページの 「文書のステイプル留め」を参照してください。

マルチファンクション フィニッシャ

用紙処理の機能

- A4 またはレターサイズの用紙の場合は 1,000 枚まで、A3 または 11 x 17 サイズの用紙の場合は 500 枚まで収納
- A3 またはレジャーサイズのブックレット (5 ページ分) を 40 冊分まで収納
- ジョブのオフセットが可能

- A4 またはレターサイズの用紙のステイプル留め (50 枚まで)
- A3 またはレジャーサイズの用紙のステイプル留め (25 枚まで)
- 折り畳み (1 枚ずつ)
- 5 ページのブックレットの場合は 40 冊分まで、10 ページのブックレットの場合は 20 冊分まで、折り畳み/中綴じして収納

ステイプル情報

このフィニッシャでは、A4 またはレターサイズ用紙で 2 ～ 50 枚のドキュメント (75g/m2、20 ポンド)、A3 または 11 x 17 サイズ用紙で 25 枚までのドキュメントをステイプルで留めることができます。用紙の厚みに換算すると、5.5mm (0.22 インチ) の厚さまで対応可能です。対応する用紙は、MFP で使用できるサイズの 64 ～ 199g/m^2 (17 ～ 53 ポンド) の用紙です。

次の点にも注意してください。

- 上部ビン (スタッカ ビン) に収納できる用紙は 1,000 枚までです (ステイプル留めをしない場合)。マルチファンクション フィニッシャでは、ジョブを上部ビンに出力するときに、上向きで出力することも下向きで出力することもできます。
- 厚紙を使用すると、枚数の制限が 50 枚未満になる場合があります。

ステイプル留めの対象となるジョブの枚数が 1 枚のみか、50 枚を超える場合、ジョブは出力されますがステイプル留めは行われません。

ステイプル オプションは通常、ソフトウェアやプリンタ ドライバから選択できますが、プリンタ ドライバからしか選択できないオプションもあります。詳細については、55 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」を参照してください。オプションを選択する手順と方法は、プログラムまたはドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラを選択できない場合は、MFP のコントロール パネルから選択できます。手順の詳細については、108 ページの 「文書のステイプル留め」を参照してください。

ブックレット

ブックレット機能は、デスクトップ パブリッシング ソフトウェア (DTP ソフトウェア) などから使用できます。ブックレットの作成方法の詳細については、ご使用のプログラムに付属のユーザー ガイドを参照してください。

ご使用のプログラムでブックレットの作成がサポートされていない場合は、HP プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成できます。

注記： HP プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成する場合は、まずご使用のプログラムで印刷用のドキュメントを準備し、プレビュー機能で確認してから、ブックレットの印刷と折り畳み/中綴じ処理を行うことをお勧めします。

プリンタ ドライバを使用してブックレットを作成するには、次の手順に従います。

- ブックレットの準備 : ブックレット作成用に、用紙を調整 (組付け) します。ブックレットの組付けは、ご使用のソフトウェアで行うか、またはプリンタ ドライバのブックレット印刷機能を使用して行います。
- 表紙の作成 : 最初のページには異なるタイプの用紙を指定して、ブックレットの表紙を作成します。同じタイプの用紙を使って、ブックレットの表紙とすることもできます。ブックレットの表紙は、他の部分とサイズを同じにする必要がありますが、 用紙の重量は異なっていても構いません。
- 折り畳み/中綴じの使用 : 用紙は、短辺を給紙方向に合わせます。用紙を回転させるかどうかを確認するプロンプトが表示されます。マルチファンクション フィニッシャでは、ブックレットの中央がステイプル留めされます (中綴じ)。1 枚の用紙のみで構成されるブックレットの場合、ステイプル留めされずに折り畳まれます。複数枚の用紙で構成されるブックレットの場合、ステイプル留めを行った後で折り畳まれます。ブックレット 1 冊につき、用紙は 10 枚までです。

マルチファンクション フィニッシャのブックレット印刷機能で、「中綴じ」や「折り畳み」ができる用紙サイズは次のとおりです。

- A3
- A4 (回転) (A4-R)*
- レター (回転) (Letter-R)*
- リーガル
- レジャー

ブックレットの作成方法の詳細については、*HP マルチファンクション フィニッシャ ユーザーズ ガイド*を参照してください。このガイドは、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp から入手できます。

* A4-R および Letter-R は、それぞれ A4 サイズとレターサイズの用紙を給紙トレイの中で 90°回転させたものをいいます。

8 ビン メールボックス

- MFP の排紙量を標準用紙 2,000 枚まで増やすことが可能
- 用紙を 125 枚まで収納 (上向き) 可能な上部ビンを使用
- 印刷ジョブを 8 つの下向きビンに出力 (下向きに収納)、各ビンは用紙 250 枚まで収納可能
- 各種操作モード (メールボックス、スタッカ、ジョブ仕分け、並べ替え/丁合い) での収納オプションを選択可能

8 ビン メールボックスの詳細については、8 ビン メールボックスに付属のユーザー ガイドを参照してください。

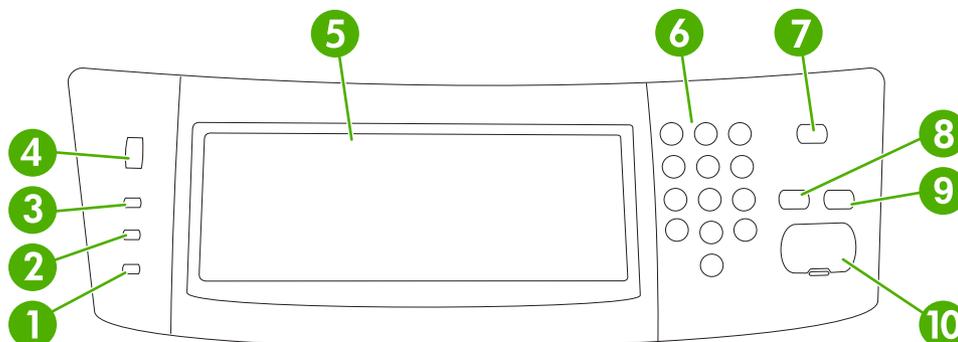
2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用

コントロール パネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできる VGA タッチスクリーンがあります。ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。LED は全体のデバイス ステータスを示します。

コントロール パネルのレイアウト

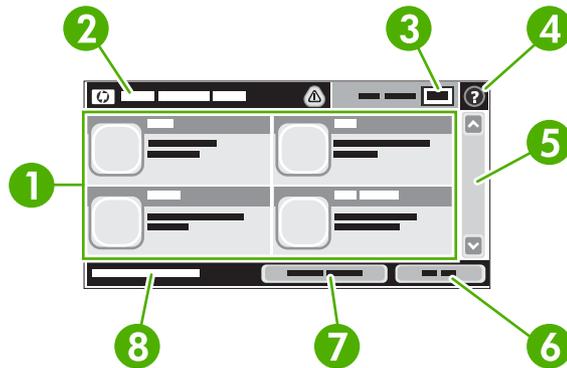
コントロール パネルには、タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ、ジョブコントロール ボタン、数字キーパッド、3 つの LED ステータス ランプが付いています。

図 2-1 コントロール パネル

1	**注意**ランプ	注意 ランプは、ユーザー操作が必要な状況であることを示します。たとえば、用紙トレイが空の場合やタッチスクリーンにエラー メッセージが表示される場合です。
2	**データ** ランプ	データ ランプは、デバイスがデータを受信中であることを示します。
3	**印刷可**ランプ	印刷可 ランプは、ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。
4	輝度調整ダイアル	タッチスクリーンの輝度を調整するには、このダイアルを回します。
5	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	このタッチスクリーンを使用して、デバイス機能を開いてセットアップします。
6	数字キーパッド	必要なコピー部数やその他の数値を入力できます。
7	スリープ ボタン	デバイスが長期間操作されなかった場合、自動的にスリープ モードに移行します。デバイスをスリープ モードにする場合、またはスリープ モードから復帰する場合、スリープ ボタンを押します。
8	リセット ボタン	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
9	停止 ボタン	アクティブなジョブを停止します。停止中に、コントロール パネルには停止したジョブのオプションが表示されます (たとえば、印刷ジョブの処理中に [停止] ボタンを押すと、コントロール パネルにその印刷ジョブをキャンセルするか再開するかを確認するメッセージが表示されます)。
10	スタート ボタン	コピー ジョブやデジタル送信を開始したり、中断したジョブを継続したりします。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。

注記： システム管理者の設定方法によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。

図 2-2 [ホーム] 画面

1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 ● コピー ● ファックス (オプション) ● 電子メール ● セカンダリ電子メール ● ネットワーク フォルダ ● ジョブ保存 ● ワークフロー ● サプライ品のステータス ● 管理
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。ステータス行に表示できるボタンの説明については、14 ページの 「タッチスクリーンのボタン」を参照してください。
3	コピー数	コピー数のボックスには、デバイスに設定された作成コピー数が表示されます。
4	ヘルプ ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
5	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
6	サインアウト	制限付きの機能にアクセスするためにデバイスにサイン インしている場合、サイン アウトするには、サインアウト にタッチします。サイン アウトすると、すべてのオプションがデフォルト設定に戻ります。
7	ネットワーク アドレス	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、ネットワーク アドレス にタッチします。
8	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。システム管理者は、日時の表示に使用する書式 (12 時間形式または 24 時間形式など) を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。ここにはさまざまなボタンが表示されます。次の表で各ボタンを説明します。

	[ホーム] ボタン。[ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。
	[スタート] ボタン。使用している機能の動作を開始するには、[スタート] ボタンにタッチします。 注記： このボタン名は機能ごとに変わります。たとえば、コピー 機能では、ボタン名が コピー開始 になります。
	[エラー] ボタン。[エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。[エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[警告] ボタン。デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。[警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[ヘルプ] ボタン。[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。詳細については、14 ページの 「コントロール パネルのヘルプ システム」を参照してください。

コントロール パネルのヘルプ システム

このデバイスには、各画面の使用方法を説明した内蔵のヘルプ システムがあります。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン () を押します。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーまたは警告が通知された場合、[エラー] () ボタンまたは [警告] () ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。また、問題を解決するための指示が記載されている場合もあります。

[管理] メニューの使用

[管理] メニューを使用して、デバイスのデフォルトの動作を設定したり、言語や日付/時刻形式などのその他のグローバル設定を行います。

注記： メニューが管理者によってロックされている場合があります。メニューまたはメニュー項目を使用できない場合は、管理者に連絡してください。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の 管理 をタッチしてメニュー構造を開きます。この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

[管理] メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。前のレベルに戻るには、戻る にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅にある [ホーム] ボタン () にタッチします。

メニューで使用できる各機能については、デバイスのヘルプで説明しています。ヘルプは、タッチスクリーンの右側にあるメニューの多くに使用できます。また、グローバル ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン () にタッチします。

以下の表に、各メニューの全体構造を示します。

情報メニュー

[管理] > [情報]

デバイス内に保存されている情報ページとレポートを印刷するには、このメニューを使用します。

表 2-1 情報 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定ページ	管理メニュー マップ		印刷	[管理] メニューの基本構造と現在の管理設定を表示します。
	設定ページ		印刷	現在のデバイス設定が表示される設定ページです。
	サプライ品ステータスページ		印刷	カートリッジ、保守キット、ステイプルなどのサプライ品のステータスを示します。
	使用状況ページ		印刷	各用紙のタイプとサイズについて印刷されたページ数に関する情報が表示されます。
	ファイル ディレクトリ		印刷	デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、ストレージ デバイスの情報が記載されたディレクトリ ページです
ファックス レポート (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)	ファックス使用状況ログ		印刷	このデバイスが送受信したファックスのリストが記載されます。
	ファックス コール レポート	ファックス コール レポート	印刷	送信または受信した最後のファックス操作の詳細なレポートです。
		レポート上のサムネイル	はい いいえ (デフォルト)	レポートにファックスの 1 ページ目のサムネイルを含めるかどうかを選択します。
		レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 (デフォルト) 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
	請求書コード レポート		印刷	送信ファックスに使用された請求書コードのリストです。このレポートには、各コードに請求された送信ファックスの数が表示されます。
	ブロックされたファックス リスト		印刷	このデバイスへのファックス送信がブロックされている電話番号のリストです。
	短縮ダイアル リスト		印刷	このデバイスにセットアップされている短縮ダイアルを表示します。
サンプル ページ/フォント	PCL フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PCL (printer control language) フォントのリストを印刷します。
	PS フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PostScript フォントのリストです。

[デフォルト ジョブ オプション] メニュー

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション]

このメニューを使用して、各機能のデフォルト オプションを指定します。ジョブを作成するときにこのオプションを指定しない場合には、デフォルトのオプションが使用されます。

デフォルト ジョブ オプション メニューには、以下のサブメニューが含まれます。

- 原稿のデフォルト オプション
- デフォルト コピー オプション
- デフォルト ファックス オプション
- デフォルト電子メール オプション
- デフォルトでフォルダに送信するオプション
- デフォルト印刷オプション

原稿のデフォルト オプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [原稿のデフォルト オプション]

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-2 [原稿のデフォルト オプション] メニュー

メニュー項目	値	説明
用紙サイズ	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙サイズを選択します。
片面/両面	1 (デフォルト)	原稿のコピーまたはスキャン時に、片面と両面のどちらを使用するかを選択します。
	2	
印刷の向き	縦 (デフォルト)	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短い方の辺を上にする場合は 縦 を選択し、長い方の辺を上にする場合は 横 を選択します。
	横	
テキスト/画像の最適化	手動調整 (デフォルト)	この設定を使用して、特定タイプの原稿出力を最適化します。テキスト、画像、混合の出力を最適化します。 手動調整 を選択した場合、もっとも頻繁に使用されるテキストと画像の混合を指定できます。
	テキスト	
	印刷された写真	
イメージ調整	濃さ	この設定を使用して、スキャンまたはコピーする暗いまたは明るい原稿の出力を最適化します。
	背景のクリーンアップ	背景のクリーンアップ 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
	鮮明度	鮮明度 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。
厚手の原稿	標準 厚手の用紙	この設定は、ADF を使用するジョブの場合に重要です。この設定を変更すると、スキャン領域を移動するときの厚手の用紙に対する張力を調整できます。この設定は、重さが 100g/m^2 を超える用紙の出力品質に影響します。

デフォルト コピー オプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [デフォルト コピー オプション]

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-3 デフォルト コピー オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コピー部数		部数を入力します。出荷時のデフォルト設定は、1 です。	コピー ジョブのデフォルトの部数を設定します。
片面/両面		1 (デフォルト) 2	コピーのデフォルトの面数を設定します。
ステイプル/丁合い	ステイプル	なし (デフォルト) ステイプル オプション	部数のセットのステイプル留めおよび丁合いのオプションを設定します。文書を複数部数作成する場合、同時に 1 セット、照合によって正しい順序でページが設定されます。各ページのすべての部数が相互に隣合うことはありません。
	丁合い	オフ オン (デフォルト)	
排紙ビン		ビン番号/ビン名	必要に応じて、コピーのデフォルトの排紙ビンを選択します。
最小マージン		標準 (推奨) (デフォルト) 最小マージン出力	原稿が用紙の端近くに印刷されている場合、最小マージン 機能を使用して、用紙の端に影が印刷されるのを防ぐことができます。この機能を 縮小/拡大 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
自動的にマージンを含む		オフ (デフォルト) オン	この機能を選択すると、用紙の端近くの内容を含むイメージ全体を確実にコピーできます。必要な場合は、用紙の印刷可能領域のサイズに合わせてイメージがわずかに縮小されます。

デフォルト ファックス オプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [デフォルト ファックス オプション]

注記： このメニューは、HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用できます。

表 2-4 [ファックス送信設定] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
解像度		標準画質 (100x200dpi) (デフォルト) 高画質 (200x200dpi) 超高画質 (300x300dpi)	送信される文書の解像度を設定します。イメージの解像度が高くなると、dpi の数値が高くなり、表示がより精細になります。イメージの解像度が低くなると、dpi の数値が低くなり、表示はあまり精細ではなくなりますが、ファイル サイズは小さくなります。
ファックス ヘッダ		プリペンド (デフォルト) オーバーレイ	ページのファックス ヘッダの位置を選択します。 プリペンド を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の上に印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動します。[オーバーレイ] を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の最上部の上に重ねて印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動しません。オーバーレイ を使用すると、1 ページのファックスが 2 ページに分割されるのを防ぐことができます。

表 2-5 ファックス受信メニュー

メニュー項目	値	説明
ファックス転送	ファックス転送 PIN を変更	受信したファックスを別のファックス デバイスに転送するには、ファックス転送 と カスタム を選択します。これを選択したら、他のファックス デバイスの番号を 転送先番号 フィールドに入力します。初めてこのメニュー項目を選択すると、PIN を設定するよう指示されます。このメニューを使用するたびに、PIN を入力します。これは、[ファックス印刷] メニューのアクセスに使用するのと同じ PIN です。この PIN は 4 桁の数字です。
受信ファックスのスタンプ	有効 無効 (デフォルト)	このデバイスが受信するファックスの各ページに、日付、時刻、送信者の電話番号、およびページ番号を追加します。
用紙の大きさに合わせる	有効 (デフォルト) 無効	レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスを縮小して、レターサイズまたは A4 サイズのページに合わせることができます。この機能が [無効] に設定されている場合、レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスは複数のページにまたがって印刷されます。
ファックス用紙トレイ	自動 または特定のトレイを選択します。	受信ファックスに使用する用紙のサイズとタイプがセットされたトレイを選択します。
排紙ビン	<ビン名>	必要に応じて、ファックスに使用するデフォルトの排紙ビンを選択します。

デフォルト電子メール オプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [デフォルト電子メール オプション]

デバイスから送信された電子メールのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

メニュー項目	値	説明
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) JPEG TIFF M-TIFF	電子メールのファイル形式を選択します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	300 DPI 200 DPI 150 DPI (デフォルト) 75 DPI	解像度を選択するにはこの機能を使用します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。
カラー/黒	カラー スキャン (デフォルト) モノクロ スキャン	電子メールをモノクロまたはカラーのどちらにするかを指定します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルを保存するときに、使用する TIFF バージョンを指定するには、この機能を使用します。

デフォルトでフォルダに送信するオプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [デフォルトでフォルダに送信するオプション]

コンピュータに送信されたスキャン ジョブのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン モノクロ スキャン (デフォルト)	ファイルをモノクロとカラーのどちらにするかを指定します。
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) M-TIFF TIFF JPEG	ファイルのファイル形式を選択します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルを保存するときに、使用する TIFF バージョンを指定するには、この機能を使用します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	75 DPI 150 DPI (デフォルト) 200 DPI 300 DPI 400 DPI 600 DPI	解像度を選択するにはこの機能を使用します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。

デフォルト印刷オプション

[管理] > [デフォルト ジョブ オプション] > [デフォルト印刷オプション]

コンピュータから送信されるジョブのデフォルト オプションを設定するには、このメニューを使用します。

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-6 デフォルト印刷オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ジョブの印刷部数		値を入力します。	この機能を使用して、印刷ジョブのデフォルトの部数を設定します。
デフォルト用紙サイズ		(対応サイズのリスト)	用紙サイズを選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	計測単位	ミリメートル インチ	印刷ジョブの用紙サイズとして カスタム が選択されたときに使用されるデフォルトの用紙サイズを設定します。
	X の寸法		デフォルト カスタム用紙サイズ の幅の単位を設定します。
	Y の寸法		デフォルト カスタム用紙サイズ の高さの単位を設定します。
排紙ビン		<ビン名>	印刷ジョブのデフォルトの排紙ビンを選択します。
印刷面		片面 (デフォルト) 両面	この機能を使用して、印刷ジョブをデフォルトで片面に印刷するか、両面に印刷するかを選択します。
両面フォーマット		長辺 短辺	この機能を使用して、両面印刷ジョブのデフォルト スタイルを設定します。長辺 を選択すると、裏面のページ上下は正常な状態で印刷されます。このオプションは、左綴じで製本される印刷ジョブ用です。短辺 を選択すると、裏面のページが上下逆さまに印刷されます。このオプションは、上綴じで製本される印刷ジョブ用です。

[時刻/スケジューリング] メニュー

[管理] > [時刻/スケジューリング]

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープ モードへの移行と復帰の設定オプションを指定します。

注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
日付/時刻	日付形式		YYYY/MMM/DD (デフォルト) MMM/DD/YYYY DD/MMM/YYYY	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
	日付	月 日 年		
	時刻形式		12 時間制 (午前/午後) (デフォルト) 24 時間制	
	時刻	時間 分 午前 午後		
タイム ゾーン				この機能を使用して、現在地のタイム ゾーンを設定し、デバイスを夏時間に自動的に調整するかどうかを選択します。
スリープ遅延			1 分 20 分 30 分 45 分 (デフォルト) 1 時間 (60 分) 90 分 2 時間 4 時間	この機能を使用して、スリープ モードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
スリープ復帰時刻	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日		オフ (デフォルト) カスタム	カスタム を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。このスケジュールに合わせてスリープ モードが終了します。スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	金曜日 土曜日 日曜日			時間を節約できるため、ウォーム アップが完了するまで待つ必要はなくなります。
スリープ時刻	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日		オフ (デフォルト) カスタム	カスタム を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ時刻を設定します。このスケジュールに合わせてスリープ モードが開始します。スリープ スケジュールを使用すると、電力の節約に役立ちます。
ファックス印刷 (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)	ファックス印刷モード		全受信ファックスを保存 全受信ファックスを印刷 (デフォルト) ファックス印刷スケジュールの使用	プライベート ファックスのセキュリティが心配な場合、印刷スケジュールを作成して自動的に印刷するのではなく、この機能を使用してファックスを保存します。 ファックスの印刷スケジュールの場合、ファックスを印刷する日時を選択するメッセージが表示されます。
	PIN を変更			ファックス印刷 メニューと ファックス転送 メニューへのアクセスに必要な PIN 番号を変更するには、PIN を変更 を選択します。この PIN は 4 桁の数字です。

[管理] メニュー

[管理] > [管理]

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。

注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-8 **管理 メニュー**

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ネットワーク アドレス ボタン		ディスプレイ (デフォルト) 非表示	コントロール パネルのホーム画面に ネットワーク アドレス ボタンを表示するには、このオプションを選択します。
保存されたジョブ管理	クイック コピー ジョブ保存制限	保存する最大ジョブ数を選択します。	デバイスに保存されているジョブの表示と管理を行うには、このメニューを使用します。
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト	オフ (デフォルト) 1 時間 4 時間 1 日 1 週	
スリープ モード		無効 スリープ遅延を使用 (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 時刻/スケジューリング メニューで指定した遅延時間後に、スリープ モードに移行するようにデバイスを設定するには、スリープ遅延を使用 を選択します。
サプライ品を管理	黒カートリッジを交換してください	残量少で停止 空で停止 空を無視 (デフォルト)	このメニューを使用すると、サプライ品を発注するしきい値の変更など、サプライ品の管理タスクを実行できます。
	サプライ品残量低下/注文しきい値	範囲内の値を選択します。	

[初期セットアップ] メニュー

[管理] > [初期セットアップ]

初期セットアップ メニューには次のサブメニューがあります。

- ネットワークおよび I/O メニュー
- ファックス セットアップ メニュー
- 電子メール セットアップ メニュー

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

[管理] > [初期セットアップ] > [ネットワークおよび I/O]

表 2-9 ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
I/O タイムアウト		範囲内の値を選択します。出荷時のデフォルト設定は、15 秒 です。	I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。デバイスが印刷ジョブのために受信しているデータの流れが中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
内蔵 Jetdirect	オプション リストについては、26 ページの 表 2-10 「Jetdirect のメニュー」を参照してください。		
EIO <X> Jetdirect			

表 2-10 Jetdirect のメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	有効		オフ: TCP/IP プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト): TCP/IP プロトコルを有効にします。
	ホスト名		英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。ここで、xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの最後の 6 桁です。
	IPV4 設定	設定方法	HP Jetdirect プリント サーバーの TCP/IPv4 パラメータを設定する方法を指定します。 Bootp: BootP サーバーから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。 DHCP (デフォルト): DHCPv4 サーバーから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、DHCP の解放 メニューと DHCP の更新 メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			自動 IP: 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動: TCP/IPv4 パラメータを設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCP の解放	このメニューは、設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバーの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト): 現在の DHCP リースが保存されます。 はい: 現在の IP アドレスを解放します。プリンタが再起動して新しいアドレスを取得するまで、プリンタのネットワーク接続は失われます。
		DHCP の更新	このメニューは、設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバーの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト): プリント サーバーからは DHCP リースの更新は要求されません。 はい: プリント サーバーで IP アドレスのリースが更新されます。
		手動設定	(設定方法 が 手動 に設定されている場合のみ使用可能) プリンタのコントロール パネルからパラメータを直接設定します。 IP アドレス: プリンタ固有の IP アドレス (n.n.n.n)。この n の値は 0 ～ 255 です。 サブネット マスク: プリンタのサブネット マスク (m.m.m.m)。この m の値は 0 ～ 255 です。 Syslog サーバー: syslog メッセージの受信とログ生成に使用する syslog サーバーの IP アドレス。 デフォルト ゲートウェイ: 他のネットワークとの通信に使用するゲートウェイまたはルータの IP アドレス。 アイドル タイムアウト: TCP 印刷データ接続がアイドル状態になってから終了するまでの秒単位の時間 (デフォルトは 270 秒、0 はタイムアウトが無効になります)。
		デフォルトの IP	TCP/IP を再設定しなければならない場合 (BootP または DHCP を使用するように手動で設定するなど) にプリント サーバーがネットワークから IP アドレスを取得できないときにデフォルトで設定する IP アドレスを指定します。 自動 IP: リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 旧: 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。

表 2-10 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPV6 設定	有効	プリント サーバーで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ (デフォルト): IPv6 が無効になります。 オン: IPv6 が有効になります。
		アドレス	手動で IPv6 アドレスを設定するにはこの項目を使用します。 手動設定: TCP/IPv6 アドレスを有効にし、手動で設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCPV6 ポリシー	ルーターが指定されました (デフォルト): プリント サーバーが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。ルーターは、プリント サーバーが DHCPv6 サーバーからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 ルーターが使用できません: ルーターが使用できない場合、プリント サーバーは DHCPv6 サーバーからステートフル設定を取得する必要があります。 常時: ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバーは DHCPv6 サーバーからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバーが使用するプライマリ DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		手動設定	プリント サーバーに手動で IPv6 アドレスを設定するには、この項目を使用します。 有効: 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、オン を選択します。手動の設定を無効にするには、オフ を選択します。 アドレス: 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。

表 2-10 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシ サーバー		デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシ サーバーを指定します。プロキシ サーバーは、インターネット アクセスの際にネットワーク クライアントが通常使用するサーバーです。プロキシ サーバーは Web ページをキャッシュし、そのクライアントに対して一定のインターネット セキュリティを提供します。 プリント サーバーを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。名前の長さは 255 オクテットまでです。 ネットワークによっては、ISP (Independent Service Provider: 独立サービス プロバイダ) に問い合わせてプロキシ サーバー アドレス情報を入手する必要があります。
	プロキシ サーバーのポート		クライアントのにプリント サーバーが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ アクティビティのために予約されているポートを識別するもので、0 ～ 65535 の値を指定できます。
IPX/SPX	有効		オフ: IPX/SPX プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト): IPX/SPX プロトコルを有効にします。
	フレーム タイプ		ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。 自動 (デフォルト): フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。 EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP: Ethernet ネットワークのフレーム タイプ選択。
A Talk	有効		オフ : AppleTalk プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト): AppleTalk プロトコルを有効にします。
DLC/LLC	有効		オフ : DLC/LLC プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト): DLC/LLC プロトコルを有効にします。

表 2-10 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティ ページ印刷		はい: HP Jetdirect プリント サーバーの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。 いいえ (デフォルト): セキュリティ設定ページは印刷されません。
	安全な WEB		設定の管理に、内蔵 Web サーバーが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS Required (デフォルト): 安全で暗号化された通信のためには、HTTPS アクセスのみを受け入れます。プリント サーバーは保護されたサイトと表示されます。 HTTP/HTTPS optional: HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。
	IPsec またはファイアウォール		プリント サーバー上に IPsec または ファイアウォールを指定します。 維持: IPsec/ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。 無効 (デフォルト): プリント サーバー上の IPsec/ファイアウォール操作は無効になります。
	セキュリティのリセット		プリント サーバーの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。 いいえ (デフォルト): 現在のセキュリティ設定が維持されます。 はい: セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
診断	内部テスト		複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。 内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。内部テストを使用して、プリント サーバーのハードウェアと通信経路を確認します。テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、実行 を選択してテストを開始します。 実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが印刷されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。
		LAN HW テスト	注意： この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。 このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。ネットワークで外部の伝送はありません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は いいえ を選択します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		HTTP テスト	このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバーがテストされます。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は いいえ を選択します。
		SNMP テスト	このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は いいえ を選択します。
		すべてのテストを選択	使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。 すべてのテストを選択するには、はい を選択します。個々のテストを選択するには、いいえ を選択します。
		データ経路テスト	このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。定義済み PS ファイルがデバイスに送信されますが、テストはペーパーレスになり、印刷は実行されません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は いいえ を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。1 ～ 60 時間の値を選択できます。ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	いいえ*: 選択したテストを開始しません。 はい: 選択したテストを開始します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		排紙先 IP	IPV4: IPv4 アドレスを入力します。 IPV6: IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		ページ カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。1 ～ 100 の値を選択します。テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		印刷の結果	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。結果を印刷するには、はい を選択します。いいえ (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。Ping テストを実行するには はい を選択し、実行しない場合は いいえ を選択します。

表 2-10 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロール パネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。次の項目を選択できます。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストに送信されたパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから受信したパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから応答がなかった Ping テスト パケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping が進行中	Ping テストが進行中がどうかを表示します。はい はテストが進行中であることを示し、いいえ はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テスト データに更新されます。データを更新するには [はい]、既存のデータを維持するには [いいえ] を選択します。ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメイン メニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度			プリント サーバーのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリント サーバーによって変わります。次のリンク設定のいずれかを選択します。 注意： リンク設定を変更する場合、プリント サーバーとネットワーク デバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。 自動 (デフォルト): プリント サーバーは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチ ポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。 10T ハーフ: 10 Mbps、半二重操作。 10T フル: 10 Mbps、全二重操作。 100TX ハーフ: 100 Mbps、半二重操作。 100TX フル: 100 Mbps、全二重操作。

表 2-10 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			100TX 自動: 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。 1000TX フル: 1000 Mbps、全二重操作。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

ファイアウォール セットアップ

[管理] > [初期セットアップ] > [ファックス セットアップ]

注記： このメニューは、HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用できます。

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
必要な設定	国/地域		(表示される国/地域)	ファックスの送信に関して法的に必要な設定を行います。
	日付/時刻			
	ファックス ヘッダ情報	電話番号		
		会社名		
PC ファックス送信			無効	この機能を使用して、PC ファックス送信 を有効または無効にします。ファックス送信ドライバをインストールしている場合は、PC ファックス送信 を使用して、コンピュータからデバイスを通じてファックスを送信することができます。
			有効 (デフォルト)	

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信設定	ファックス ダイアル音量		オフ 低 (デフォルト) 高	この機能を使用して、デバイスがファックス番号をダイアルするときのトーンの音量を設定します。
	エラー修正モード		有効 (デフォルト) 無効	[エラー修正モード] が有効で、ファックス送信時にエラーが発生した場合、エラーが発生した部分をもう一度デバイスで送受信します。
	JBIG 圧縮		有効 (デフォルト) 無効	JBIG 圧縮を使用すると、ファックスの送信時間が短縮されるため、通話費用を抑えることができます。ただし、JBIG 圧縮を使用すると、古いファックス機との間に互換性の問題が起きる場合があります。この問題が発生する場合は、JBIG 圧縮をオフにします。
	最大ボーレート		リストから値を選択します。デフォルト値は 33.6K です。	ファックス受信の最大ボー レートを設するには、この機能を使用します。これは、ファックスの問題のトラブルシューティング用の診断ツールとして使用できます。
	TCF T.30 遅延タイマ		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	TCF 延長		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	ダイアル モード		トーン (デフォルト) パルス	トーン ダイアルまたはパルス ダイアルのどちらを使用するかを選択します。
	通話中の場合のリダイアル回数		範囲は 0 ～ 9 です。出荷時のデフォルト設定は 3 回です。	回線が使用中の場合に、リダイアルを試行する回数を入力します。
	無応答時のリダイアル回数		なし (デフォルト) 1 回のみ 2 回	この機能を使用して、受信者のファックス番号が応答しない場合のダイアル試行回数を指定します。 注記： 2 回 は、米国とカナダ以外の地域で使用できます。

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	リダイアル間隔		範囲は 1 ～ 5 分です。出荷時のデフォルト設定は 5 分です。	この機能を使用して、受信者の番号が通話中や応答しないときのダイアル試行の回数を指定します。
	ダイアル トーンを検出		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックスを送信する前に、デバイスがダイアル トーンを確認するかどうかを指定します。
	ダイアル プレフィックス		オフ (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、デバイスからファックスを送信するときにダイアルする必要があるプレフィックス番号を指定します。
	請求書コード		オフ (デフォルト) カスタム	請求書コードを有効にすると、送信ファックスに請求書コードの入力を指示するメッセージが表示されます。 範囲は 1 ～ 16 桁です。デフォルトの設定は、1 桁です。
ファックス受信設定	応答するまでの呼び出し回数		範囲は地域によって変わります。出荷時のデフォルト設定は 2 回です。	この機能を使用して、ファックス モデムが応答するまでに鳴らす呼び出し音の回数を指定します。
	呼び出し間隔		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定は、一部の PBX（構内交換機）で呼び出し信号を調整する必要がある場合に使用します。この設定は、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。
	呼び出し回数		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	呼び出し音量		オフ 低 (デフォルト) 高	ファックスの呼び出し音量を設定します。
	ブロックするファックス番号	ブロック番号を追加	追加するファックス番号を入力します。	この機能を使用して、ブロックするファックス リストに電話番号を追加または削除します。ブロックするファックス リストには、30 までの番号を含めることができます。デバイスは、ブロックするファックス番号を受信すると、その受信ファックスを削除します。また、ブロックしたファックスをジョブ アカウント情報と一緒にアクティビティ ログに記録します。
		ブロックされた番号を削除	削除するファックス番号を選択します。	
		ブロックされた番号をすべてクリア	いいえ (デフォルト) はい	

電子メール セットアップ

[管理] > [初期セットアップ] > [電子メール セットアップ]

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。

注記： 詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバーを使用します。詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

表 2-12 電子メール セットアップ メニュー

メニュー項目	値	説明
アドレス確認	オン (デフォルト) オフ	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。有効な電子メール アドレスには "@" 記号と 1 つ以上の "." が必要です。
送信ゲートウェイの検出		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
SMTP ゲートウェイ	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
送信ゲートウェイのテスト		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

[管理] > [初期セットアップ] > [送信設定]

表 2-13 [送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
MFP の複製	値を入力します (IP アドレス)。	デバイス間でローカルの送信設定をコピーします。
新規 DSS への転送を許可	オフ オン (デフォルト)	この機能を使用すると、ある HP デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバーから別のサーバーへデバイスの転送が可能になります。 HP DSS は、ファックス送信、電子メール送信、スキャン済み文書のネットワーク フォルダへの送信など、デジタル送信タスクを処理するソフトウェア パッケージです。
デジタル送信サービスの使用を許可	オフ オン (デフォルト)	この機能を使用すると、HP DSS サーバーと共に使用するデバイスを設定できます。
ファックス番号の確認	無効 (デフォルト) 有効	デバイスのコントロール パネルで入力されたファックス番号の確認を有効にします。ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力する必要があります。
短縮ダイアルに一致したファックス番号	無効 (デフォルト) 有効	この機能を有効にすると、入力されたファックス番号が短縮ダイアル リストの既存のエントリと照合されます。一致するエントリが見つかった場合、そのエントリを確定すると、ファックス送信が自動的に実行されます。

[デバイス動作] メニュー

[管理] > [デバイス動作]

注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-14 デバイス動作 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
言語			リストから言語を選択します。	この機能を使用して、コントロール パネルのメッセージに使用する言語を選択します。新しい言語を選択すると、キーボードの配列も変わる場合があります。
キー打鍵音			オン (デフォルト) オフ	この機能を使用して、画面にタッチしたり、コントロール パネルのボタンを押すときに音を出すかどうかを指定します。
アイドル状態のタイムアウト			10 ～ 300 秒の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 秒です。	この機能を使用してタイムアウト時間を指定します (コントロール パネルで何かの操作を行い、そのまま放置したときにデバイスがデフォルト設定にリセットされるまでの時間です)。
警告/エラー動作	解除可能な警告		オン ジョブ (デフォルト)	この機能を使用して、コントロール パネルに解除可能な警告が表示される時間を設定します。
	継続可能なイベント		自動継続 (10 秒) (デフォルト) [OK] を押して続行	このオプションを使用して、デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。
	紙詰まり解除		自動 (デフォルト) オン オフ	この機能を使用して、デバイスが紙詰まり中に失われたページを処理する方法を設定します。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
トレイの設定	要求されたトレイを使用		優先 (デフォルト) 最初	この機能を使用して、デバイスが特定の給紙トレイを指定されたジョブを処理する方法を制御します。
	手差しプロンプト		常時 (デフォルト) セットしてから使用	この機能を使用して、ジョブのタイプまたはサイズが指定したトレイと一致せず、デバイスが代わりに汎用トレイから給紙するときにプロンプトを表示するかどうかを指定します。
	PS はメディアに従う		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、PS (PostScript) または HP の用紙処理モデルのどちらかを選択します。
	別のトレイを使用		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、指定したトレイが空の場合に別のトレイを選択するように求めるコントロール パネルのプロンプトをオンまたはオフにします。
	サイズ/タイプ プロンプト		ディスプレイ 非表示 (デフォルト)	この機能を使用して、トレイが開いたり、閉じたりするごとにトレイ設定メッセージを表示するかどうかを制御します。
	空白ページを両面印刷		自動 (デフォルト) はい	この機能を使用して、デバイスが両面印刷ジョブを処理する方法を制御します。
[排紙デバイス メニュー] **注記：** このメニューは、取り付けられている排紙デバイスによって異なります。				取り付けられている排紙デバイスの仕上げオプションを設定するには、このメニューを使用します。
通常のコピー動作	印刷ジョブを保留		オン オフ	コピー機のユーザーがジョブを設定している間は、印刷ジョブの印刷開始を保留します。
	保留時間			コピー ジョブの印刷完了後の指定時間の間、コピー以外の印刷ジョブの開始を保留します。
	事前スキャン		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、即時スキャンをオンにします。事前スキャン を有効にすると、原稿のページはディスクにスキャンされ、デバイスが使用可能になるまで保持されます。
	自動印刷中断		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、複数部の印刷を設定されたプライベート ジョブがコピー ジョブによって中断される可能性があります。 コピー ジョブは、印刷ジョブの 1 部の終了時に、プリント キューに挿入されます。コピー ジョブが完了すると、印刷ジョブの残りの部数について印刷が続行されます。
	コピー中断		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、現在印刷中のコピー ジョブは、新しいコピー ジョブが開始されるときに中断される可能性があります。現在のジョブを中断することを確認するメッセージが表示されます。
	代替レターヘッド モード		オフ (デフォルト)	片面コピーでも両面コピーでも、レターヘッドまたは印刷済み用紙をすべてのコピー ジ

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
			オン	ョブで同じ方法でトレイにセットするには、この機能を有効にします。このオプションを選択する場合は、両面印刷の場合と同様に用紙をセットします。この場合のコピーには、両面印刷に必要な時間がかかります。
通常の印刷動作	A4/レター代用		いいえ はい (デフォルト)	この機能を使用すると、A4 のジョブを送信したときに A4 サイズの用紙がデバイスにセットされていないときにレターサイズの用紙に印刷します (またはレターサイズの用紙を送信したときにレターサイズの用紙がセットされていないときに A4 の用紙に印刷します)。このオプションではまたタブロイド版の代わりに A3 の用紙に印刷したり、A3 の用紙の代わりにタブロイド版の用紙に印刷できます。
	手差し		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、ユーザーはコントロール パネルからジョブの用紙ソースとして手差しを選択できます。
	最小マージン無効		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、すべての印刷ジョブの全幅印刷モードをオンまたはオフにします。このモードは、印刷ジョブ内部で全幅印刷の PJL 変数によって上書きされることがあります。
	Courier フォント		標準 (デフォルト) 濃い	この機能を使用して、使用する Courier フォントのバージョンを選択します。
	ワイド A4		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、A4 サイズの用紙の印刷できる範囲を変更します。このオプションを有効にした場合、A4 用紙の 1 行に 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できます。
	PS エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、デバイスで PS (PostScript) エラーが発生したときに、PS エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	PDF エラーの印刷		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、デバイスで PDF エラーが発生したときに、PDF エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	パーソナリティ		自動 (デフォルト) PCL PDF PS	デバイスが使用するプリンタ言語を選択します。 通常は、プリンタ言語を変更しないでください。特定の製品言語の設定を変更する場合、特別なソフトウェア コマンドを送信しない限り、デバイスは 1 つの言語から別の言語に切り替えることはありません。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	PCL	用紙の行数	5 ～ 128 行の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 行です。	PCL とは、Hewlett-Packard がプリンタ機能にアクセスするために開発したプリンタ コマンドのセットです。
		印刷の向き	縦 (デフォルト) 横	印刷ジョブに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短い方の辺を上にする場合は 縦 を選択し、長い方の辺を上にする場合は 横 を選択します。
		フォント ソース	リストから言語を選択します。	この機能を使用して、ユーザー定義のソフト デフォルト フォントのフォント ソースを選択します。
		フォント番号	フォント番号を入力します。範囲は 0 ～ 999 です。出荷時のデフォルト設定は 0 です。	この機能を使用して、フォント ソース メニュー項目で指定されたソースを使用するユーザーソフト デフォルト フォントのフォント番号を指定します。デバイスは、各フォントに番号を割り当てて、PCL フォント リストに表示します (管理 メニューから利用可能)。
		フォント ピッチ	0.44 ～ 99.99 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、10.00 です。	フォント ソース と フォント番号 で輪郭フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのピッチを選択します (固定間隔フォントの場合)。
		フォント ポイント サイズ	4.00 ～ 999.75 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、12.00 です。	フォント ソース と フォント番号 で輪郭フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのポイント サイズを選択します (プロポーショナル フォントの場合)。
		シンボル セット	PC-8 (デフォルト) (50 種類の記号設定から選択)	この機能を使用して、コントロール パネルから複数の利用できるシンボル セットの 1 つを選択します。1 つのシンボル セットは固有のグループで、1 つのフォントの中の全文字が含まれます。
		LF に CR を追加	いいえ (デフォルト) はい	この機能を使用して、下位互換の PCL ジョブ (ジョブ コントロールのない純粋なテキスト) に使用される改行 (LF) にキャリッジ リターン (CR) を追加するかどうかを設定します。
		空白ページを省略	いいえ (デフォルト) はい	このオプションは、独自の PCL を作成するユーザーのためのオプションです。たとえば、フォーム フィードを余分に追加して空白ページを印刷させることができます。はい が選択されると、ページが空白の場合、改ページは無視されます。
		メディア ソース マッピング	標準 (デフォルト) クラシック	この機能を使用して、デバイス ドライバを使用していない場合や、ソフトウェア プログラムにトレイ選択オプションがない場合に、給紙トレイを番号で選択して管理します。

[印刷品質] メニュー

[管理] > [印刷品質]

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-15 印刷品質 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
登録の設定	テスト ページ	[印刷] (ボタン)	登録を設定する場合、テスト ページを印刷します。ページに印刷された指示に従って各トレイを調整します。
	ソース	すべてのトレイ トレイ <X>: <コンテンツ> トレイ <X>: <コンテンツ> (トレイを選択)	登録の設定 を使用して、ページの中央にイメージが配置されるように上下左右のマージン位置を調整します。表面に印刷される画像と裏面に印刷される画像の位置を合わせるように調整することもできます。 登録の設定 ページを印刷するためのソース給紙トレイを選択します。
	トレイ <X> の調節	X または Y 軸に沿って -20 ～ 20 の範囲で位置を調整します。0 がデフォルトです。	各トレイの位置を調整します。 イメージを作成する場合、シートが上から下へデバイスに*送られて*くると、デバイスはページを横方向に*スキャン*します。
フューザ モード	スタンバイ フューザ モード	摂氏 125° オフ	MFP がスタンバイ モードのときのフューザの温度を設定します。
	<用紙タイプ>		各メディア タイプに関連するフューザ モードを設定します。
	モードの復元	復元 (ボタン)	フューザ モードをデフォルト設定に戻します。
解像度		300 600 FastRes 1200 (デフォルト) ProRes 1200	印刷の解像度を選択するにはこの機能を使用します。
REt		オフ 薄手 中 (デフォルト) 濃い	レゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt) 設定を有効にします。斜めの線、曲線、輪郭をなめらかに表現できます。REt によって、FastRes 1200 を含め、すべての印刷の解像度が改善されます。
Economode		有効 無効 (デフォルト)	Economode が有効な場合、1 ページ当たりの印刷に必要なトナー量は減りますが、ページの印刷品質は低下します。
トナー濃度		1 ～ 5 の範囲から選択します。3 がデフォルトです。	ページの印刷濃度を調整します。1 が最も薄く、5 が最も濃くなります。
小型用紙モード		標準 (デフォルト) 低速	幅の狭い用紙に印刷するために MFP を調整するには、低速 を選択します。

表 2-15 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
校正/クリーニング	クリーニング ページの作成	作成 (ボタン)	フューザの圧力ローラーに付着したトナーをクリーニングするためのページを作成します。このページには、クリーニング手順が記載されています。
	クリーニング ページの処理	プロセス (ボタン)	クリーニング ページの作成 メニュー項目を使用して作成されたクリーニング ページを処理します。この処理には最長で 2.5 分かかります。

[トラブルシューティング] メニュー

[管理] > [トラブルシューティング]

注記： [トラブルシューティング] メニューの下にあるメニュー項目の多くは、高度なトラブルシューティングを目的としています。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
イベント ログ			印刷	このログは、コントロール パネル ディスプレイのイベント コードと対応するエンジン サイクルを示します。
ファックス T.30 トレース (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)	T.30 レポートの印刷			ファックス T.30 トレース レポートを印刷または設定します。T.30 は、ファックス機間のハンドシェイク、プロトコル、およびエラー修正を規定する規格です。
	レポート印刷時間		自動印刷しない (デフォルト) ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
ファックス送信信号損失 (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)			値は 0 ～ 30 です。デフォルト値は 0 です。	電話回線信号の損失に対して補正する損失レベルを設定します。ファックスが操作不能になる場合があるため、HP のサービス担当者から要求された場合以外は、この設定を変更しないでください。
ファックス V.34 (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)			標準 (デフォルト) オフ	ファックス エラーが何度も発生した場合や電話回線の状況により必要な場合に V.34 変調を無効にします。
ファックス スピーカ モード (HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 が取り付けられている場合にのみ使用可能)			標準 (デフォルト) 診断	ファックス変調音を聞いてファックスの問題を検討および診断するには、この機能を使用します。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
用紙経路テスト	テスト ページの印刷		印刷	用紙処理機能をテストするテスト ページを作成します。特定の用紙経路をテストするために、テストに使用する用紙経路を定義します。
	ソース		すべてのトレイ トレイ 1 トレイ 2 (適用できる場合、追加のトレイが表示されます)	テスト ページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	排紙先		すべての排紙ビン スタッカ ビン 標準排紙ビン	テスト ページの排紙オプションを選択します。すべての排紙ビンにテスト ページを送信するか、特定のビンにテスト ページを送信します。
	両面印刷		オフ (デフォルト) オン	両面印刷ユニットをテストに含めるかどうかを選択します。
	部数		1,10,50,100,500 デフォルト=1	テストの一部として、指定したソースから印刷するページ数を選択します。
サービス テスト			画面に表示される手順に従います。	プリンタが正常に動作しているかどうかを確認するための一連の手順が表示されます。また、用紙経路に用紙がないことも確認できます。
印刷/停止テスト			0 ～ 60,000 ミリ秒の値を指定します。デフォルトは 0 です。	印刷サイクル中にデバイスを停止させて、プロセスのどの部分で画質が低下するかを確認して問題を特定します。テストを実行するには、停止時間を指定します。デバイスに送信される次のジョブは、プロセスで指定されている時間に停止されます。
スキャナ テスト				サービス技術者が、このメニュー項目を使用してデバイス スキャナの潜在的問題を診断できます。
コントロール パネル	LED			コントロール パネルのコンポーネントが正常に機能していることを確認します。
	ディスプレイ			
	ボタン			
	タッチスクリーン			

[リセット] メニュー

[管理] > [リセット]

表 2-17 リセット メニュー

メニュー項目	値	説明
ローカルのアドレス帳をクリア	クリア (ボタン)	この機能を使用すると、デバイスに保存されているアドレス帳のすべてのアドレスが消去されます。
ファックス使用状況ログを クリア	はい いいえ (デフォルト)	この機能を使用すると、[ファックス使用状況ログ] からすべてのイベントが消去されます。
出荷時の通信設定に戻す	復元 (ボタン)	このオプションを使用して、初期セットアップ メニューの電話関連の設定を出荷時のデフォルト値に戻します。
出荷時の設定に戻す	復元 (ボタン)	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。
メンテナンスメッセージの クリア	クリア (ボタン)	保守キットを注文してください と 保守キットを交換してください という警告メッセージをクリアします。
サプライ品のリセット	新しい保守キット (はい/いいえ)	新しい保守キットを取り付けたことをデバイスに通知します。
キャリッジをロック	ロック (ボタン)	この機能を使用して、キャリッジをロックします。キャリッジのロックを外すには、MFP の電源を切って入れ直します。

サービス メニュー

[管理] > [サービス]

[サービス] メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Windows)

この製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応しています。

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 2000
- Windows Vista

対応プリンタ ドライバ (Windows)

- PCL 6
- PCL 5 - HP ユニバーサル プリンタ ドライバ ベースの製品固有ドライバ
- PS - HP ユニバーサル プリンタ ドライバ ベースの製品固有ドライバ

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) は、任意の場所から事実上すべての HP LaserJet 製品にすぐにアクセスできる単一のドライバです。製品ごとに別個のドライバをダウンロードする必要はありません。実証された HP プリンタ ドライバ テクノロジを基礎とし、徹底的にテストされ、多くのソフトウェア プログラムで使用されています。長期にわたり、一貫して動作する強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。両面印刷やステイプル留めなど、その製品に使用可能な機能が自動的に有効になるので、手動で有効にする必要がありません。

詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

従来モード	● CD から 1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードでインストールした場合、UPD は従来のプリンタ ドライバのように動作します。 ● このモードを使用する場合、コンピュータごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
動的モード	● モバイル コンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用すると、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。 ● ワークグループ用に UPD をインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

Windows 用の正しいプリンタ ドライバの選択

プリンタ ドライバは、製品機能にアクセスできるようにしたり、コンピュータがプリンタと通信できるようにしたりします (プリンタ言語を使用)。その他のソフトウェアや言語については、デバイスの CD に収録されているインストール ノートと Readme ファイルを参照してください。

HP PCL 6 ドライバの説明

- すべての Windows 環境での印刷向けです。
- 全体的に最高の速度、印刷品質に加え、ほとんどのユーザーに対する製品機能のサポートを提供します。
- Windows GDI (Graphic Device Interface) に合わせて開発されており、Windows 環境で最高の速度を実現します。
- PCL 5 ベースのサードパーティ製ソフトウェア プログラムおよびカスタム ソフトウェア プログラムとは完全な互換性がない場合があります。

HP PostScript エミュレーションの HP ユニバーサル プリンタ ドライバ ベースの製品固有ドライバの説明

- Adobe® ソフトウェア プログラムやグラフィックスを多用するその他のソフトウェア プログラムでの印刷向けです。
- PostScript Level 3 エミュレーションからの印刷が必要な場合、または PostScript フラッシュ フォントに対応する場合に使用できます。
- Adobe ソフトウェア プログラムを使用する場合は、PCL 6 ドライバより少し速く動作します。

HP PCL 5 の HP ユニバーサル プリンタ ドライバ ベースの製品固有ドライバの説明

- Windows 環境での一般的なオフィス印刷向けです。
- 以前の PCL バージョンや以前の HP LaserJet 製品と互換性があります。
- サードパーティ製ソフトウェア プログラムまたはカスタム ソフトウェア プログラムからの印刷に最適です。
- プリンタを PCL 5 に設定する必要がある混在環境 (UNIX、Linux、メインフレーム) で動作させる場合に最適です。
- 企業の Windows 環境用に設計されており、複数のプリンタ モデルで使用するシングル ドライバを提供します。
- Windows モバイル コンピュータから複数のプリンタ モデルで印刷する場合に適しています。

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より優先されることは*ありません*。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**: **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所で変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**：プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が変更*されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**：プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。 手順は変わることがあり、共通ではありません。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。

Windows ソフトウェアのインストール

Windows ソフトウェアのインストール (直接接続)

本製品のソフトウェアを直接接続環境にインストールする場合は、必ず、USB ケーブルを接続する前にソフトウェアをインストールしてください。また、標準の 2m の USB ケーブルを使用してください。

1. 実行中のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。
2. 本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

   ようこそ画面が表示されない場合は、次の手順に従って画面を起動します。

   a. **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。

   b. 「X:\setup」と入力します (X は、CD-ROM ドライブのドライブ文字です)。

   c. **[OK]** をクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、**[インストール]** をクリックします。

   プリンタ ドライバの画面が表示されます。
4. インストールするドライバを選択し、画面の指示に従います。
5. インストールが完了したら **[Finish]** をクリックします。
6. **[次の手順]** 画面で、必要に応じて **[追加]**、**[Tonal options]**、またはドライバを選択します。
7. **[終了]** を選択してインストーラを閉じます。
8. コンピュータを再起動します。
9. 任意のソフトウェア プログラムからテスト ページを印刷し、ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。

インストールが失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。それでもインストールできない場合は、本製品の CD-ROM に収録されているインストール ノートと Readme ファイル、または製品に同梱されているパンフレットを確認するか、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp にアクセスしてヘルプまたは詳細情報を参照してください。

Windows ソフトウェアのインストール (ネットワーク接続)

本製品の CD-ROM に収録されているソフトウェアは、Microsoft ネットワークを使用したネットワーク インストールに対応しています。その他のオペレーティング システムへのネットワーク インストールについては、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp をご覧ください。

インストーラは、Novell サーバー上でのプリンタのインストールまたはオブジェクトの作成には対応していません。Windows コンピュータとプリンタの間のダイレクトモードによるネットワーク インストールのみサポートされています。Novell サーバー上でプリンタのインストールおよびオブジェク

トの作成を行うには、HP ユーティリティ (HP Web Jetadmin など) または Novell ユーティリティ (NWAdmin など) を使用してください。

1. Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、または Windows Vista にインストールする場合は、管理者権限が必要です。
2. HP Jetdirect プリント サーバーとプリンタがネットワークに正しく接続されていることを確認します。設定ページを印刷して、HP Jetdirect ページを見つけます。HP Jetdirect ページで、現在設定されている IP アドレスを確認します。このアドレスは、ネットワーク上でプリンタを最初に識別し、インストールを完了するために必要になる場合があります。
3. 実行中のすべてのソフトウェア プログラムを終了します。
4. 本製品の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

   ようこそ画面が表示されない場合は、次の手順に従って画面を起動します。

   a. **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。

   b. 「X:\setup」と入力します (X は、CD-ROM ドライブのドライブ文字です)。

   c. **[OK]** をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、**[インストール]** をクリックします。プリンタ ドライバの画面が表示されます。
6. インストールするドライバを選択し、画面の指示に従います。
7. インストールが完了したら **[Finish]** をクリックします。
8. **[次の手順]** 画面で、必要に応じて **[追加]**、**[Tonal options]**、またはドライバを選択します。
9. **[終了]** を選択してインストーラを閉じます。
10. コンピュータを再起動します。
11. 任意のソフトウェア プログラムからテスト ページを印刷し、ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。

Windows 用ソフトウェアの削除

1. **[スタート]** をクリックして **[すべてのプログラム]** をポイントします。
2. **[HP]** を選択し、**[HP LaserJet M9040 および HP LaserJet M9050 MFP]** をクリックします。
3. **[Uninstall HP LaserJet M9040 および HP LaserJet M9050 MFP]** をクリックし、画面に表示される手順に従ってソフトウェアを削除します。

対応ユーティリティ

ネットワーク上の MFP を簡単に監視および管理できるようにするため、MFP にはいくつかのユーティリティが用意されています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット内の HP Jetdirect 接続プリンタ用のブラウザ ベースの管理ツールで、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールされます。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバーにインストールされると、Windows クライアントはサポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer 4.x または Netscape Navigator 4.x 以降など) を使用し、HP Web Jetadmin ホストに移動して、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

内蔵 Web サーバー

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバーが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

内蔵 Web サーバーはデバイスに組み込まれています。ネットワーク サーバーにはロードされません。

内蔵 Web サーバーが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、154 ページの 「情報ページ」を参照してください)。

内蔵 Web サーバーの機能の詳しい説明については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、以下の作業に使用できるプログラムです。

- 製品のステータスを確認する
- サプライ品のステータスを確認し、HP SureSupply を使用してサプライ品をオンラインで購入する
- 警告を設定する
- 製品の使用状況レポートを表示する
- 製品マニュアルを表示する
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする
- HP Proactive Support を使用して印刷システムを定期的にスキャンし、問題を防ぐ。HP Proactive Support を使用すると、ソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバを更新できます。

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、製品が直接コンピュータに接続されている場合、またはネットワークに接続されている場合に表示できます。

対応オペレーティング システム	• Microsoft® Windows 2000 • Microsoft Windows XP Service Pack 2 (Home および Professional) • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows Vista™
対応ブラウザ	• Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0

HP Easy Printer Care ソフトウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。この Web サイトには、対応ブラウザと、HP Easy Printer Care ソフトウェアに対応している HP 製品のリストに関する最新情報もあります。

HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳しい使用方法については、160 ページの 「HP Easy Printer Care ソフトウェアの起動」 を参照してください。

その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア

OS	ソフトウェア
UNIX	HP-UX および Solaris ネットワークの場合は、UNIX 用の HP Jetdirect プリンタ インストーラを www.hp.com/support/net_printing からダウンロードします。
Linux	詳細については、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

4 Macintosh での本製品の使用

Macintosh 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Macintosh)

このデバイスは、次の Macintosh オペレーティング システムに対応しています。

- Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降

注記： Mac OS V10.4 以降では、PPC および Intel Core Processor Macs に対応しています。

対応プリンタ ドライバ (Macintosh)

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP Printer ユーティリティが利用できます。

PPD は Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせることで、デバイス機能にアクセスできます。コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

Macintosh ソフトウェアのインストール

Macintosh ソフトウェアのインストール (USB による直接接続)

Mac OS X V10.2.8 の場合

1. 製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。CD-ROM が自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の [CD-ROM] アイコンをダブルクリックします。
3. HP LaserJet インストーラ フォルダ内の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。
5. 製品の USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。標準の 2 メートルの USB ケーブルを使用してください。

   注記： 製品をコンピュータに接続すると、USB 印刷キューが自動的に作成されます。ただし、USB ケーブルを接続する前にインストーラが実行されていない場合、キューには汎用 PPD が使用されます。

6. コンピュータのハード ドライブで、**[アプリケーション]** を開き、**[ユーティリティ]** を開いてから、**[プリント センター]** を開きます。
7. 製品名がプリンタのリストに表示された場合は、設定が完了しています。製品名がプリンタのリストに*表示されない*場合は、次の手順に進みます。
8. **[追加]** または **[+]** をクリックし、ドロップダウン リストから **[USB]** を選択します。プリンタのリストから製品名を選択します。
9. **[追加]** をクリックします。**[インストール可能なオプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。使用する製品オプションを選択します。
10. 任意のソフトウエア プログラムでテスト ページを印刷して、印刷システム ソフトウエアが正常にインストールされていることを確認します。

インストールに失敗した場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールにも失敗した場合は、デバイス CD に収録されたインストール ノート、または最新の readme ファイル、もしくはパッケージに同梱されているお知らせを参照してください。

Mac OS X V10.3 以降の場合

1. 製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。CD-ROM が自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の [CD-ROM] アイコンをダブルクリックします。
3. [HP LaserJet インストーラ] フォルダで **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. コンピュータの画面に表示される指示に従います。
5. 製品の USB ポートとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで接続します。標準の 2 メートルの USB ケーブルを使用してください。

注記： 製品をコンピュータに接続すると、USB 印刷キューが自動的に作成されます。ただし、USB ケーブルを接続する前にインストーラが実行されていない場合、キューには汎用 PPD が使用されます。

6. アップル メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。
7. 製品名がプリンタのリストに表示された場合は、設定が完了しています。製品名がプリンタのリストに*表示されない*場合は、次の手順に進みます。
8. **[追加]** または **[+]** をクリックし、 **[デフォルト ブラウザ]** または **[デフォルト]** を選択します。プリンタのブラウザから製品名を選択します。
9. **[追加]** をクリックします。**[インストール可能なオプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。使用する製品オプションを選択します。
10. 任意のソフトウェア プログラムからテスト ページを印刷し、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

    インストールに失敗した場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールにも失敗した場合は、デバイス CD に収録されたインストール ノート、または最新の readme ファイル、もしくはパッケージに同梱されているお知らせを参照してください。

Macintosh ソフトウェアのインストール (ネットワーク接続)

Mac OS X V10.2.8 の場合

1. HP Jetdirect プリント サーバーとコンピュータのネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。CD-ROM が自動的に実行されない場合は、デスクトップ上の [CD-ROM] アイコンをダブルクリックします。
3. HP LaserJet インストーラ フォルダ内の **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従います。
5. コンピュータのハード ドライブで、**[アプリケーション]** を開き、**[ユーティリティ]** を開いてから、**[プリント センター]** を開きます。
6. **[追加]** をクリックします。

7. ドロップダウン リストから、接続方法を選択します。

   [Rendezvous]

   a. リストから製品を選択します。

   b. プリンタのモデルがまだ選択されていない場合は選択します。

   [IP プリント]

   a. 製品の IP アドレスを入力します。

   b. プリンタのモデルがまだ選択されていない場合は選択します。

8. **[追加]** をクリックします。**[インストール可能なオプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。使用する製品オプションを選択します。

9. 任意のソフトウェア プログラムからテスト ページを印刷し、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

   インストールに失敗した場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールにも失敗した場合は、デバイス CD に収録されたインストール ノート、または最新の readme ファイル、もしくはパッケージに同梱されているお知らせを参照してください。

Mac OS X V10.3 以降の場合

1. HP Jetdirect プリント サーバーとネットワーク ポートをネットワーク ケーブルで接続します。

2. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、デスクトップの CD アイコンをダブルクリックします。

3. [HP LaserJet インストーラ] フォルダで **[インストーラ]** アイコンをダブルクリックします。

4. コンピュータの画面に表示される指示に従います。

5. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。

6. **[追加]** または **[+]** をクリックします。

7. 接続方法を選択します。

   [デフォルト ブラウザ]

   a. リストから製品を選択します。

   b. **[プリンタ名]** ドロップダウン リストで、プリンタ モデルが選択されていない場合は選択します。

   [IP プリンタ]

   a. [プロトコル] ドロップダウン リストから **[HP Jetdirect Socket]** を選択します。

   b. 製品の IP アドレスを入力します。

   c. **[プリンタ名]** ドロップダウン リストで、プリンタ モデルが選択されていない場合は選択します。

8. **[追加]** をクリックします。**[インストール可能なオプション]** ダイアログ ボックスが表示されます。使用する製品オプションを選択します。

9. 任意のソフトウェア プログラムからテスト ページを印刷し、ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認します。

   インストールに失敗した場合は、ソフトウェアを再インストールします。再インストールにも失敗した場合は、デバイス CD に収録されたインストール ノート、または最新の readme ファイル、もしくはパッケージに同梱されているお知らせを参照してください。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP Printer ユーティリティ

HP プリンタ ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP プリンタ ユーティリティは、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP Printer ユーティリティを開く

Mac OS X バージョン 10.2.8 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.3 および V10.4 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開き、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。
2. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.5 で HP Printer ユーティリティを開く

▲ **[プリンタ]** メニューで **[プリンタ ユーティリティ]** をクリックします。

  または

  [プリンタ キュー] で **[ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

HP Printer ユーティリティ機能

HP Printer ユーティリティは、**[構成設定]** リストでクリックして開くページで構成されています。以下の表では、これらのページで実行できるタスクを説明します。

項目	説明
[設定ページ]	設定ページを印刷します。

項目	説明
[サプライ品のステータス]	デバイスのサプライ品のステータスを表示します。そこからサプライ品のオンライン注文リンクにアクセスできます。
[HP サポート]	技術的なサポート、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクルと返品についての情報にアクセスできます。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからデバイスにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからデバイスにフォントを転送します。
[ファームウェアのアップデート]	コンピュータからデバイスにアップデートされたファームウェアを転送します。
[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	[EconoMode] 設定をオンにしてプリンタのトナーを節約したり、トナー濃度を調節します。
[解像度]	REt 設定などの解像度設定を変更します。
[リソースのロック]	ハード ディスクなどの記憶装置をロックまたはロック解除します。
[保存ジョブ]	デバイスのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
[IP 設定]	デバイスのネットワーク設定を変更し、内蔵 Web サーバーにアクセスできるようにします。
[Bonjour 設定]	Bonjour サポートのオンとオフの切り替え、またはネットワーク上にリストされたデバイス サービス名の変更ができます。
[その他の設定]	内蔵 Web サーバーにアクセスできるようにします。
[電子メール警告]	デバイスを設定して、特定のイベントに対して電子メール通知を送信します。

印刷設定の優先度 (Macintosh)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所で変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**：ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**：プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**：プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintosh)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。 3. **[プリセット]** メニューで **[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。 これらの設定が **[プリセット]** メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。	**Mac OS X V10.2.8 の場合** 1. Finder の **[移動]** メニューで、**[アプリケーション]** をクリックします。 2. **[ユーティリティ]** を開き、**[プリント センター]** を開きます。 3. 印刷キューをクリックします。 4. **[プリンタ]** メニューで **[設定]** をクリックします。 5. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 注記： Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。 **Mac OS X V10.3 または Mac OS X V10.4 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[プリンタ設定]** をクリックします。 3. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 **Mac OS X V10.5 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[Options & Supplies]** (オプションとサプライ品) をクリックします。 3. **[ドライバ]** メニューをクリックします。 4. リストからドライバを選択して、オプションを設定します。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

対応ユーティリティ (Macintosh)

内蔵 Web サーバー

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバーが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

内蔵 Web サーバーはデバイスに組み込まれています。ネットワーク サーバーにはロードされません。

内蔵 Web サーバーが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。内蔵 Web サーバーにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、154 ページの 「情報ページ」を参照してください)。

内蔵 Web サーバーの機能の詳しい説明については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

Macintosh プリンタ ドライバの機能の使用

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Macintosh)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. 印刷設定を選択します。
4. **[プリセット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[プリセット]** ボックスで、使用する印刷機能のプリセットを選択します。

注記： プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[標準]** を選択します。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷

さまざまなサイズの用紙に合うように文書を拡大縮小できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[用紙処理]** メニューを開きます。
3. **[Destination Paper Size]** のエリアで **[Scale to fit paper size]** を選択し、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
4. 文書よりも小さな用紙だけを使用する場合は、**[Scale down only]** を選択します。

表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[表紙ページ]** メニューを開き、表紙ページを **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
4. **[表紙の種類]** メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

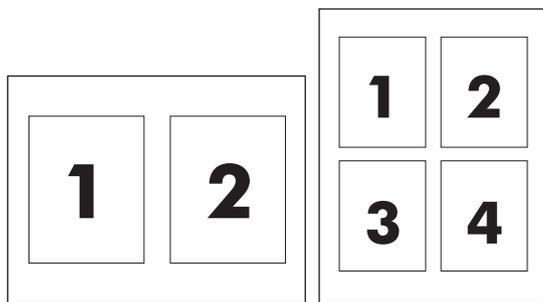
   注記： 空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[透かし]** メニューを開きます。
3. **[モード]** の横で、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、**[透かし]** を選択します。透明でないメッセージを印刷するには、**[オーバーレイ]** を選択します。
4. **[ページ]** の横で、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するかを選択します。
5. **[テキスト]** の横で、いずれかの標準メッセージを選択するか、あるいは **[カスタム]** を選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Macintosh)

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

ページの両面への印刷 (両面印刷)

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
    - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
    - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[両面]** の隣にある **[ロング エッジ綴じ込み]** または **[ショート エッジ綴じ込み]** のどちらかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
    - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
    - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

△ 注意： 紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューで、**[手差し両面印刷]** を選択します。
4. **[印刷]** をクリックします。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する*必要が*あります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

ステイプル留めオプションの設定

ステイプラを備えた仕上げデバイスが設置されている場合は、文書のステイプル留めが可能です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[レイアウト]** メニューを開きます。
3. **[ステイプル留めオプション]** ドロップダウン リストで、使用するステイプル留めオプションを選択します。

ジョブの保存

製品にジョブを保存すると、いつでも印刷できます。保存したジョブは、他のユーザーと共有するか、プライベートに設定できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[ジョブ保存]** メニューを開きます。
3. **[ジョブ保存]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
4. 保存ジョブの **[保存ジョブ]**、**[プライベート ジョブ]**、**[プライベート保存ジョブ]** の各タイプについて、保存ジョブの名前を **[ジョブ名]** の横のボックスに入力します。

   別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

   - **[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択すると、ジョブ名の末尾に固有の番号が付加されます。
   - **[既存のファイルを置換]** を選択すると、既存の保存ジョブに新しいジョブが上書きされます。
5. 手順 3 で **[保存ジョブ]** または **[プライベート ジョブ]** を選択した場合は、**[印刷用暗証番号 (0000 - 9999)]** の横のボックスに 4 桁の数値を入力します。他のユーザーがこのジョブを印刷しようとすると、この PIN 番号の入力を求められます。

[サービス] メニューの使用

製品がネットワークに接続されている場合は、**[サービス]** メニューを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[サービス]** メニューを開きます。

3. 内蔵 Web サーバーを開いて保守作業を行うには、次の操作を行います。

   a. **[プリンタのメンテナンス]** を選択します。

   b. ドロップダウン リストから作業を選択します。

   c. **[開始]** をクリックします。

4. このデバイスのさまざまなサポート Web サイトに進むには、次の操作を行います。

   a. **[インターネット上のサービス]** を選択します。

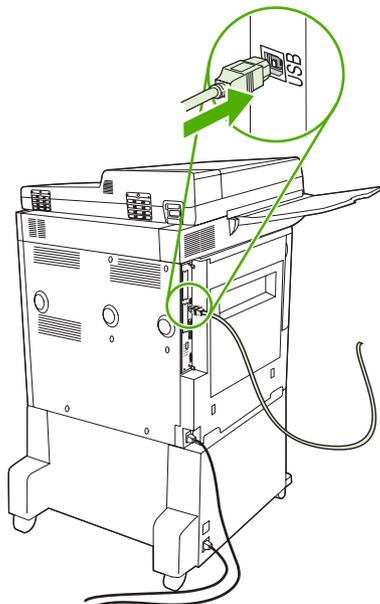
   b. **[インターネット サービス]** を選択し、ドロップダウン リストからオプションを選択します。

   c. **[Go!]** をクリックします。

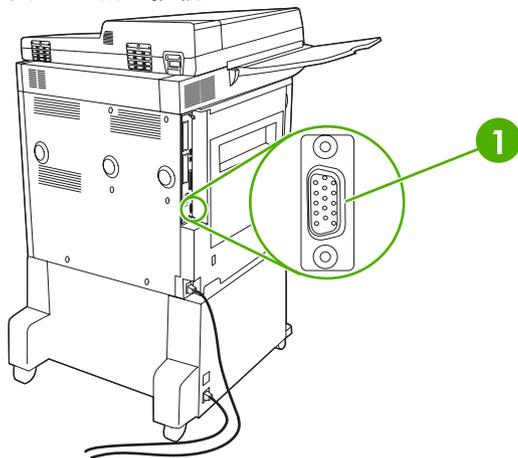
5 接続性

USB 接続用コネクタ

この MFP は、タイプ B の高速 USB 2.0 接続での印刷をサポートしています。

図 5-1 USB 接続用コネクタ

補助接続

この MFP は、用紙処理排紙デバイスのための補助接続をサポートしています。ポートは MFP の背面にあります。

図 5-2 補助接続

1	AUX 接続ポート (Jetlink)

ネットワークの設定

場合によっては、デバイスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。パラメータは次の場所で設定できます。

- インストール ソフトウェア
- デバイスのコントロール パネル
- 内蔵 Web サーバー
- 管理用ソフトウェア (HP Web Jetadmin または HP LaserJet Utility for Macintosh)

注記： 内蔵 Web サーバーの使い方の詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーが搭載のプリンタに付属しています。

ここでは、ネットワーク パラメータの設定方法について説明します。

- TCP/IPv4 パラメータの設定
- TCP/IPv6 パラメータの設定
- ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)
- HP Jetdirect EIO プリント サーバー

TCP/IPv4 パラメータの設定

ネットワークで DHCP、BOOTP、RARP などによる自動 IP アドレス指定が行われない場合は、ネットワーク経由で印刷するために、次のパラメータを手動で入力しなければならない場合があります。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの変更

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で [ネットワーク アドレス] を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPV4 設定] を選択します。

7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [IP アドレス] を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [サブネット マスク] を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。

6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [デフォルト ゲートウェイ] を選択します。
12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*を参照してください。

ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)

工場出荷時の設定では、使用可能なすべてのネットワーク プロトコルが有効になっています。使用しないプロトコルを無効にすると、次のようなメリットがあります。

- デバイスによって発生するネットワーク トラフィックが減少する。
- 許可されないユーザーがプリンタで印刷することを防止する。
- 直接関係のある情報だけが構成ページに記載される。
- プリンタのコントロール パネルにプロトコル固有のエラー メッセージと警告メッセージが表示される。

IPX/SPX の無効化

注記： IPX/SPX 経由でプリンタに印刷する Windows ベースのシステムでは、このプロトコルを無効にしないでください。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [IPX/SPX] を選択します。
6. [有効] を選択します。
7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

AppleTalk の無効化

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [AppleTalk] を選択します。
6. [有効] を選択します。
7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

DLC/LLC の無効化

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [DLC/LLC] を選択します。
6. [有効] を選択します。
7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

HP Jetdirect EIO プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバー (ネットワーク カード) は EIO スロットに取り付けることができます。サポートされるネットワーク機能は、プリント サーバーのモデルにより異なります。利用できる HP Jetdirect EIO プリント サーバー モデルについては、http://www.hp.com/go/jetdirect を参照してください。

注記： コントロール パネル、プリンタのインストール ソフトウェア、または HP Web Jetadmin を使用してカードを構成します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバーのマニュアルを参照してください。

6　用紙と印刷メディア

用紙および印刷メディアの使用について

本製品は、本ユーザーズ ガイドのガイドラインに従う場合に限り、さまざまな用紙や印刷メディアをサポートしています。本ガイドラインに従って用紙または印刷メディアを使用しないと、次のような問題が発生する場合があります。

- 印刷画質が低い
- 紙詰まりの回数が増える
- 耐用期間が経過する前に製品が損耗し、修理が必要になる

最良の印刷結果が得られるよう、レーザージェットまたマルチユース用に製造された HP ブランドの用紙および印刷メディアのみを使用してください。インクジェット プリンタ用に製造された用紙または印刷メディアは使用しないでください。HP では、他のブランドのメディアの画質を制御できないため、使用を推奨できません。

用紙が本ユーザーズ ガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。

△ **注意：** HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

この製品は多くの用紙サイズをサポートし、さまざまなメディアに対応しています。

注記： 最良の印刷結果を得るために、印刷前に、適切な用紙のサイズとタイプをプリント ドライバで選択します。

表 6-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	トレイ 1、レター R、A4	トレイ 2 および 3、レター R、A4	トレイ 4、レター R、A4	ステイプラ/スタッカの下部ビン
レター	216 x 279mm	✔	✔	✔	✔
リーガル	216 x 356mm	✔	✔	✔	✔
A4	210 x 297mm	✔	✔	✔	✔
エグゼクティブ	184 x 267mm	✔	✔	✔	✔
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm				
A3	297 x 420mm	✔	✔	✔	
A5	148 x 210mm	✔	✔		✔
A6	105 x 148mm				
ステートメント	140 x 216mm				
11 x 17	279 x 432mm	✔	✔	✔	✔
12 x 18	305 x 457mm				
B4 (JIS)	257 x 364mm	✔	✔	✔	✔
RA3	305 x 430mm				
B5 (JIS)	182 x 257mm	✔	✔	✔	✔
8k	270 x 390mm				✔
16k	197 x 273mm				✔

表 6-2 サポートされる封筒およびはがき

サイズ	寸法	トレイ 1、メールボックス、スタッカ	トレイ 2、3、4	ステイプラ
封筒 10 号	105 x 241mm	✔		
封筒 DL	110 x 220mm	✔		
封筒 C5	162 x 229mm	✔		
封筒 B5	176 x 250mm	✔		
封筒 Monarch	98 x 191mm	✔		
はがき	100 x 148mm	✔		

表 6-2 サポートされる封筒およびはがき (続き)

サイズ	寸法	トレイ 1、メールボックス、スタッカ	トレイ 2、3、4	ステイプラ
倍サイズはがき	148 x 200mm	✔		
はがき (US)	88.9 x 139.7mm	✔		
はがき (ヨーロッパ)	105 x 148mm	✔		

カスタム用紙サイズ

本製品はさまざまなカスタム用紙サイズをサポートしています。サポートされているカスタム サイズとは、本製品のガイドラインに記載されている最小サイズから最大サイズ以内のサイズを示します。このサイズは、サポートされている用紙サイズの表には記載されていません。サポートされているカスタム サイズを使用する場合は、プリンタ ドライバでカスタム サイズを指定し、カスタム サイズをサポートしているトレイに給紙します。

特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン

本製品は特殊なメディアでの印刷をサポートしています。十分な印刷結果が得られるよう、次のガイドラインに従ってください。特殊な用紙または印刷メディアを使用する場合は、最良の印刷結果が得られるよう、必ずプリンタ ドライバでその種類とサイズを指定するようにしてください。

△ **注意：** HP LaserJet では、乾燥したトナーの粒子をきわめて正確な点として用紙に付着させるためにフューザを使用します。HP レーザー用紙は、このような高温状態に耐えられるように製造されています。この技術の使用を目的として製造されていないインクジェット用紙を使用すると、プリンタに障害が発生する場合があります。

メディアの種類	推奨	禁止
封筒	● 封筒を平らな状態で保管。 ● 開口部が端まである封筒を使用。 ● レーザー プリンタでの使用が保証されている接着シールを使用。	● しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。 ● 留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。 ● 離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材を使用。
ラベル	● 裏張りが露出していないラベルのみを使用。 ● 平らになるラベルを使用。 ● ラベルのシート全体のみを使用。	● しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。 ● ラベルのシートの一部を使用。
透明紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されている透明紙のみを使用。 ● 透明紙を製品から除去した後、平面上に置く。	● レーザー プリンタでの使用が保証されていない透明印刷メディアを使用。
レターヘッドまたは事前印刷用紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されているレターヘッドまたは用紙のみを使用。	● 浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	● レーザー プリンタでの使用が保証され、本製品の重量規格に適合する厚紙のみを使用。	● 本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。
光沢紙またはコート紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されている光沢紙またはコート紙のみを使用。	● インクジェット製品での使用を目的として製造された光沢紙またはコート紙を使用。

用紙と印刷メディアのセット

ここでは、標準サイズとカスタムサイズの用紙を 4 つの給紙トレイにセットする方法について説明します。

△ **注意：** 紙詰まりを防ぐため、トレイ 1 からの印刷またはコピー中にトレイ 1 で用紙の追加や取り出しを行ったり、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 を開けたりすることは絶対にしないでください。 プリンタの損傷を防ぐため、ラベル紙、封筒、OHP フィルムを印刷する際はトレイ 1 のみを使用し、上部ビンに排紙するようにしてください。ラベル紙、封筒、OHP フィルムでは両面印刷は行わないでください。

トレイ 1 への用紙のセット

トレイ 1 には用紙 100 枚、封筒 10 枚までセットできます。使用可能なメディアの詳細については、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

1. トレイ 1 を開きます。

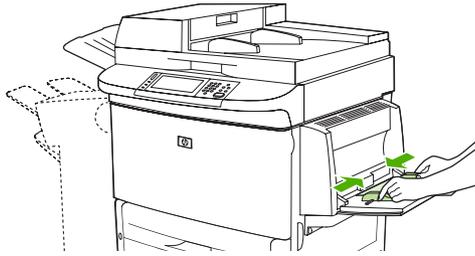
図 6-1 トレイ 1 への用紙のセット (1/3)

2. サイズと仕上げオプションに応じて用紙をセットします。

図 6-2 トレイ 1 への用紙のセット (2/3)

△ **注意：** 紙詰まりを防ぐために、ラベルの場合はシート 1 枚ずつ印刷してください。

3. 用紙ガイドを調整し、用紙の束に軽く触れるようにします。そのときに用紙がたわまないようにしてください。

図 6-3 トレイ 1 への用紙のセット (3/3)

4. 用紙の高さを左右のガイドのタブの下に合わせるようにしてください。また、給紙レベル表示を越えないよう注意してください。

注記： A3、11 x 17 などのサイズの大きい用紙に印刷する場合は、トレイの延長部分を止まるところまで引き出してください。

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット

トレイ 2 とトレイ 3 には、標準用紙を 500 枚までセットできます。トレイ 4 には、標準用紙を 2,000 枚までセットできます。用紙の仕様については、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が可能な標準サイズの用紙)

ここで説明する手順は、トレイに自動認識が可能な標準サイズの用紙をセットするときの参考にしてください。トレイにマークのある自動認識が可能なサイズの用紙は、次のとおりです。

- A4
- レター
- A3
- リーガル
- エグゼクティブ
- 11 x 17
- B4 (JIS)
- B5 (JIS)
- A4 (回転)
- レター (回転)

△ **注意：** 紙詰まりを防ぐために、印刷中に使用しているトレイに用紙を追加したり、トレイから用紙を取り除かないでください。

1. トレイを止まるところまで開きます。

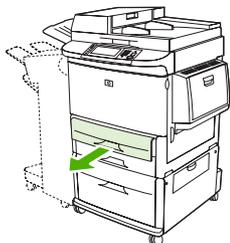
図 6-4 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (1/6)

2. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押し、用紙の束の端までスライドさせて調節します。

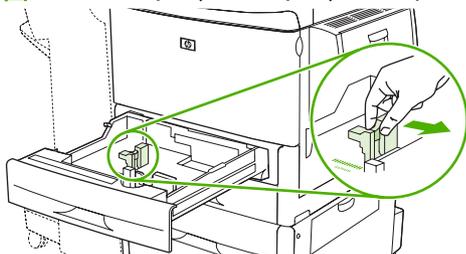
図 6-5 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (2/6)

3. 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押し、用紙の束の端までスライドさせて調節します。

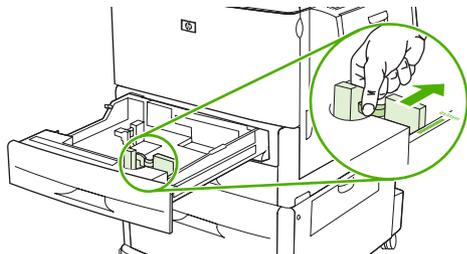
図 6-6 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (3/6)

4. サイズに合わせて用紙をセットします (用紙の向きを確認してください)。

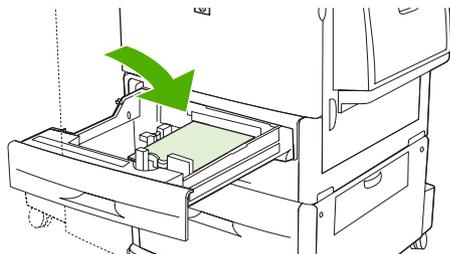
図 6-7 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (4/6)

5. CUSTOM/STANDARD スイッチを「STANDARD」にセットします。

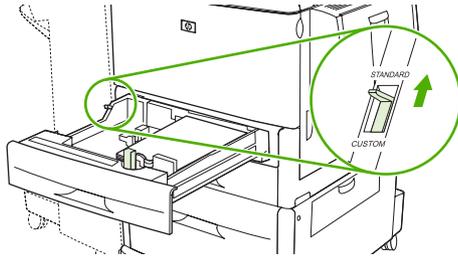
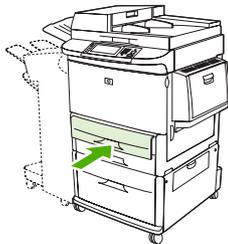
図 6-8 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (5/6)

6. トレイを閉めてください。場合に応じて、MFP のコントロール パネルにトレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が間違っている場合は、コントロール パネルの 変更 を押します。設定が正しい場合は、OK をタッチします。

図 6-9 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (6/6)

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙)

ここで説明する手順は、トレイに自動認識が不可能な標準サイズの用紙をセットするときの参考にしてください。自動認識が不可能なサイズの用紙は、次のとおりです。

- 8K
- 16K
- ステートメント
- JIS エグゼクティブ
- 8.5 x 13 (216 x 330mm)

△ **注意：** 紙詰まりを防ぐために、印刷中に使用しているトレイに用紙を追加したり、トレイから用紙を取り除かないでください。

1. トレイを止まるところまで開きます。

   図 6-10 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (1/6)

2. 前面用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。

3. 左側用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。

4. サイズに合わせて用紙をセットします (用紙の向きを確認してください)。

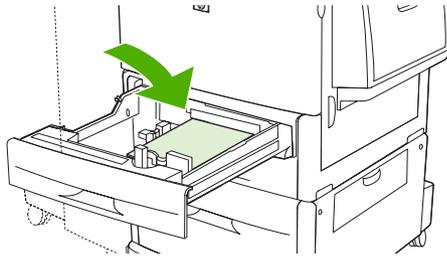
   図 6-11 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (2/6)

5. 左側用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。

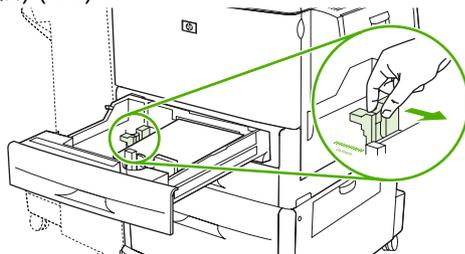
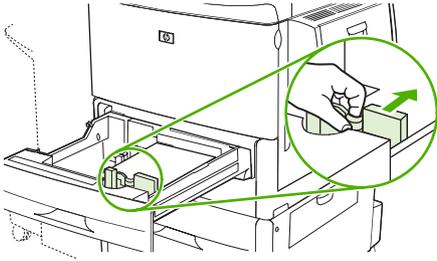
   図 6-12 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (3/6)

6. 前面用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。

図 6-13 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (4/6)

注記： トレイ 4 の場合は、用紙ガイドを上側のロック位置にセットしてください。

7. CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。

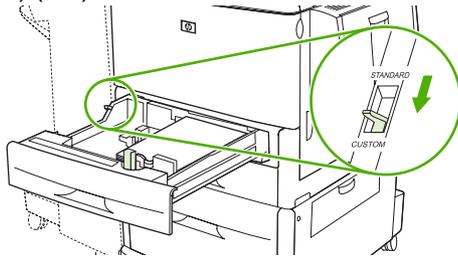
図 6-14 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (5/6)

8. トレイを閉めてください。場合に応じて、MFP のコントロール パネルにトレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が間違っている場合は、コントロール パネルの 変更 を押します。設定が正しい場合は、OK をタッチします。

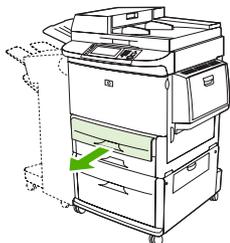
図 6-15 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (自動認識が不可能な標準サイズの用紙) (6/6)

トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙)

ここで説明する手順は、トレイにカスタム サイズの用紙をセットするときの参考にしてください。

△ **注意：** 紙詰まりを防ぐために、印刷中に使用しているトレイに用紙を追加したり、トレイから用紙を取り除かないでください。

1. トレイを止まるところまで開きます。

図 6-16 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (1/6)

2. 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。

3. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。

4. サイズに合わせて用紙をセットします (用紙の向きを確認してください)。

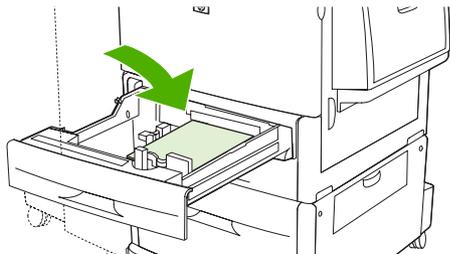
図 6-17 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (2/6)

5. CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。

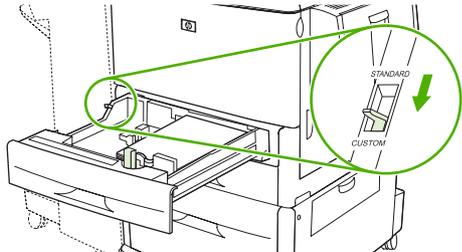
図 6-18 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (3/6)

6. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。

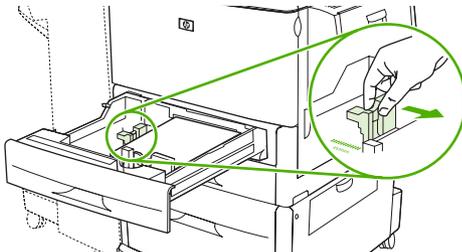
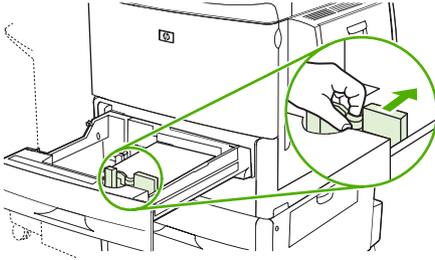
図 6-19 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (4/6)

7. 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙の束に軽く触れるようにします。

図 6-20 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (5/6)

8. 用紙の向きと、X と Y の寸法値をメモに残してください。X と Y の寸法値は、トレイにマークされています。この値は後述の手順で必要になります。

注記： トレイ 4 の場合は、用紙ガイドを上側のロック位置にセットしてください。

9. トレイを閉めてください。場合に応じて、MFP のコントロール パネルにトレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が間違っている場合は、コントロール パネルの 変更 を押します。設定が正しい場合は、OK をタッチします。

図 6-21 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 への用紙のセット (カスタム用紙) (6/6)

トレイの設定

用紙をトレイにセットすると、トレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージが自動的に表示される場合があります。

コントロール パネルに 「**トレイ <X> [タイプ] [サイズ] サイズまたはタイプを変更するには [変更] をタッチしてください。確定するには、[OK] をタッチします。**」 というメッセージが表示されます。

注記： トレイ 1 から印刷する場合で、トレイ 1 が 「**任意のサイズ**」 と 「**任意のタイプ**」 用に設定されている場合、設定を求めるメッセージは表示されません。

注記： いままでに別の HP LaserJet プリンタ モデルを使用していた場合は、通常トレイ 1 を**ファースト** モードまたは**カセット** モードに設定して使用していたことがあるかもしれません。HP LaserJet M9040/M9050 MFP では、トレイ 1 のサイズとタイプを 「**任意のサイズ**」に設定することが**ファースト** モードに相当します。トレイ 1 のサイズとタイプを 「**任意のサイズ**」 以外に設定することが**カセット** モードに相当します。

メディアをセットするときにトレイを設定する

1. トレイにメディアをセットします。トレイ 2、3、または 4 を使用している場合は、トレイを閉じます。
2. トレイ設定メッセージが表示された場合は、OK をタッチして検出されたサイズを受け入れるか、変更 をタッチして別の用紙サイズを選択します。
3. トレイの設定を変更する場合は、サイズを選択します。

   注記： MFP は、トレイ 2、3、および 4 のほとんどのメディア サイズを自動的に検出します。

4. トレイの設定を変更する場合は、用紙タイプを選択します。
5. 終了 を押します。

タッチスクリーンの [サプライ品のステータス] ボタンを使用してトレイを設定する

プロンプトを表示せずに、トレイのタイプおよびサイズを設定することもできます。

1. サプライ品のステータス にスクロールして押します。
2. 希望するトレイを選択します。
3. 変更 を押します。
4. サイズとタイプを選択します。カスタム タイプを選択する場合は、数字キーパッドを使用して X 寸法と Y 寸法を設定し、[OK] を選択します。
5. OK を押します。
6. 再度 OK を選択します。

ソース、タイプ、またはサイズ別にメディアを選択する

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類の設定が、印刷ジョブの送信時にプリンタ ドライバがメディアを引き出す方法に影響します。大部分のソフトウェア プログラムで、*ソース*、*タイプ*、および *サイズ* の設定が **[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ

ボックスに表示されます。これらの設定を変更しない限り、MFP はデフォルト設定を使用して自動的にトレイを選択します。

ソース

*ソース*別に印刷するには、用紙を引き出す特定のトレイを選択します。どのタイプまたはサイズの用紙がセットされていても、MFP はこのトレイから印刷しようとします。印刷ジョブに適合しないタイプまたはサイズに設定されたトレイを選択した場合、MFP は自動的印刷を行いません。代わりに、そのトレイに、印刷ジョブに適したタイプまたはサイズの印刷メディアがセットされるまで待機します。トレイをセットすると、印刷が始まります。

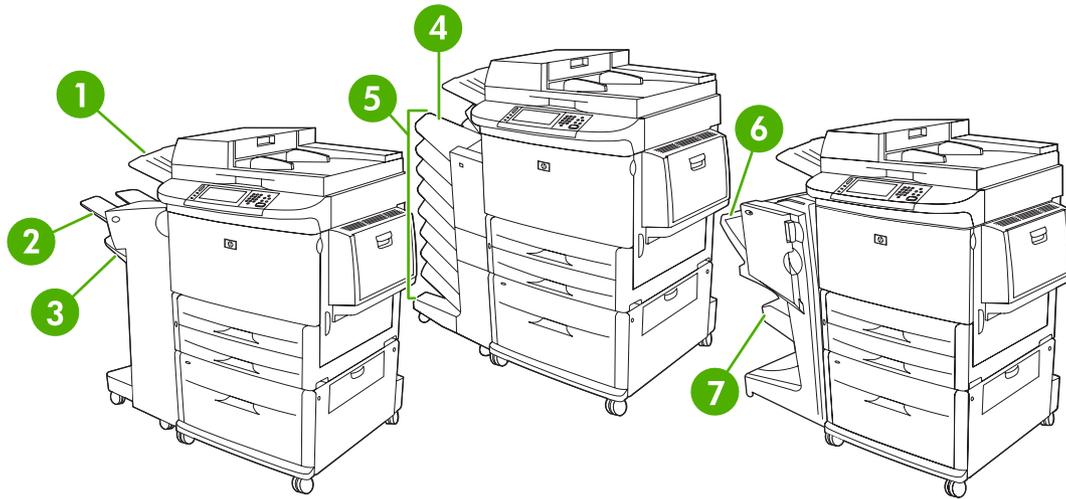
タイプおよびサイズ

*タイプ*または*サイズ*別に印刷するということは、正しいタイプとサイズのメディアをセットしたトレイからメディアを引き出すように MFP に指示することを意味します。ソースではなくタイプ別のメディア選択は、トレイを限定するようなもので、特別なメディアを誤って使用するのを防ぐことができます。たとえば、トレイがレターヘッド用に設定されているときに普通紙を選択した場合、MFP はそのトレイからレターヘッドを引き出しません。代わりに、普通紙がセットされたトレイから用紙を引き出し、MFP のコントロール パネルには普通紙が設定されます。タイプおよびサイズ別にメディアを選択すると、厚手用紙、光沢紙、および OHP フィルムの印刷品質を大幅に向上させることができます。間違った設定を使用すると、満足な印刷品質が得られない場合があります。ラベルや OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ずタイプ別に印刷してください。封筒の場合は、できるだけサイズ別印刷を行ってください。

- タイプまたはサイズ別に印刷するには、**[ページ設定]** ダイアログ ボックス、**[印刷]** ダイアログ ボックス、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します (どのダイアログ ボックスを使用するかは、ソフトウェア プログラムにより異なる場合があります)。
- 特定のタイプまたはサイズのメディアで頻繁に印刷する場合は、適当なトレイをそのタイプまたはサイズに設定しておきます。このように設定されていれば、ジョブの印刷時にそのタイプまたはサイズを選択すると、MFP はそのタイプまたはサイズ用に設定されているトレイから用紙を引き出します。

排紙ビンの選択

MFP には、最低 2 つの排紙ビン (ADF 排紙ビン (1) と排紙デバイスの排紙ビン) が備わっています。

図 6-22 排紙ビン

排紙場所の選択は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで行うことをお勧めします。

スタッカまたはステイプラ/スタッカ排紙ビン

3,000 枚収納スタッカまたは 3,000 枚収納ステイプラ/スタッカを選択する場合、使用される排紙ビンは上部ビン (2) (上向きビン) と下部ビン (3) (下向きビン) になります。

上部ビン (上向きビン) (2) は、スタッカまたはステイプラ/スタッカの最上部にあるビンです。このビンでは用紙を 100 枚まで収納でき、MFP から排出された順番で上向きに収納されます。排紙ビンがいっぱいになると、センサによって処理が停止します。用紙を取り出して排紙ビンを空にするか、用紙の枚数を減らすと、印刷処理が継続されます。

下部ビン (下向きビン) (3) は、スタッカまたはステイプラ/スタッカの下部にあるビンです。このビンでは用紙を 3,000 枚まで収納でき、ユーザーはスタックまたはステイプル ジョブを実行できます。このビンは、デフォルトの排紙ビンです。

8 ビン メールボックス排紙ビン

8 ビン メールボックスを選択すると、上部ビンと 8 つの下向きビンが排紙ビンになります。

上部ビン (4) では、用紙を 125 枚まで収納できます。

ネットワーク管理者は、8 つのビン (5) をユーザーやワークグループに割り当てることができます。それぞれのビンに用紙を 250 枚まで収納できます。

マルチファンクション フィニッシャ排紙ビン

マルチファンクション フィニッシャを選択すると、上部ビン (6) と下部ブックレット ビン (7) が排紙ビンになります。

上部ビン (6) は、マルチファンクション フィニッシャの最上部にあるビンです。このビンでは用紙を 1,000 枚まで収納できます。また、ジョブ オフセット機能も備えているため、ステイプルが不要なジョブを上向きまたは下向きに出力することができます。また、ドキュメントを 50 枚までステイプルで留める機能も備えています。マルチファンクション フィニッシャを装着しているときは、上部ビンがデフォルトの排紙ビンになります。

下部ブックレット ビン (7) は、マルチファンクション フィニッシャの下部にあるビンです。このビンでは、ブックレット (10 枚まで) の折り畳み/中綴じを行うことができます。

排紙先の選択

印刷

排紙位置 (ビン) は、ご使用のプログラムまたはドライバを介して選択することをお勧めします。選択する場所と方法は、ご使用のプログラムまたはドライバによって異なります。MFP のコントロール パネルからデフォルトの排紙位置を設定します。

1. 管理 にスクロールして押します。
2. デフォルト ジョブ オプション を押します。
3. デフォルト印刷オプション を押します。
4. 排紙ビン を押します。
5. 希望する排紙ビンを選択します。

コピー

コピー ジョブの場合は、MFP のコントロール パネルで現在のデフォルトの排紙位置 (ビン) を設定して置き換えることができます。

1. コピー にスクロールして押します。
2. その他のオプション を押します。
3. 排紙ビン を押します。
4. 希望する排紙ビンを選択します。

コピー ジョブのデフォルトの排紙ビンを設定するには :

1. 管理 にスクロールして押します。
2. デフォルト ジョブ オプション を押します。
3. デフォルト コピー オプション を押します。
4. 排紙ビン を押します。
5. 希望する排紙ビンを選択します。

7 印刷タスク

メディアのタイプとトレイのセット

最小メディア寸法は、98 x 191mm です。

最大メディア寸法は、312 x 470mm です。

表 7-1 トレイ 1 のメディア情報

メディア タイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙 (標準サイズ)	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド 両面印刷：64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm 75g/m² ボンド紙 100 枚に相当	普通紙または指定なし	該当せず
封筒	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド	最大 10 枚	封筒	短辺を先にして、封筒のふたを上向きにセット
ラベル紙	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm	ラベル紙	印刷面を上向きにセット
OHP フィルム	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm	OHP フィルム	印刷面を上向きにセット
厚手用紙	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド 両面印刷：64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
光沢紙	64g/m² ボンド～ 216g/m² ボンド 両面印刷：64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大積み重ね高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット

表 7-2 トレイ 2 およびトレイ 3 のメディア情報

メディア タイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙	64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大 500 枚	普通紙または指定なし 薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	該当せず
厚手用紙	64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大 500 枚	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
光沢紙	64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大 500 枚	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット

表 7-3 トレイ 4 のメディア情報

メディア タイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙	64g/m² ボンド～ 199g/m² ボンド	最大 2000 枚	普通紙または指定なし	該当せず

表 7-3 トレイ 4 のメディア情報 (続き)

メディア タイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き
厚手用紙	64g/m^2 ボンド～ 199g/m^2 ボンド	最大 2000 枚	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
光沢紙	64g/m^2 ボンド～ 199g/m^2 ボンド	最大 2000 枚	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット

Windows プリンタ ドライバの機能の使用

プリンタ ドライバを開く

操作	手順
プリンタ ドライバを開く	ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
印刷オプションの説明を表示する	プリンタ ドライバの右上にある **[?]** 記号をクリックしてから、プリンタ ドライバの任意の項目をクリックします。その項目に関する説明を示すポップアップ メッセージが表示されます。また、**[ヘルプ]** をクリックすると、オンライン ヘルプが開きます。

印刷機能のショートカットの使用

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブをクリックします。

注記： 旧バージョンの HP プリンタ ドライバでは、この機能は **[クイック設定]** と呼ばれていました。

操作	手順
印刷機能のショートカットを使用する	ショートカットを 1 つ選択し、**[OK]** をクリックして、事前定義されている設定でジョブを印刷します。
ユーザー定義の印刷機能のショートカットを作成する	a) 既存のショートカットを基準として選択します。b) 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。c) **[別名で保存]** をクリックし、ショートカット名を入力し、**[OK]** をクリックします。

用紙オプションと品質オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[用紙/品質]** タブをクリックします。

操作	手順
ページ サイズを選択する	**[用紙サイズ]** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
カスタムのページ サイズを選択する	a) **[ユーザー設定]** をクリックします。**[ユーザー定義用紙サイズ]** ダイアログ ボックスが開きます。b) カスタム サイズの名前を入力し、寸法を指定して、**[OK]** をクリックします。
給紙方法を選択する	**[給紙方法]** ドロップダウン リストからトレイを選択します。
用紙の種類を選択する	**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから種類を選択します。
表紙を別の用紙に印刷する 最初のページまたは最後のページを別の用紙に印刷する	a) **[特殊ページ]** 領域で、**[表紙]** または **[異なるページに用紙を印刷]** をクリックし、**[設定]** をクリックします。b) 空白または印刷済みの表紙か裏表紙、あるいはその両方を印刷するオプションを選択します。または、最初のページか最後のページを別の用紙に印刷するオプションを選択します。c) **[給紙方法]** ドロップダウン リストと **[用紙の種類]** ドロップダウ

操作	手順
	ン リストからオプションを選択し、**[追加]** をクリックします。d) **[OK]** をクリックします。
印刷イメージの解像度を調整する	**[印刷品質]** 領域で、最初のドロップダウン リストからオプションを選択します。使用できる各オプションの詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。
ドラフト品質の印刷を選択する	**[印刷品質]** 領域で、**[エコノ モード]** をクリックします。

文書の効果の設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[効果]** タブをクリックします。

操作	手順
選択した用紙サイズに収まるようにページを拡大縮小する	**[文書を印刷する用紙(&D)]** をクリックし、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
実際のサイズに対する割合を指定してページを拡大縮小する	**[% (元のサイズに対する比率)]** をクリックし、パーセントを入力するか、スライダ バーを調整します。
透かしを印刷する	a) **[透かし]** ドロップダウン リストから透かしを選択します。b) 透かしを最初のページだけに印刷するには、**[最初のページのみ]** をクリックします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。
透かしを追加または編集する 注記： この機能を使用するには、プリンタ ドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。	a) **[透かし]** 領域で **[編集]** をクリックします。**[透かしの詳細]** ダイアログ ボックスが開きます。b) 透かしの設定を指定し、**[OK]** をクリックします。

文書の仕上げオプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[レイアウト]** タブをクリックします。

操作	手順
両面印刷を行う	**[両面印刷]** をクリックします。文書を上で綴じる場合は、**[上綴じ]** をクリックします。
ブックレットを印刷する	a) **[両面印刷]** をクリックします。b) **[ブックレット レイアウト]** ドロップダウン リストで、**[左綴じ]** または **[右綴じ]** をクリックします。**[1 枚の用紙に印刷するページ数]** オプションが自動的に **[2 ページ/1 枚]** に変わります。
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	a) **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウン リストから、用紙 1 枚あたりのページ数を選択します。b) **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** に適切なオプションを選択します。
ページの印刷の向きを選択する	a) **[印刷の向き]** 領域で、**[縦]** または **[横]** をクリックします。b) ページのイメージを上下逆に印刷するには、**[180° 回転]** をクリックします。

製品の排紙オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[排紙]** タブをクリックします。

注記： このタブで使用できるオプションは、使用している仕上げデバイスによって異なります。

操作	手順
ステイプル オプションを選択する	**[ステイプル]** ドロップダウン リストからステイプル オプションを選択します。
1 部ごとにセパレータ ページを印刷する	a) **[ジョブの仕分け機能]** をクリックします。**[セパレータ ページの詳細]** ダイアログ ボックスが開きます。b) **[セパレータ ページの詳細]** ドロップダウン リストで、**[セパレータ ページ]** をクリックし、給紙方法と用紙の種類を選択します。c) ジョブ関連のデータをセパレータ ページに印刷するには、1 つまたは複数のチェックボックスをオンにします。**[OK]** をクリックします。
排紙ビンを選択する	**[ビン]** ドロップダウン リストから排紙ビンを選択します。

ジョブ保存オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。

操作	手順
全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[試し刷り後に保留]** をクリックします。1 部だけ印刷された後、 コントロールパネルに、残りの部数を印刷するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
プライベート ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する	a) **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[プライベートジョブ]** をクリックします。b) **[ジョブをプライベートに設定]** 領域で、4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
ジョブを製品内に一時的に保存する 注記： 製品の電源を切ると、これらのジョブは削除されます。	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[クイックコピー]** をクリックします。ジョブが 1 部すぐに印刷され、その後コントロール パネルから追加の部数を印刷できます。
ジョブを製品内に永久的に保存する	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。
永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する	a) **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。b) **[ジョブをプライベートに設定]** 領域で、**[印刷の PIN]** をクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する	**[ジョブ通知オプション]** 領域で、**[印刷時にジョブ ID を表示]** をクリックします。
保存ジョブにユーザー名を設定する	Windows のデフォルトのユーザー名を使用する場合は、**[ユーザー名]** 領域で **[ユーザー名]** をクリックします。別のユーザー名を設定する場合は、**[ユーザー定義]** をクリックして名前を入力します。
保存ジョブの名前を指定する	a) デフォルトのジョブ名を使用する場合は、**[ジョブ名]** 領域で **[自動]** をクリックします。ジョブ名を指定する場合は、**[ユーザー定義]** をクリックして名前を入力します。b) **[ジョブ名が存在する場合]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。既存の名前に数字を追加する場合は、**[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択します。同じ名前の

操作	手順
	ジョブを上書きする場合は、**[既存のファイルを置換]** を選択します。

サポートと製品のステータス情報の確認

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[サービス]** タブをクリックします。

操作	手順
製品に関するサポート情報を確認し、サプライ品をオンラインで注文する	**[インターネット サービス]** ドロップダウン リストでサポート オプションを選択し、**[Go!]** をクリックします。
サプライ品の残量を含む製品のステータスを確認する	**[デバイスおよびサプライ品のステータス]** アイコンをクリックします。HP 内蔵 Web サーバーの **[デバイスのステータス]** ページが開きます。

詳細な印刷オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[詳細設定]** タブをクリックします。

操作	手順
詳細な印刷オプションを選択する	任意のセクションで現在の設定をクリックしてドロップダウン リストを表示し、設定を変更します。
印刷部数を変更する 注記： 使用しているソフトウェア プログラムに、部数を指定する機能がない場合は、ドライバで部数を変更できます。 この設定を変更すると、すべての印刷ジョブの部数が変更されます。ジョブの印刷が完了したら、この設定を元の値に戻してください。	**[用紙/排紙]** セクションを開き、印刷する部数を入力します。2 部以上を選択した場合は、ページの丁合いを行うオプションを選択できます。
カラー テキストをグレーの濃淡ではなく黒で印刷する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[テキスト全部を黒で印刷]** ドロップダウン リストで **[有効]** を選択します。
片面印刷か両面印刷かに関係なくすべてのジョブで同じようにレターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[代替レターヘッド モード]** ドロップダウン リストで **[オン]** を選択します。c) 製品で、両面印刷の場合と同じように用紙をセットします。
ページを印刷する順序を変更する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[レイアウト オプション]** セクションを開きます。b) **[ページの順序]** ドロップダウン リストで、ページを文書と同じ順序で印刷するには **[前から後ろへ]** を、ページを逆の順序で印刷するには **[後ろから前へ]** を選択します。

文書のステイプル留め

注記： ステイプル留め機能は、MFP にステイプラ/スタッカまたはマルチファンクション フィニッシャが装着されている場合にのみ使用できます。

コントロール パネルでの印刷ジョブのステイプラ設定

ステイプル オプションは通常、ソフトウェアやプリンタ ドライバから選択できますが、プリンタ ドライバからしか選択できないオプションもあります。詳細については、55 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」を参照してください。オプションを選択する手順と方法は、プログラムまたはドライバによって異なります。プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラを選択できない場合は、MFP のコントロール パネルを使用して選択できます。

1. 管理 にスクロールして押します。
2. デバイス動作 にスクロールして押します。
3. ステイプラ/スタッカ または 多機能 フィニッシャ にスクロールしてタッチします。
4. ステイプル を押します。
5. 使用するステイプル オプションを選択します。

注記： プリンタのコントロール パネルでステイプラを選択すると、デフォルト設定が ステイプル に変化します。すべての印刷ジョブにステイプラを使用できる場合もあります。ただし、コントロール パネルで変更した設定は、プリンタ ドライバで変更した設定によって上書きされます。

コントロール パネルですべてのコピー ジョブにステイプラを設定する

注記： 次の手順を実行すると、すべてのコピー ジョブのデフォルト設定が変更されます。

1. 管理 にスクロールして押します。
2. デフォルト ジョブ オプション を押します。
3. デフォルト コピー オプション を押します。
4. ステイプル/丁合い を押します。
5. ステイプル を押します。
6. 使用するステイプル オプションを選択します。

コントロール パネルで 1 つのコピー ジョブにステイプラを設定する

注記： 次の手順を実行すると、現在のコピー ジョブに限り、ステイプル留めオプションが設定されます。

1. コピー を押します。
2. ステイプル/丁合い を押します。
3. 使用するステイプル オプションを選択します。

ステイプル カートリッジが空になった場合のプリンタの停止または続行を設定する

ステイプル カートリッジが空になった時点で印刷を停止するかどうか、またはジョブにステイプラを使用しないで印刷を継続するかどうかを指定できます。

1. 管理 にスクロールして押します。
2. デバイス動作 にスクロールして押します。
3. ステイプラ/スタッカ または 多機能 フィニッシャ にスクロールしてタッチします。
4. ステイプルが空になりました を押します。
5. 使用するオプションを押します。
   - ステイプル カートリッジを交換するまですべての印刷を停止する場合は、停止 を選択します。
   - ステイプラを使用しないでジョブの印刷を継続する場合は、継続 を選択します。

ステイプルのセット

MFP のコントロール パネル ディスプレイに **ステイプラの針が残りわずかです** または **ステイプル カートリッジを注文してください** というメッセージ (使用可能なステイプルの残量が 20 未満) が表示されるか、**ステイプル カートリッジを交換してください** または **ステイプラの針がなくなりました** というメッセージ (ステイプラが空、または残ったステイプルが使用不可能) が表示された場合は、新しいステイプルをセットします。

ステイプルがなくなっている場合、ステイプラでは印刷ジョブが受け入れられますが、ページはステイプルで留められません。ステイプラ カートリッジが空になった場合は、ステイプル オプションが無効になるようにプリンタ ドライバを設定できます。

ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット

1. ステイプラ/スタッカを MFP から取り外します。

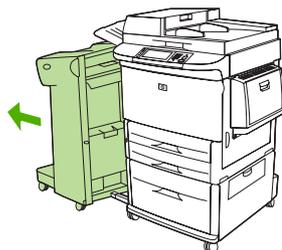
   図 7-1 ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット (1/5)

2. ステイプラ ユニットの扉を開きます。

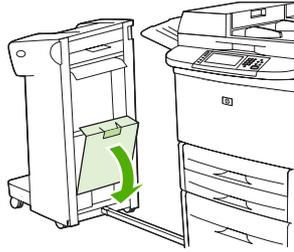
図 7-2 ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット (2/5)

3. 空のステイプル カートリッジの緑色のタブを上方に起こして、空のカートリッジを引き出します。

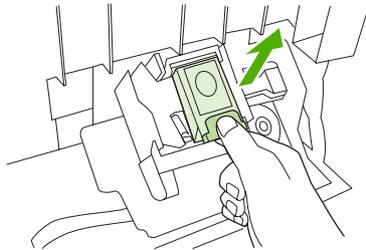
図 7-3 ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット (3/5)

4. 新しいステイプル カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置に収まるまで緑色のタブを押し下げます。

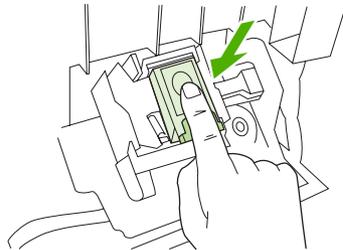
図 7-4 ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット (4/5)

5. ステイプラ ユニットの扉を閉じ、ステイプラ/スタッカをプリンタの元の位置に取り付けます。

図 7-5 ステイプラ/スタッカへのステイプルのセット (5/5)

マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット

1. ステイプラ ユニットの扉を開きます。

   図 7-6 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (1/8)

2. ステイプラ ユニットを手前にスライドさせます。

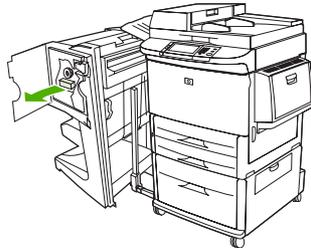
   図 7-7 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (2/8)

3. ステイプラ ユニットの窓型部分に青色のドットが見えるまで、大きい方の緑色のつまみを回します。

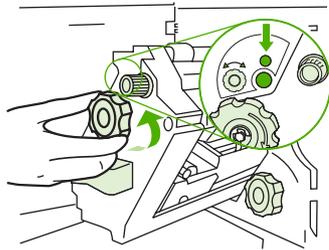
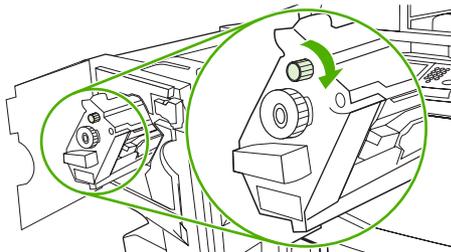
   図 7-8 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (3/8)

4. ステイプル カートリッジがステイプラ ユニットの左側に移動するまで、ステイプラ上部にある小さい方の緑色のつまみを時計回りに回します。

   図 7-9 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (4/8)

△ **注意：** ステイプル カートリッジを取り外す前に、ステイプラ ユニットの窓型部分に青色のドットが見えていることを確認してください。窓型部分に青色のドットが見えていない状態でステイプル カートリッジを取り外そうとすると、フィニッシャに損傷を与えることがあります。

5. 空のステイプル カートリッジのタブを一緒につまんで、カートリッジを引き出します。

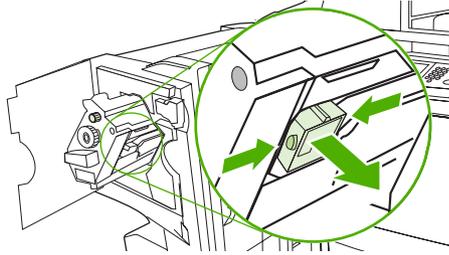
図 7-10 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (5/8)

6. 新しいステイプル カートリッジを挿入し、カチッとはめ込みます。

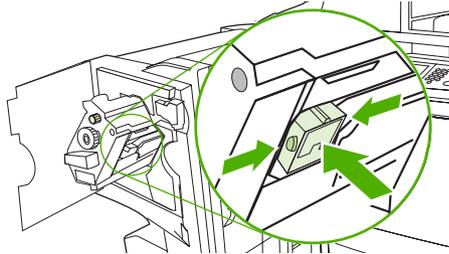
図 7-11 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (6/8)

7. ステイプラ ユニットをスライドさせて、フィニッシャ内部に戻します。

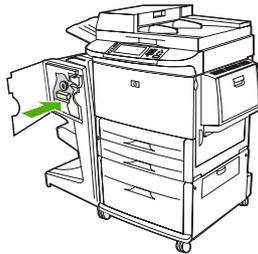
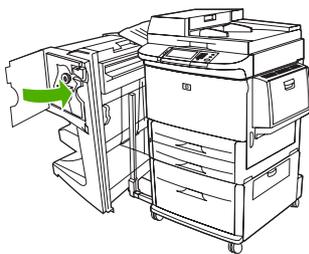
図 7-12 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (7/8)

8. ステイプラ ユニットの扉を閉じ、マルチファンクション フィニッシャを元の位置に戻します。

図 7-13 マルチファンクション フィニッシャへのステイプルのセット (8/8)

印刷ジョブのキャンセル

コントロール パネルまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷要求を停止できます。ネットワーク上のコンピュータから印刷要求を停止する方法については、特定のネットワーク ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

注記： 印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロール パネルからの現在の印刷ジョブの取り消し

1. コントロール パネルで 停止 を押します。
2. タッチスクリーンの **[デバイスは一時停止しています]** 画面で、**[現行のジョブをキャンセル]** にタッチします。

   注記： 印刷ジョブの印刷処理がかなり進んでいる場合は、ジョブをキャンセルできないことがあります。

ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブの取り消し

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリント マネージャなど) 内で待機状態になります。コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 2000 または XP) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを削除します。

[スタート] を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。デバイス アイコンをダブルクリックし、プリント スプーラを開きます。キャンセルする印刷ジョブを選択し、Delete キーを押します。印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

封筒への印刷

封筒に印刷する場合は、トレイ 1 を使用する必要があります。トレイ 1 には封筒を 10 枚までセットできます。印刷速度は封筒の形状によって異なります。封筒を大量に購入する前に、必ず数枚の封筒でテストしてください。封筒の規格については、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」 を参照するか、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp にアクセスしてください。

△ **注意：** 留め具類や窓の付いた封筒、内側がコーティングされた封筒、粘着部分が露出している封筒、あるいはその他の合成素材を使用した封筒を使用すると、MFP に重大な故障が起きる可能性があります。圧力で粘着する封筒は使用しないでください。

封筒に印刷するには、以下の基本的な手順に従います。

1. トレイ 1 に封筒をセットします。
2. フューザ レバーの位置を変更します。
3. プリント ジョブを開始します。

トレイ 1 への封筒のセット

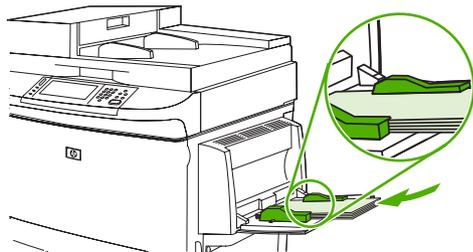
1. トレイ 1 を開きます。その際、延長部分は引き出さないでください (ほとんどの封筒は延長部分がなくても正しく給紙されますが、 大型の封筒の場合は延長部が必要になることがあります)。

図 7-14 トレイ 1 への封筒のセット (1/3)

2. トレイ 1 の中央に、印刷面を上向きにして差出人住所の辺を MFP 側に向け、封筒をセットします (封筒は 10 枚までセットできます)。強く押しすぎないでください。

図 7-15 トレイ 1 への封筒のセット (2/3)

3. 封筒を曲げない程度にガイドを封筒の束に合わせます。ガイドのタブの下に封筒が収まっていることを確認してください。

図 7-16 トレイ 1 への封筒のセット (3/3)

4. フューザ レバーのセット位置を変更します (115 ページの フューザ レバーのセット位置の変更を参照)。

フューザ レバーのセット位置の変更

1. 排紙デバイスを MFP から切り離して、左扉を開くことができるようにします。

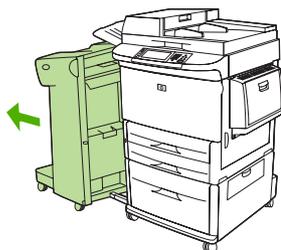
図 7-17 フューザ レバーのセット位置の変更 (1/4)

2. 左扉を開きます。

図 7-18 フューザ レバーのセット位置の変更 (2/4)

⚠ **警告！** すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

3. 両側にある 2 つの青色レバーを引き起こします。

注記： 封筒への印刷が終わったら、これらのフューザ レバーは下側の位置に戻してください。

注意： フューザ レバーを下側の位置に戻さないままだと、標準的なタイプの用紙に印刷するときの印刷品質が低下します。

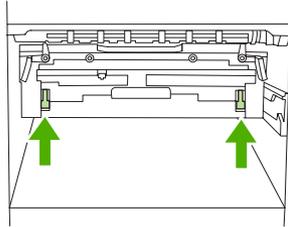
図 7-19 フューザ レバーのセット位置の変更 (3/4)

4. 左扉を閉じます。

図 7-20 フューザ レバーのセット位置の変更 (4/4)

5. 排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

プログラムを使用した封筒への印刷

1. 封筒はトレイ 1 にセットしてください。
2. ご使用のプログラムまたはプリンタ ドライバで、給紙トレイにトレイ 1 を指定します。
3. 封筒のサイズとタイプを適切に設定します。封筒の規格については、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
4. 封筒のフォーマットが自動的に設定されない場合は、印刷の向きを「縦」に指定します。

注意： 印刷を開始した後に、封筒を追加したり取り出したりしないようにしてください。紙詰まりの原因になります。

5. マージンは、封筒の端から 15mm (0.6 インチ) 以内に設定します。最良の印刷品質を実現するには、宛先の住所と差出人の住所の位置に適したマージンを設定します (一般的には、住所のマージンは商用 10 号 または DL 封筒用に設定されています)。封筒の背面にある 3 つの折り返し片が重なるところには、印刷しないようにしてください。
6. 左ビンを排紙ビンとして選択します。
7. 封筒への印刷が完了したら、フューザ レバーを下側の位置に戻します。

注意： フューザ レバーを下側の位置に戻さないままだと、標準的なタイプの用紙に印刷するときの印刷品質が低下します。

印刷のジョブ保存機能

印刷ジョブに、次のジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後のジョブ保留**。すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りし、その後で必要な部数を印刷できます。
- **パーソナル ジョブ**。プリンタにプライベート ジョブを送信する場合は、コントロール パネルで必要な暗証番号 (PIN) を入力しなければジョブは印刷されません。
- **保存ジョブ**。人員記録ファイル、タイム シート、カレンダーなどのジョブをプリンタに保存すれば、他の人がいつでも印刷できます。保存ジョブを PIN で保護することもできます。

コンピュータからジョブ保存機能を使用するには、このセクションの手順に従ってください。作成するジョブ タイプに該当するセクションを参照してください。

△ 注意： プリンタの電源を切ると、試し刷り後の保留ジョブとパーソナル ジョブがすべて削除されます。

印刷のジョブ保存機能の利用

Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** をクリックして、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、 **[印刷]** ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで **[ジョブ保存]** を選択します。古いバージョンのプリンタ ドライバの場合は、**[プリンタ固有オプション]** を選択します。

試し刷り後の保留機能の使用

試し刷り後に保留機能では、すばやく簡単にジョブのコピーを 1 部印刷して確認できます。

ジョブを永久に保存し、空き容量が必要になった場合でも削除されないようにするには、ドライバで **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成

△ **注意：** 新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションではなく **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションを選択して、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する

ハード ディスクに保存されているジョブの残りの部数を印刷するには、デバイスのコントロール パネルで以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、古い試し刷り後に保留ジョブは自動的に削除されます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 を押します。
6. はい を押します。

パーソナル ジョブ機能の使用

パーソナル印刷機能を使用すると、ジョブを解放するまで印刷できないように指定できます。まず、プリンタ ドライバで PIN を入力して 4 桁の PIN を設定します。PIN は印刷ジョブと共にプリンタに送信されます。印刷ジョブをデバイスに送信した後にジョブを印刷するには、PIN を使用する必要があります。

パーソナル ジョブの作成

ジョブをパーソナルに指定するには、ドライバで パーソナル ジョブ オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力してから、4 桁の PIN を **[ジョブをプライベートに設定]** フィールドに入力します。デバイスのコントロール パネルでこの PIN を入力するまで、ジョブは印刷されません。

パーソナル ジョブの印刷

ジョブをデバイスに送信してから、コントロール パネルでパーソナル ジョブを印刷できます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。

   注記： パーソナル ジョブの横には (ロック記号) が表示されます。

5. PIN フィールドにタッチします。
6. 数字キーパッドを使用して PIN を入力し、**[OK]** をタッチします。
7. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
8. 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。

パーソナル ジョブの削除

パーソナル ジョブの印刷が完了すると、デバイスのハード ディスクから自動的に削除されます。プライベート ジョブジョブを印刷しないで削除するには、次の手順で操作します。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。

   注記： パーソナル ジョブの横には (ロック記号) が表示されます。

5. PIN フィールドにタッチします。
6. 数字キーパッドを使用して PIN を入力し、OK をタッチします。
7. 削除 を押します。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用して、ジョブを必要な部数だけ印刷して、コピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。後でジョブの追加の部数を印刷することができます。この機能は、プリンタ ドライバでオフにすることができます。

デフォルトでは、異なるクイック コピー ジョブを 32 までプリンタに保存できます。コントロール パネルでデフォルト値を変更できます。15 ページの 「[管理] メニューの操作」を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成

△ **注意：** 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、120 ページの 「クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する」を参照してください。

クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する

ここでは、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブをコントロール パネルで部数を追加して印刷する方法について説明します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
6. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

クイック コピー ジョブの削除

不要なクイック コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルで削除します。新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから自動的に削除されます。

注記： 保存されたクイック コピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin で削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

保存ジョブ機能の使用

印刷ジョブを印刷しないで、プリンタのハード ディスクに保存できます。プリンタのコントロール パネルからいつでもこのジョブを印刷できます。たとえば、他のユーザーがいつでも印刷することができる個人フォーム、カレンダー、タイムシート、または会計フォームなどをダウンロードすることができます。

印刷ジョブの保存

ドライバで **[保存ジョブ]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。デバイスのコントロール パネルで印刷を指示するまでジョブは印刷されません。

保存した印刷ジョブの印刷

コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 保存ジョブの取得 ( ) にタッチすると、文書が印刷されます。
6. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
7. 保存ジョブの取得 ( ) にタッチすると、文書が印刷されます。

横に (ロック記号) が表示されているファイルを印刷するには、PIN が必要です (プライベート ジョブのため)。

保存した印刷ジョブの削除

デバイスのハード ディスクに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 を押します。
6. はい を押します。

横に (ロック記号) が表示されているファイルを削除するには、PIN が必要です。

8 コピー

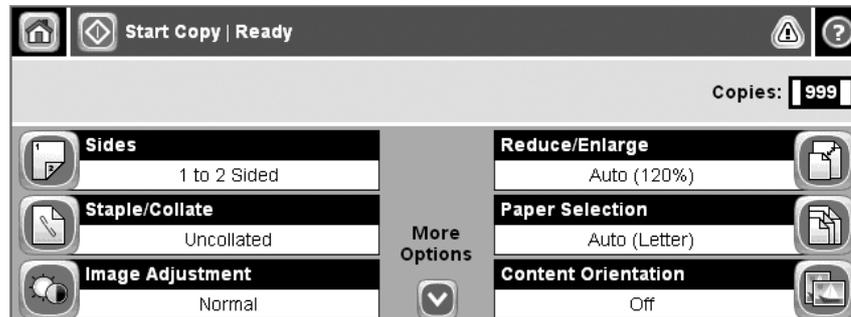
このデバイスは、スタンドアロンのコピー機として機能します。コンピュータに印刷システム ソフトウェアをインストールする必要はありません。コピーの設定は、コントロール パネルで調整できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使って原稿をコピーすることもできます。

この章では、コピー方法とコピー設定の変更方法について説明します。次の項目があります。

コピー機能を使用する前に、コントロール パネルの基本的な情報を確認しておくことをお勧めします。詳細については、12 ページの 「コントロール パネルの使用」を参照してください。

コピー画面の使用

ホーム画面で コピー を選択して、コピー画面を表示します。ここで表示されるのは最初の 6 つのコピー機能だけです。その他のコピー機能を表示するには、その他のオプション を選択します。

図 8-1 コピー画面

デフォルトのコピー オプションの設定

[管理] メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルト設定を指定することができます。ほとんどの設定は、必要に応じて個々のジョブに対して無効にすることができます。そのジョブが完了すると、プリンタがデフォルト設定に戻ります。

1. ホーム画面で、スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を押し、デフォルト コピー オプション を押します。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

   各オプションの詳細については、127 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。内蔵されているヘルプ システムを使用して、各オプションの説明を見ることもできます。画面の右上の ヘルプ ボタン (?) を押してください。
4. [管理] メニューを終了するには、画面の左上の ホーム ボタン () を押してください。

基本的なコピー方法

このセクションでは、基本的なコピー手順について説明します。

スキャナ ガラスからのコピー

スキャナ ガラスを使用して、小さく薄いメディアまたは厚いメディアのコピーを 999 部までとることができます。たとえば、領収証、新聞の切り抜き、写真、古い文書、すりきれた文書、書物などのメディアです。

印刷面を下にしてガラスの上においてください。原稿の端をガラスの左上隅に合わせます。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、127 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。

文書フィーダからのコピー

文書フィーダを使用して最大 50 ページまでの文書のコピーを 999 部までとることができます (ページの厚さによって異なります)。ページの表面を下にして文書を文書フィーダにセットします。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、127 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。

コピー設定の調整

このデバイスにはコピー出力を最適化するための機能が用意されています。これらの機能はすべて コピー 画面から使用できます。

コピー 画面はいくつかのページで構成されています。第 1 ページで、その他のオプション を選択して次のページに進みます。次に、下矢印または上矢印ボタンを選択して、他のページにスクロールします。

オプションの使い方の詳細については、オプションを選択してから、画面の右上のヘルプ (?) ボタンを選択します。コピー オプションの概要を以下の表に示します。

注記： システム管理者がデバイスを設定した方法によっては、一部のオプションが表示されないことがあります。表のオプションは表示される順序で記載されています。

オプション名	説明
面	原稿の片面を印刷するか両面を印刷するか、およびコピーを片面コピーするか両面コピーするかを指定します。
縮小/拡大	ページのコピー イメージを縮小または拡大できます。
ステイプル/丁合い または 丁合い	オプションの HP ステイプラ/スタッカまたは HP マルチファンクション フィニッシャを取り付けている場合は、ステイプル/丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーの複数のページをステイプラで留めて組み合わせる際のオプションを設定します。 オプションの HP ステイプラ/スタッカまたは HP マルチファンクション フィニッシャを取り付けていない場合は、丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーしたページの各セットを原稿と同じ順序で組み合わせることができます。
用紙の選択	使用するサイズとタイプの用紙をセットするトレイを選択します。
イメージ調整	コピーの全体な品質が向上します。たとえば、濃さと鮮明度を調整し、背景のクリーンアップ 設定を使用して背景から不鮮明な画像を取り除いたり、明るい背景色を取り除くことができます。
内容の向き	原稿の内容を配置する方向 (縦または横) を指定します。
排紙ビン	コピーの排紙ビンを選択します。
テキスト/画像の最適化	特定の種類の内容の出力を最適化します。テキストや印刷された画像の出力を最適化したり、手動で値を調整することができます。
用紙あたりのページ数	複数のページを 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
ブックレット形式	2 枚以上のページを 1 枚の用紙にコピーして、用紙を中央で折って小冊子を作ることができます。
最小マージン	原稿がページの端近くに印刷されている場合に、コピーの縁に影が発生することを防止します。この機能を 縮小/拡大 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
ジョブ作成	複数のセットの原稿を 1 つのコピー ジョブにまとめます。文書フィーダーに一度にセットできる枚数よりコピーする原稿のページ数が多い場合にも、この機能を使用します。

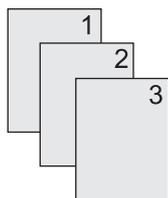
両面文書のコピー

両面文書を手動または自動でコピーできます。

両面文書の手動コピー

手動の場合にはコピーが片面に出力されるため、手動で組み合わせる必要があります。

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を下にして、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
2. コピー開始 を押します。奇数ページがコピーされ出力されます。
3. 文書フィーダの排紙トレイから用紙を取って、それを再度セットします。最後のページの表面を下に向けて、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
4. コピー開始 を押します。偶数ページがコピーされ出力されます。
5. コピーされた奇数ページと偶数ページを組み合わせます。

図 8-2 丁合いコピー

両面文書の自動コピー

デフォルトのコピー設定は片面から片面です。次の手順で設定を変更して、両面文書から、または両面文書へのコピーができるようにしてください。

片面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を下にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を押します。
4. **片面の文書を両面コピー** を押します。
5. OK を押します。
6. コピー開始 を押します。

両面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を下にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を押します。

4. **両面の文書を両面コピー** を押します。
5. OK を押します。
6. コピー開始 を押します。

両面文書から片面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を下にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を押します。
4. **両面の文書を片面コピー** を押します。
5. OK を押します。
6. コピー開始 を押します。

混合サイズの原稿のコピー

用紙の 1 辺の長さが同じであるならば、異なるサイズの用紙に印刷された原稿をコピーすることができます。たとえば、レター サイズとリーガル サイズを組み合わせたり、A4 と A5 サイズを組み合わせたりすることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を下にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。
3. ホーム画面で コピー を選択します。
4. 原稿のサイズ を押します。

注記： 最初の画面にこのオプションが表示されない場合は、オプションが表示されるまで その他のオプション を選択します。

5. レター/リーガル混合 を選択し、OK を選択します。
6. コピー開始 を押します。

コピーの丁合い設定の変更

複数のコピーを自動的にセットにまとめるようにデバイスを設定できます。たとえば、3 ページの原稿のコピーを 2 部作成する場合、自動丁合いが有効になっているとページが 1、2、3、1、2、3 の順に出力されます。自動丁合いが無効の場合は、ページが 1、1、2、2、3、3 の順に出力されます。

自動丁合いを使用するには、原稿のサイズがメモリの容量内である必要があります。そうでない場合はコピーが 1 部しか作成されず、変更を通知するメッセージが表示されます。その場合は、次のいずれかの方法でジョブを完了してください。

- ジョブを少ないページで構成される小さいジョブに分割する。
- 一度に 1 部ずつコピーをとる。
- 自動丁合いを無効にする。

選択した丁合いの設定は、設定を変えるまですべてのコピーに適用されます。デフォルトの設定では、コピーの自動丁合いは オン になっています。

1. コントロール パネルで コピー を選択します。
2. [ステイプル/丁合い] または [丁合い] を選択します。
3. オフ を押します。
4. OK を押します。

写真や本のコピー

写真のコピー

注記： 写真は文書フィーダではなくフラットベッド スキャナでコピーしてください。

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に写真を置きます。絵がある面を下にして、写真の左上隅をガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. コピー開始 を押します。

本のコピー

1. コピーする面を下向きにし、上端をガラスの後部に向けて本をガラスの上に置きます。本の背をブック アイコン 📖 に合わせ、ガラスの上端に沿うようにします。
2. コピー を押します。
3. スクロールして ブック コピー をタッチします。
4. ブック コピー オン をタッチし、OK をタッチします。
5. コピーする部数を選択し、必要に応じてその他の設定を調整します。
6. コピー開始 をタッチするか、コントロール パネルの [スタート] ボタンを押します。
7. コピーするページを次から選択します。
   - 両面コピー は、本の左側と右側の画像を両方ともコピーします。
   - 左側のページをスキップ は、本の背から見て右側の画像のみコピーします。
   - 右側のページをスキップ は、本の背から見て左側の画像のみコピーします。
8. スキャン をタッチします。
9. 最後のページをスキャンしたら、終了 をクリックします。

ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合

ジョブ作成機能を使用して、複数のスキャンから 1 つのコピー ジョブを作成できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使用できます。最初のスキャンの設定が、後続のスキャンにも使用されます。

1. コピー を押します。
2. ジョブ作成 にスクロールして押します。
3. ジョブ作成オン を押します。
4. OK を押します。
5. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
6. コピー開始 を押します。ページをスキャンするたびに、コントロール パネルには、さらにスキャンするページがあるかどうかを確認するメッセージが表示されます。
7. ジョブにまだページがある場合は、次のページをセットして スキャン を選択します。

   プリンタには、スキャンしたすべての画像が一時的に保存されます。プリンタで取得した情報が印刷を開始できる分量になると、コピーの印刷が開始されます。コピーの印刷を終了するには、終了 をタッチします。

注記： ジョブ作成では、文書フィーダを使用して文書の最初のページをスキャンした場合は、その文書のすべてのページを文書フィーダを使用してスキャンする必要があります。スキャナ ガラスを使用してドキュメントの最初のページをスキャンした場合は、スキャナ ガラスを使用してそのドキュメントのすべてのページをスキャンする必要があります。

コピー ジョブのキャンセル

現在実行中のコピー ジョブをキャンセルするには、コントロール パネルで 停止 を選択します。これにより、デバイスが一時停止します。次に 現行ジョブをキャンセル を選択します。

注記： コピー ジョブをキャンセルしたら、フラットベッド スキャナまたは自動文書フィーダから文書を取り除いてください。

コピーのジョブ保存機能

デバイスのコントロール パネルで、後で印刷することが可能な保存コピー ジョブを作成できます。

コピー ジョブの保存

1. 原稿を下向きにしてガラス面にセットするか、下向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
3. 作成 を押します。
4. 次のいずれかの方法で、保存したジョブ名を指定します。
   - リストから既存フォルダを選択します。新規ジョブ をタッチして、ジョブ名を入力します。
   - 画面の右側にある既存の フォルダ名: または ジョブ名: の下のボックスをタッチして、テキストを編集します。
5. プライベート保存ジョブには名前の横にロック アイコンが表示されます。このジョブの取得には PIN を指定する必要があります。ジョブをプライベートにするには、印刷の PIN を選択し、ジョブの PIN を入力します。OK を押します。
6. 他のジョブ保存オプションの表示と変更を行うには、その他のオプション をタッチします。
7. すべてのオプションを設定したら、画面の左上隅にある 保存ジョブの作成 () をタッチして、文書のスキャンとジョブの保存を行います。ジョブは削除するまでデバイスに保存されるため、後で必要に応じて追加部数を印刷できます。

保存したコピー ジョブの印刷

コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。
6. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
7. 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。

横に (ロック記号) が表示されているファイルを印刷するには、PIN が必要です (プライベート ジョブのため)。

保存したコピー ジョブの削除

デバイスのハード ディスクに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. ホーム画面で ジョブ保存 を選択します。
2. 取得 を押します。

3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。

4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。

5. 削除 を押します。

6. はい を押します。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを削除するには、PIN が必要です。

9 スキャンして電子メールに送信

MFP にはカラー スキャン機能とデジタル送信機能があります。プリンタのコントロール パネルを使用して、モノクロまたはカラーのドキュメントをスキャンしたり、電子メールの添付ファイルとして電子メール アドレスに送信したりできます。デジタル送信を使用するには、プリンタが LAN (Local Area Network) に接続されている必要があります。

注記： 電子メールが設定されていない場合、コントロール パネルに電子メール アイコンが表示されません。

電子メールを送信するようにデバイスを設定

電子メールに文書を送信するには、まずデバイスを設定する必要があります。

注記： 次の説明はコントロール パネルでプリンタを設定する場合の手順です。次の手順は、内蔵 Web サーバーを使用して実行することもできます。詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

対応プロトコル

HP LaserJet M9040 および HP LaserJet M9050 MFP モデルは、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) と LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) に対応しています。

SMTP (電子メール ゲートウェイ)

- SMTP は、電子メールを送受信するプログラム間の対話を定義する規則群です。このデバイスで電子メールに文書を送信するには、SMTP 対応の電子メール サーバーにアクセスできる LAN に接続する必要があります。また、SMTP サーバーもインターネットに接続している必要があります。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に問い合わせて、SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入手してください。DSL またはケーブル接続を使用している場合、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせて、SMTP サーバーの IP アドレスを入手してください。

LDAP

- LDAP は、情報データベースにアクセスするために使用されます。LDAP を使用している場合、電子メール アドレスのグローバル リストが検索されます。電子メール アドレスを入力し始めると、自動入力機能が使用され、入力した文字に一致する電子メール アドレスの一覧が LDAP から取得されます。追加の文字を入力すると、一致する電子メール アドレス数は少なくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。

  注記： LDAP 設定を変更する場合は、内蔵 Web サーバーを使用する必要があります。詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」またはデバイス CD の*内蔵 Web サーバー ユーザーズ ガイド*を参照してください。

電子メール サーバーの設定

コントロール パネルのホーム画面で ネットワーク アドレス ボタンにタッチするか、システム管理者に問い合わせて、SMTP サーバーの IP アドレスを確認します。その後、以下の手順に従って、IP アドレスを手動で設定してテストします。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. ホーム画面で 管理 を選択します。
2. 初期セットアップ を押します。
3. Touch 電子メール セットアップ を押し、SMTP ゲートウェイ を押します。

4. SMTP ゲートウェイ アドレス (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を入力します。IP アドレスまたはドメイン名がわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

5. OK を押します。

SMTP 設定のテスト

1. ホーム画面で 管理 を選択します。

2. 初期セットアップ を押します。

3. 電子メール セットアップ を押し、送信ゲートウェイのテスト を押します。

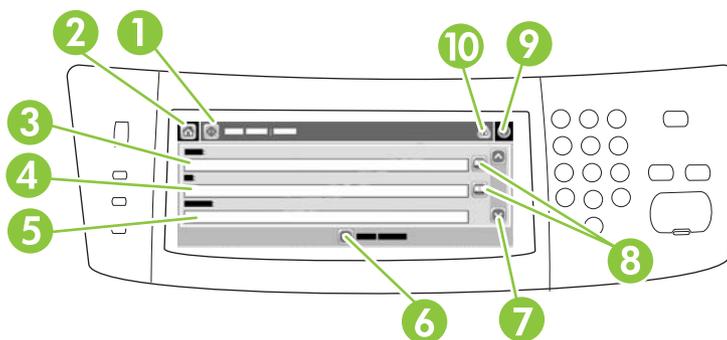
   設定が正しい場合、コントロール パネル ディスプレイに **ゲートウェイは正常です** と表示されます。

最初のテストが成功したら、デジタル送信機能を使用して自分宛てに電子メールを送信します。電子メールを受信できた場合は、デジタル送信機能が正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、次の操作を行ってデジタル送信ソフトウェアに関する問題を解決してください。

- SMTP およびアドレスを正しく入力したか確認します。
- 設定ページを印刷します。SMTP ゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分宛てに電子メールを送信します。電子メールを受信できた場合は、ネットワークが正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせてください。
- DISCOVER.EXE ファイルを実行します。このプログラムでゲートウェイを見つけることができます。ファイルは、HP Web サイト www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp からダウンロードできます。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。

1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メール アドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、CC:、BCC:、メッセージ、ファイル名 の各フィールドを表示し、設定します。どのフィールドをタッチしていもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンをタッチすると、アドレス帳を使用して、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを設定できます。詳細については、143 ページの 「アドレス帳の使用」を参照してください。
9	ヘルプ ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。詳細については、12 ページの 「コントロール パネルの使用」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がときにのみ、このボタンが表示されます。タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

基本的な電子メール機能の使用

デバイスの電子メール機能では、以下が可能です。

- 複数の電子メール アドレスにドキュメントを送信して、時間と送信コストを節約します。
- モノクロまたはカラーでファイルを送信します。ファイルは、受信者が操作できるさまざまなファイル形式で送信できます。

電子メールの場合、文書がプリンタのメモリのスキャンされ、添付として電子メール アドレスに送信されます。.TFF、.JPG などいくつかのグラフィックス形式でデジタル文書を送信できるので、受信者が必要に応じてさまざまなプログラムを使用して文書ファイルを操作できます。ドキュメントは原稿に近い品質で受信され、印刷、保存、または転送できます。

電子メール機能を使用するには、プリンタがインターネットにアクセスできる有効な SMTP LAN に接続されている必要があります。

文書のセット

ガラス面または ADF を使用して文書をスキャンできます。ガラスおよび ADF は、エグゼクティブ/A5 ～レジャー (LDR、11 x 17)/A3 の原稿に対応しています。小型のサイズ、領収書、定形外ドキュメントや擦り切れたドキュメント、ステイプルで留めたドキュメント、折りたたまれていたドキュメント、写真は、ガラスを使用してスキャンする必要があります。複数ページのドキュメントは、ADF を使用して簡単にスキャンできます。

文書の送信

プリンタで白黒原稿とカラー原稿をスキャンすることができます。デフォルト設定を使用したり、スキャン設定やファイル形式を変更したりすることもできます。デフォルトの設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF (受信者が電子メールの添付ファイルを表示するには、Adobe Acrobat ビューアが必要です)

現在のジョブの設定を変更する詳細については、145 ページの 「現在のジョブの電子メール設定を変更」を参照してください。

文書の送信

1. 文書を下向きにしてスキャナ ガラスの上にセットするか、下向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面で 電子メール を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 送信元：、宛先：、および 件名： の各フィールドに必要事項を入力します。下にスクロールし、必要に応じて CC:、BCC:、メッセージ の各フィールドに入力します。ユーザー名またはその他のデフォルト情報は、送信元： フィールドに表示されます。フィールドに表示された情報は変更できません。
5. (オプション) 送信する文書の設定 (原稿サイズなど) を変更するには、その他のオプション にタッチします。両面文書を送信する場合は、面 を選択し、両面の原稿についてのオプションを選択します。

6. スタート を押して送信を開始します。

7. 終了したら、原稿をスキャナ ガラス、ADF、または排紙ビンから取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で 宛先 : 、CC:、または 送信元 : の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。Enter にタッチすると名前の入力が終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用

プリンタのアドレス帳機能を使用して、リストに含まれる受信者に電子メールを送信できます。アドレス一覧については、システム管理者に問い合わせてください。

注記： 内蔵 Web サーバー (EWS) を使用して、電子メールのアドレス帳を作成および管理することもできます。EWS の電子メール アドレス帳では、1 つの電子メール アドレス、または電子メール配布リストを追加、編集または削除できます。詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」 を参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の 電子メール にタッチします。

2. 以下のいずれかの手順を実行します。

   - 宛先： にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの Enter にタッチします。

   - アドレス帳を使用します。

     a. 電子メール送信画面のアドレス帳ボタン () にタッチすると、アドレス帳が開きます。

     b. スクロール バーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。

     c. 受信者を選択して名前をハイライトし、追加ボタン () にタッチします。

     また、画面の上部にあるドロップダウン リストにタッチして配信リストを選択し、すべて にタッチするか、ドロップダウン リストの ローカル にタッチしてローカルのリストから受信者を追加します。使用する名前を選択してハイライトし、 にタッチすると、受信者リストに名前が追加されます。

     リストから受信者を削除するには、削除する受信者を選択してハイライトし、削除ボタン () にタッチします。

3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。受信者リストの設定が終わったら、OK にタッチします。

4. OK にタッチします。

5. 必要に応じて、電子メール送信画面の CC: フィールドと 件名： フィールドに入力します。宛先： テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。

6. スタート を押します。

ローカルのアドレス帳の使用

ローカルのアドレス帳によく使用する電子メール アドレスを保存できます。HP デジタル送信ソフトウェアにアクセスする同じサーバーを使用するデバイスであれば、ローカルのアドレス帳を共有できます。

送信元、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン ( ) にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. ローカル にタッチします。
2. にタッチします。
3. (オプション) 名前 フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。OK にタッチします。

   この名前は電子メール アドレスの別名です。別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。
4. アドレス フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。OK にタッチします。

ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。

注記： 電子メール アドレスを*変更*するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. ローカル にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3. にタッチします。

   以下の確認メッセージが表示されます。**選択したアドレスを削除してよろしいですか？**
4. 電子メール アドレスを削除する場合は はい にタッチし、アドレス帳画面に戻るには いいえ にタッチします。

現在のジョブの電子メール設定を変更

現在の印刷ジョブについて、次の電子メール設定を変更するには、その他のオプション ボタンを使用します。

ボタン	説明
文書ファイル タイプ	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。
出力品質	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。印刷品質を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
解像度	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。解像度を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
カラー/黒	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
原稿の面数	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
内容の向き	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
原稿のサイズ	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
テキスト/画像の最適化	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
ジョブ作成	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1 つのファイルで送信できます。
イメージ調整	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。

フォルダにスキャン

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista があります。

注記： このオプションを使用するときや、特定のフォルダに送信するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められることもあります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

1. 文書を下向きにしてスキャナ ガラスの上にセットするか、下向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ネットワーク フォルダ]** をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] で文書を保存するフォルダを選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. **[ネットワーク フォルダに送信]** にタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン

注記： このデバイス機能は、オプションの Digital Sending Software を使うことにより利用できます。

この機能がシステム管理者により使用可能になると、ドキュメントをスキャンしてカスタム ワークフロー宛先に送信できます。ワークフロー宛先には追加の情報およびスキャンしたドキュメントを、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) の場所に送信する機能があります。追加情報の入力を求めるメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されます。システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワーク プリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてスキャナ ガラスの上にセットするか、下向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ワークフロー]** をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. テキスト フィールドにファイルに追加するデータを入力し、**[送信ワークフロー]** にタッチします。

10 ファックス

アナログ ファックス

アナログ ファックス機能を MFP に追加するには、アナログ ファックス アクセサリ 300 を購入してインストールします。アナログ ファックス アクセサリがインストールされている場合、MFP はスタンドアロンのファックス機として使用できます。アナログ ファックス アクセサリの注文方法については、246 ページの 「部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法」を参照してください。『*アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザーズ ガイド*』および『*アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド*』は、www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300 から入手できます。

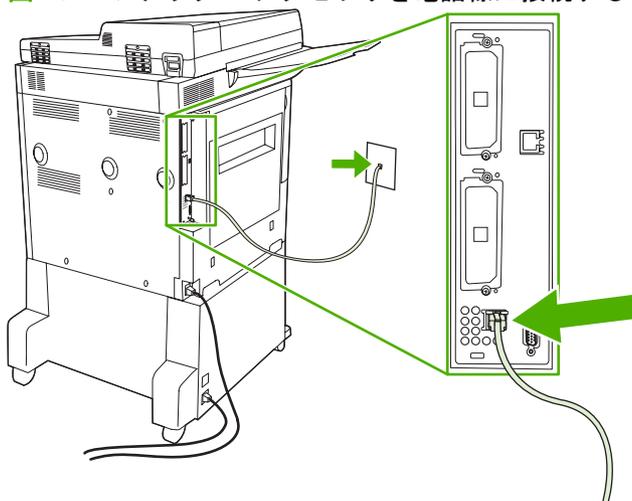
ファックス アクセサリを電話線に接続する

ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用の回線に接続し、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

注記： アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をフォーマッタ上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

図 10-1 ファックス アクセサリを電話線に接続する

△ **注意：** フォーマッタの下部にあるファックス アクセサリ ポートの電話差し込み口に電話線を接続します。

2. 電話コードのもう一方の端を壁の電話ジャックに接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックス機能を設定および使用する

ファックスを使用する前に、コントロール パネル メニューを使用して設定する必要があります。ファックス アクセサリの設定と使用、およびファックス アクセサリに関する問題のトラブルシューテ

ィングの詳細については、『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザーズ ガイド*』を参照してください。このガイドは、ファックス アクセサリに付属しています。

MFP のコントロール パネルを介さずに、コンピュータからファックスを送信するには、ファックス送信ドライバを使用します。詳細については、『*HP LaserJet MFP アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド*』を参照してください。

デジタル ファックス

HP Digital Sending Software (オプション) をインストールしている場合は、デジタル ファックスを使用できます。このソフトウェアの注文の詳細については、http://www.hp.com/go/digitalsending にアクセスしてください。

デジタル ファックス送信では、MFP を電話回線に直接接続する必要は*ありません*。その代わり、MFP は次のいずれかの方法でファックスを送信することができます。

- **LAN ファックス**は、サードパーティのファックス プロバイダを通じてファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**は、コンピュータ上のファックス モデムおよびデジタル送信モジュールで、ターンキー ゲートウェイ ファックスとして機能します。
- **インターネット ファックス**は、インターネット ファックス プロバイダを通じてファックスを処理します。ファックスは、通常のファックス機器に送信、またはユーザーの電子メール アドレスにメールとして送信されます。

デジタル ファックスの使用の詳細については、HP Digital Sending Software に付属のマニュアルを参照してください。

11 管理と保守

情報ページ

情報ページでは、デバイスとその現在の設定についての詳細が提供されます。情報ページを印刷する手順は以下の表のとおりです。

ページの説明	MFP のコントロール パネルでページを印刷する方法
メニュー マップ コントロール パネルのメニューと利用可能な設定を表示します。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] をタッチします。 4. [管理メニュー マップ] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。 メニュー マップの内容は、現在デバイスにインストールされているオプションによって異なります。 コントロール パネルのメニューおよび使用可能な値の完全なリストについては、12 ページの 「コントロール パネルの使用」を参照してください。
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] をタッチします。 4. [設定ページ] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。 注記： デバイスに HP Jetdirect プリント サーバーやオプションのハード ディスク ドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する追加の設定ページが印刷されます。
サプライ品ステータス ページ プリント カートリッジの寿命と保守キットのステータスを表示します。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] をタッチします。 4. [サプライ品ステータス ページ] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。 注記： HP 製以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されない場合があります。
使用状況ページ 用紙サイズごとの印刷ページ数、片面印刷または両面印刷したページ数、および印刷範囲の平均パーセンテージが表示されます。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] をタッチします。 4. [使用状況ページ] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。
ファイル ディレクトリ デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、大容量ストレージ デバイスの情報を表示します。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] をタッチします。

ページの説明	MFP のコントロール パネルでページを印刷する方法
	4. [ファイル ディレクトリ] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。
ファックス レポート 5 つのレポートには、ファックスの使用状況、ファックス コール、請求書コード、ブロックされたファックス番号、短縮ダイアル番号が記載されます。 注記： ファックス レポートは、ファックス アクセサリが取り付けられているモデルでのみ使用できます。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [ファックス レポート] をタッチします。 4. レポートを印刷するには、次のボタンのうち、目的のレポートに対応するボタンをタッチします。 ◦ ファックス使用状況ログ ◦ ファックス コール レポート ◦ 請求書コード レポート ◦ ブロックされたファックス リスト ◦ 短縮ダイアル リスト 5. [印刷] をタッチします。 詳細については、デバイスに付属のファックス ガイドを参照してください。
フォント リスト デバイスに現在インストールされているフォントを表示します。	1. ホーム画面で [管理] をタッチします。 2. [情報] をタッチします。 3. [サンプル ページ/フォント] をタッチします。 4. [PCL フォント リスト] または [PS フォント リスト] をタッチします。 5. [印刷] をタッチします。 注記： フォント リストには、ハード ディスク アクセサリやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます。

内蔵 Web サーバー

内蔵 Web サーバーを使用すると、MFP のコントロール パネルの代わりにコンピュータを使用して、MFP とネットワークのステータスの確認や、印刷機能の管理を行うことができます。内蔵 Web サーバーを使用して実行できる機能の例を次に示します。

注記： プリンタがコンピュータに直接接続されている場合は、HP Easy Printer Care を使用してプリンタのステータスを表示できます。

- MFP ステータス情報の表示
- 各トレイにセットされているメディアのタイプ設定
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- MFP のコントロール パネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- MFP およびサプライ品のイベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。HP-UX 10 および HP-UX 11 の場合は、Netscape Navigator 4.7 をインストールする必要があります。内蔵 Web サーバーは、MFP が IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。内蔵 Web サーバーは、IPX ベースの MFP 接続をサポートしていません。内蔵 Web サーバーを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

MFP をネットワークに接続すると、内蔵 Web サーバーが自動的に使用可能になります。

注記： 内蔵 Web サーバーの使い方の詳細については、HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP のソフトウェア CD に収録されている『*内蔵 Web サーバー ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

ネットワーク接続を使用して内蔵 Web サーバーを開く

1. コンピュータ上の対応 Web ブラウザで、アドレスまたは URL フィールドにデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレスまたはホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。154 ページの 「情報ページ」を参照してください。

   注記： URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバーには、デバイスに関する設定や情報を確認するための **[情報]** タブ、**[設定]** タブ、**[ネットワーク]** タブ、および **[デジタル送信]** タブの 4 つのタブがあります。表示するタブをクリックしてください。

   各タブの詳細については、157 ページの 「内蔵 Web サーバーのセクション」を参照してください。

内蔵 Web サーバーのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ デバイス、ステータス、および設定に関する情報を表示します。	● **[デバイスのステータス]** : デバイスのステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。各トレイにセットされている印刷用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]** をクリックします。 ● **[設定ページ]** : 設定ページの情報を表示します。 ● **[サプライ品のステータス]** : HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。サプライ品の部品番号も表示されます。新しいサプライ品を注文するには、ウィンドウの左側にある **[その他のリンク]** 領域の**[サプライ品の購入]** をクリックします。 ● **[イベント ログ]** : すべてのデバイス イベントとエラーの一覧を表示します。 ● **[使用状況ページ]** : 用紙のサイズとタイプ別にデバイスの印刷ページ数の概要を表示します。 ● **[デバイス情報]** : デバイスのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの**[デバイス情報]** をクリックします。 ● **[コントロール パネル]** : **[印刷可能]**、**[スリープ モード オン]** など、デバイスのコントロール パネルからのメッセージを表示します。 ● **[印刷]** : 印刷ジョブをデバイスに送信することができます。
[設定] タブ コンピュータからデバイスを設定できます。	● **[デバイスの設定]** : デバイスを設定できます。このページでは、コントロール パネルを使用して、デバイスの従来のメニューを表示します。 ● **[トレイ サイズ/タイプ]** : プリンタの各トレイの用紙サイズと用紙タイプを割り当てることができます。 ● **[電子メール サーバー]** : ネットワーク プリンタ専用です。**[警告]** ページと併せて使用し、受信および送信メールの設定の他に電子メール警告の設定も行います。 ● **[警告]** : ネットワーク プリンタ専用です。さまざまなデバイスおよびサプライ品のイベントの電子メール警告を受信するように設定できます。 ● **[自動送信]** : デバイスの設定およびサプライ品に関する電子メールを特定の電子メール アドレスに自動送信するようにデバイスを設定できます。 ● **[セキュリティ]** : **[設定]** および **[ネットワーキング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。内蔵 Web サーバーの任意の機能を有効または無効にします。 ● **[認証マネージャ]** : 機能を使用するためにユーザーがログイン情報を入力する必要があるデバイスの機能を指定できます。 ● **[LDAP 認証]** : デバイスにアクセスできるユーザーを制限するように LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーを設定できます。デバイスにアクセスするには、ユーザーはログイン情報を入力する必要があります。 ● **[Kerberos 認証]** : Kerberos 領域に対してユーザーを認証するようにデバイスを設定できます。1 つ以上のデバイスの機能のログイン方法として Kerberos 認証が選択されている場合、その機能にアクセスするには、デバイスのユーザーは有効な認証情報 (ユーザー名、パスワード、および領域) を入力する必要があります。 ● **[デバイス PIN]** : PIN (個人識別番号) を使用して、1 つ以上のデバイスの機能へのアクセスを制限できます。 ● **[ユーザー PIN]** : ユーザー PIN レコードをデバイスに追加したり、デバイスに保存されているユーザー PIN レコードを編集または削除したりすることができます。

タブまたはセクション	オプション
	デバイスにアクセスする各ユーザーに PIN の入力を求めるようにデバイスを設定できます。 ● **[その他のリンクの編集]**：別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、内蔵 Web サーバーのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。 ● **[デバイス情報]**：デバイスに名前を付け、アセット番号を割り当てることができます。デバイスに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力します。 ● **[言語]**：内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を指定します。 ● **[日付と時刻]**：ネットワーク タイム サーバーと時間の同期をとります。 ● **[スリープ復帰時刻]**：デバイスのスリープ復帰時刻を設定または編集できます。 注記： **[設定]** タブはパスワードで保護できます。デバイスがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずデバイスの管理者に相談してください。
[デジタル送信] タブ コンピュータからデジタル送信設定を変更できます。	● **[全般的な設定]**：デジタル送信の管理者情報を設定できます。 ● **[フォルダに送信]**：スキャンした文書を共有フォルダまたは FTP サイトに送信できます。 ● **[電子メール設定]**：SMTP 設定、電子メールの添付ファイルの最大サイズ、および製品のデフォルトの電子メール アドレスを設定できます。また、製品から送信するすべての電子メール メッセージのデフォルトの件名も設定できます。 ● **[電子メール アドレス帳]**：電子メール アドレスをデバイスに追加したり、デバイスに保存されている電子メール アドレスを編集したりすることができます。 ● **[ファックス アドレス帳]**：ファックス番号をデバイスに追加したり、デバイスに保存されているファックス番号を編集したりすることができます。 ● **[インポート/エクスポート]**：アドレス帳とユーザー情報をデバイスにインポートしたりデバイスからエクスポートしたりすることができます。 ● **[LDAP 設定]**：電子メール アドレスを参照するように LDAP サーバーを設定できます。 ● **[ログ]**：発生したエラーなどのデジタル送信ジョブ情報を表示できます。 ● **[ユーザー設定]**：デジタル送信機能の全般的な設定を指定できます。
[ネットワーキング] タブ コンピュータからネットワーク設定を変更できます。	ネットワーク管理者は、このタブを使用して、デバイスが IP ベースのネットワークに接続されているときにデバイスのネットワーク関連の設定を制御することができます。デバイスが直接コンピュータに接続されている場合、またはデバイスが HP Jetdirect プリント サーバー以外を使用してネットワークに接続されている場合、このタブは表示されません。 注記： **[ネットワーキング]** タブはパスワードで保護できます。
[その他のリンク] インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。	● **[HP Instant Support™]**：トラブルシューティングを参照できる HP の Web サイトに接続します。このサービスは、デバイスのエラー ログと設定情報を分析して、そのデバイスに合った診断とサポート情報を提供するものです。 ● **[サプライ品の購入]**：HP SureSupply Web サイトに接続し、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションに関する情報を表示できます。 ● **[製品サポート]**：デバイスのサポート サイトに接続し、一般的なトピックに関するヘルプを検索することができます。

タブまたはセクション	オプション
	注記： これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイアルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバーを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバーをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care は、以下の作業に使用できるソフトウェア プログラムです。

- デバイスのステータス確認
- サプライ品ステータスのチェック
- 警告のセットアップ
- デバイス マニュアルの表示
- トラブルシューティングおよび保守ツールへのアクセス
- 使用状況レポートの印刷
- HP ドライバ、ソフトウェア、およびデバイスのファームウェアに関する問題の解決

HP Easy Printer Care は、プリンタが直接コンピュータに接続されている場合、またはネットワークに接続されている場合に使用できます。HP Easy Printer Care を使用するには、ソフトウェアのフルインストールを実行する必要があります。

注記： インターネットに接続していなくても、HP Easy Printer Care を開いて使用できます。ただし、Web リンクをクリックする場合は、インターネットに接続していなければ、リンクに関連付けられたサイトに移動できません。

HP Easy Printer Care の詳細については、http://www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

対応オペレーティング システム

HP Easy Printer Care は、Windows 2000、Windows XP Service Pack 2 (Professional または Home)、および Windows Vista に対応しています。

HP Easy Printer Care ソフトウェアの起動

次のいずれかの方法で HP Easy Printer Care ソフトウェアを起動します。

- **[スタート]** メニューで **[プログラム]**、**[Hewlett-Packard]**、**[HP Easy Printer Care]** の順に選択し、**[HP Easy Printer Care の起動]** をクリックします。
- Windows のシステム トレイ (デスクトップの右下隅) にある HP Easy Printer Care アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care ソフトウェアのセクション

HP Easy Printer Care ソフトウェアでは、ネットワークに接続されている複数の HP 製品や、コンピュータに直接接続されている製品に関する情報が表示されます。一部の製品では、次の表に示す一部の項目が表示されない場合があります。

各ページの右上にあるヘルプ ボタン **[?]** をクリックすると、そのページにあるオプションに関する詳細情報が表示されます。

セクション	オプション
[デバイス一覧] タブ ソフトウェアを起動したときに最初に表示されるページです。 注記： 別のタブからこのページに戻るには、ウィンドウの左側で **[マイ HP プリンタ]** をクリックします。	● **[デバイス]** リスト：選択可能な製品を表示します。 注記： 製品情報は、リスト形式またはアイコンとして表示されます。表示形式は、**[表示方法]** オプションで決まります。 ● このタブには、製品の現在のアラートに関する情報も表示されます。 ● リスト内の製品をクリックすると、HP Easy Printer Care を介して、選択した製品の **[概要]** タブが表示されます。
[互換性のあるプリンタ]	HP Easy Printer Care ソフトウェアをサポートするすべての HP 製品のリストが表示されます。
[他のプリンタを検索] ウィンドウ **[マイ HP プリンタ]** リストに製品を追加できます。	**[デバイス]** リストにある **[他のプリンタを検索]** リンクをクリックすると、**[他のプリンタを検索]** ウィンドウが開きます。**[他のプリンタを検索]** ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを **[マイ HP プリンタ]** リストに追加してリスト内の製品をコンピュータから監視することができます。
[概要] タブ デバイスの基本的なステータス情報を表示します。	● **[デバイスのステータス]** セクション：このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 ● **[サプライ品のステータス]** セクション：プリント カートリッジのトナー残量のパーセンテージや各トレイにセットされている用紙のステータスなど、サプライ品の詳細なステータスを表示します。 ● **[サプライ品詳細]** リンク：製品のサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。
[サポート] タブ サポート情報へのリンクが表示されます。	● **[デバイスのステータス]** セクション：このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 ● **[デバイス管理]** セクション：HP Easy Printer Care に関する情報、詳細な製品の設定、および製品の使用状況レポートへのリンクが表示されます。 ● **[トラブルシューティングおよびヘルプ]**：問題解決に使用できるツール、オンラインの製品サポート情報、およびオンラインの HP 専門家へのリンクが表示されます。
[設定] タブ 製品の設定を行い、印刷品質の設定を調整し、特定の製品機能に関する情報を収集できます。 注記： 一部の製品では、このタブは使用できません。	● **[バージョン情報]**：このタブに関する一般情報が表示されます。 ● **[一般]**：製品に関する、たとえばモデル番号、シリアル番号などの情報や日付の設定が表示されます。 ● **[情報ページ]**：製品の情報ページを印刷するためのリンクが表示されます。 ● **[機能]**：製品の機能、たとえば両面印刷、使用可能なメモリ、および使用可能な印刷パーソナリティに関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[印刷品質]**：印刷品質の設定に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[トレイ/用紙]**：トレイとその構成に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[デフォルト設定の復元]**：製品の設定を初期設定に戻すことができます。**[復元]** をクリックすると、設定が初期設定に戻ります。

セクション	オプション
[HP Proactive Support] 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	有効にすると、HP Proactive Support によって印刷システムが定期的にスキャンされ、潜在的な問題が特定されます。スキャンの頻度を設定するには、**[詳細情報]** のリンクをクリックします。このページには、製品のソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバのアップデートに関する情報も表示されます。推奨されるアップデートは適用するかどうかを選択できます。
[サプライ品の注文] ボタン 任意のタブで **[サプライ品の注文]** ボタンをクリックすると、**[サプライ品の注文]** ウィンドウが開き、オンラインでサプライ品を注文できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	● [注文] リスト：製品ごとに注文可能なサプライ品を表示します。特定のサプライ品を注文するには、サプライ品のリストで必要なサプライ品の **[注文]** チェック ボックスをオンにします。リストは、製品名順、または注文を急ぐサプライ品名順に並べ替えることができます。リストには、**[マイ HP プリンタ]** リスト内のすべての製品のサプライ品情報が含まれます。 ● **[サプライ品のオンライン ショップ]** ボタン：新しいブラウザ ウィンドウに HP SureSupply Web サイトを開きます。**[注文]** チェックボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送され、選択したサプライ品を購入するためのオプションに関する情報が Web サイトに表示されます。 ● **[Print Shopping List (購入リストの印刷)]** ボタン：**[注文]** チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。
[アラート設定] リンク 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	**[アラート設定]** をクリックすると、[アラート設定] ウィンドウが開き、各製品のアラートを設定できます。 ● アラートはオンまたはオフです。警告機能を有効または無効にします。 ● **[プリンタ アラート]**：このオプションを選択すると、重大なエラーのみ、またはすべてのエラーに関するアラートを受け取ります。 ● **[ジョブ アラート]**：この機能がサポートされている製品で、特定の印刷ジョブに関するアラートを受け取ることができます。
[Color Access Control] 注記： この項目は、カラー アクセス制御をサポートする HP カラー製品だけに使用できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	この機能を使用すると、カラー印刷を許可または制限できます。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。

注記： ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

Macintosh 用 HP Printer ユーティリティ

オプションの HP Printer ユーティリティ を使用して、Mac OS X V10.2、V10.3、または V10.4 コンピュータからプリンタを設定および保守します。ここでは、HP Printer ユーティリティ を使用して実行できる、いくつかの機能について説明します。

HP Printer ユーティリティ を開く

HP Printer ユーティリティ を開く手順は、使用している Macintosh オペレーティング システムによって異なります。

Mac OS X V10.2 で HP Printer ユーティリティ を開く

1. [Finder] を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[HP]** を選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、[HP Printer Selector] を開きます。
5. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.3 または MAC OS X V10.4 で HP Printer ユーティリティ を開く

1. Dock の **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

   注記： Dock に **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンが表示されていない場合は、[Finder] を開いて**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にポイントし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。

2. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

クリーニング ページの印刷

期待した品質レベルでジョブが印刷されない場合は、クリーニング ページを印刷します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[クリーニング中]** を選択します。
3. クリーニング ページを印刷するには **[クリーニング ページの印刷]** をクリックします。

設定ページの印刷

プリンタの設定を見るには、設定ページを印刷します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[設定ページ]** を選択します。
3. 設定ページを印刷するには **[設定ページの印刷]** をクリックします。

サプライ品のステータスの表示

コンピュータからプリンタのサプライ品 (プリント カートリッジ、イメージ ドラム、印刷メディアなど) のステータスを表示します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[サプライ品のステータス]** を選択します。
3. 交換可能なさまざまなサプライ品のステータスを表示する場合は **[サプライ品]** タブをクリックし、印刷メディアのステータスを表示する場合は **[メディア]** タブをクリックします。
   - 詳細なステータス リストを表示するには、**[サプライ品詳細]** をクリックします。[サプライ品情報] ダイアログ ボックスが表示されます。
   - オンラインでサプライ品を注文するには、**[HP サプライ品の注文]** をクリックします。オンライン注文の Web サイトを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。オンライン注文の詳細については、165 ページの 「サプライ品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用」を参照してください。

サプライ品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用

HP の Web サイトを使用して、プリンタのサプライ品の注文、プリンタの登録、カスタマ サポートの利用、またはプリンタのサプライ品のリサイクルに関する詳細の確認を行うことができます。サプライ品とサポートの Web サイトを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[HP サポート]** を選択します。
3. 次のボタンのいずれかをクリックします。
   - **[Instant Support]** : 技術サポートを要請できる Web ページが開きます。
   - **[サプライ品のオンライン注文]** : プリンタのサプライ品を注文できる Web ページが開きます。
   - **[オンライン登録]** : プリンタの登録を行える Web ページが開きます。
   - **[回収およびリサイクル]** : 使用済みサプライ品のリサイクルに関する情報が記載されている Web ページが開きます。

プリンタへのファイルのアップロード

コンピュータからプリンタにファイルを送信します。プリンタで実行される動作は、送信されるファイルのタイプによって異なります。たとえば、印刷可能なファイル (.PS ファイルや .PCL ファイルなど) が送信されると、そのファイルがプリンタによって印刷されます。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[ファイルのアップロード]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックして、アップロードするファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
4. ファイルをアップロードするには、**[アップロード]** をクリックします。

ファームウェアの更新

新しいファームウェア ファイルをコンピュータから読み込んで、プリンタのファームウェアを更新します。新しいファームウェア ファイルは、www.hp.com/go/ljm9040mfp_firmware または www.hp.com/go/ljm9050mfp_firmware で提供されます。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックして、アップロードするファームウェア ファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
4. ファームウェア ファイルをアップロードするには、**[アップロード]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷) モードの起動

自動両面印刷ユニットを装備しているプリンタで両面印刷機能をオンにします。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[両面印刷モード]** を選択します。
3. 両面印刷モードを起動するには、**[両面印刷モードの有効化]** を選択して、**[今すぐ適用]** をクリックします。

プリンタのストレージ デバイスのロックまたはロック解除

コンピュータからプリンタのストレージ デバイスへのアクセスを管理します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[リソースのロック]** を選択します。
3. **[コントロール パネル アクセス制御レベル]** ポップアップ メニューで、プリンタのコントロール パネルに対して設定するアクセス制御レベルを選択します。
4. ロックするデバイスを選択し、ロックを解除するデバイスの選択をクリアします。
5. **[今すぐ適用]** をクリックします。

保存ジョブの保存または印刷

コンピュータからプリンタのジョブの保存機能をオンにしたり、保存ジョブを印刷することができます。保存した印刷ジョブを削除することもできます。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[保存ジョブ]** を選択します。
3. 以下の操作のいずれかを実行します。
   - ジョブの保存機能をオンにするには、**[ジョブの保存の有効化]** を選択して、**[今すぐ適用]** をクリックします。
   - 保存ジョブを印刷するには、リストから保存ジョブを選択し、**[セキュア ジョブ PIN の入力]** ボックスに必要な個人識別 No (PIN) を、**[印刷部数]** ボックスに必要な部数を入力して、**[印刷]** をクリックします。
   - 保存ジョブを削除するには、リストから保存ジョブを選択して **[削除]** をクリックします。

トレイの設定

コンピュータからデフォルトのプリンタのトレイ設定を変更します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[トレイの設定]** を選択します。
3. **[トレイ]** リストで、設定するトレイを選択します。

注記：　選択したトレイを印刷のデフォルトのトレイに設定するには、**[デフォルトに設定]** をクリックします。

4. **[デフォルト メディア サイズ]** ポップアップ メニューで、トレイのデフォルト メディア サイズを選択します。
5. **[デフォルト メディア タイプ]** ポップアップ メニューで、トレイのデフォルト メディア タイプを選択します。
6. **[今すぐ適用]** をクリックします。

ネットワーク設定の変更

コンピュータからネットワークの IP (インターネット プロトコル) 設定を変更します。内蔵 Web サーバーを開いてその他の設定を変更することもできます。詳細については、156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[IP 設定]** を選択します。
3. 次のポップアップ メニューまたはフィールドで設定を変更します。
   - **[設定]**
   - **[ホスト名]**
   - **[IP アドレス]**

- **[サブネット マスク]**
- **[デフォルト ゲートウェイ]**

内蔵 Web サーバーで他の設定を変更する場合は、**[ネットワークの詳細設定]** をクリックします。**[ネットワーキング]** タブが選択された状態で内蔵 Web サーバーが開きます。

4. **[今すぐ適用]** をクリックします。

内蔵 Web サーバーを開く

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[詳細設定]** を選択します。
3. **[内蔵 Web サーバーを開く]** をクリックします。

電子メール警告の設定

プリンタで特定のイベントが発生したこと (プリント カートリッジのトナー残量が少ないことなど) を示す電子メール メッセージを設定します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[電子メール警告]** を選択します。
3. **[サーバー]** タブをクリックし、**[SMTP サーバー]** ボックスにサーバー名を入力します。
4. **[送信先]** タブを選択して、追加 **[+]** ボタンをクリックし、電子メール警告の送信先に指定する電子メール アドレス、モバイル デバイス番号、または Web サイトの URL を入力します。

注記： プリンタで電子メール リストがサポートされている場合は、電子メール アドレスを追加したときと同じ方法で特定のイベントの警告リストを作成できます。

5. **[イベント]** タブをクリックして、リストで電子メール警告を送信するイベントを定義します。
6. 警告の設定をテストするには、**[サーバー]** タブを選択して、**[テスト]** をクリックします。設定が正しければ、定義した電子メール アドレスにサンプル メッセージが送信されます。
7. **[今すぐ適用]** をクリックします。

セキュリティ機能

このセクションでは、MFP で利用できる重要なセキュリティ機能について説明します。

内蔵 Web サーバーの保護

内蔵 Web サーバーにアクセスするためのパスワードを割り当てて、許可されていないユーザーが MFP 設定を変更できないようにします。

1. 内蔵 Web サーバーを開きます。156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックします。
3. ウィンドウの左側にある **[セキュリティ]** をクリックします。
4. **[新規パスワード]** の横にパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** の横にもう一度パスワードを入力します。
5. **[適用]** をクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

Foreign Interface Harness (FIH)

Foreign Interface Harness (FIH) は、MFP のポータルを提供します。FIH およびサードパーティ製装置を使用すると、MFP で作成したコピーに関する情報を追跡できます。

要件

- Windows 9X、Windows Me、Windows 2000、または Windows XP
- Equitrac デバイスや Copitrack デバイスなどのサードパーティ製課金ハードウェア ソリューションへのアクセス

FIH の使用

FIH を使用するには、FIH ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアは www.hp.com/go/ljm9040mfp_software または www.hp.com/go/ljm9050mfp_software から入手できます。このソフトウェアは、FIH ポータルを有効または無効にするために使用します。また、管理者の暗証番号 (PIN) を設定および変更するためにも使用します。

管理者は PIN オプションを使用して FIH を設定し、権限のない変更を防ぐことができます。変更は、PIN が正しく認証された場合にのみ実行できます。

注記： FIH 管理ソフトウェアに割り当てられている PIN を記憶しておくことが重要です。PIN は、FIH を変更する場合に必ず必要になります。

FIH ポータルの有効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。**[Foreign Interface Harness]** ダイアログ ボックスが表示されます。

2. **[OK]** をクリックします。

3. **[Enable]** をクリックします。

4. まだ PIN を入力していない場合は、**[No]** をクリックします。既に PIN を入力している場合は、**[Yes]** をクリックします。**[No]** をクリックした場合は、PIN を入力して確認し、**[OK]** をクリックします。**[Yes]** をクリックした場合は、PIN を入力し、**[OK]** をクリックします。

   注記： PIN には数値を入力する必要があります。

5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、**[Direct]** または **[Network]** のいずれかです。**[Direct]** を選択した場合は、MFP ポートを入力します。**[Network]** を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力します。

   注記： MFP の IP アドレスは設定ページに含まれています。

間違った IP アドレスを入力すると、エラー メッセージが表示されます。アドレスが正しい場合は、ポータルが有効になります。

FIH ポータルの無効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。**[Foreign Interface Harness]** ダイアログ ボックスが表示されます。

2. **[OK]** をクリックします。

3. **[無効]** をクリックします。

4. PIN を入力し、**[OK]** をクリックします。

5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、**[Direct]** または **[Network]** のいずれかです。**[Direct]** を選択した場合は、MFP ポートを入力し、**[OK]** をクリックします。**[Network]** を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力し、**[OK]** をクリックします。ポータルが無効になります。

注記： PIN 番号を書いたメモをなくしてしまった場合にポータルを無効にするには、無効にするためのデフォルトの PIN を試してみてください。問題が解決しない場合は、内蔵 Web サーバーから、または http://instantsupport.hp.com で利用可能な HP Instant Support サービスを使用してください。156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。

セキュア ディスク消去

MFP のハード ドライブ上にある削除済みデータを不正にアクセスされないように保護するには、セキュア ディスク消去機能を使用します。この機能を使用すると、ハード ドライブ上のプリント ジョブとコピー ジョブを安全に消去できます。

セキュア ディスク消去機能には、次のレベルのディスク セキュリティが用意されています。

- **非セキュア高速消去**。これは、単純なファイルテーブル消去機能です。ファイルへのアクセスは削除されますが、実際のデータはその後のデータ保存操作によって上書きされるまでディスクに残ります。これは最も高速なモードです。非セキュア高速消去はデフォルトの消去モードです。
- **セキュア高速消去**。ファイルへのアクセスが削除され、固定の同一文字パターンでデータが上書きされます。これは非セキュア高速消去よりも低速ですが、すべてのデータが上書きされます。セキュア高速消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア消去に関する要件を満たしています。
- **セキュア フォーマット消去**。このレベルはセキュア高速消去モードと似ています。ただし、データが永続的に残留することを防ぐアルゴリズムを使用して、データが繰り返し上書きされます。このモードではパフォーマンスが低下します。セキュア フォーマット消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディアのフォーマットに関する要件を満たしています。

影響を受けるデータ

セキュア ディスク消去機能の影響を受ける (対象となる) データには、印刷およびコピー処理中に作成される一時ファイル、保存ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、ディスクベースのフォント、ディスクベースのマクロ (フォーム)、保存されたファックス ファイル、アドレス帳、HP およびサードパーティ製アプリケーションが含まれます。

注記： 保存ジョブは、適切な消去モードを設定した後で、MFP の [**ジョブの取得**] メニューを使用して削除した場合にのみ、安全に上書きされます。

この機能は、デフォルト設定、ページ数などのデータを保存するのに使用されるフラッシュベースの非揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、システム RAM ディスク (使用している場合) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、フラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータには影響を与えません。

セキュア ディスク消去モードを変更しても、ディスク上の以前のデータが上書きされることはなく、ディスク全体のフォーマットが直ちに実行されることもありません。セキュア ディスク消去モードを変更すると、消去モードの変更後に MFP がジョブの一時データを消去する方法が変更されます。

セキュア ディスク消去へのアクセス

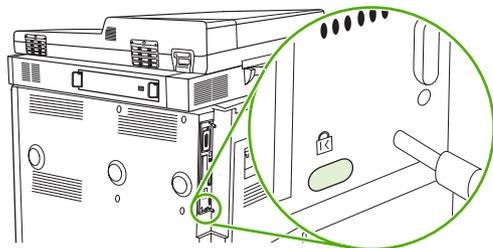
セキュア ディスク消去機能の設定を行うには、HP Web Jetadmin を使用します。

補足情報

HP セキュア ディスク消去機能の詳細については、HP サポート パンフレットか、http://www.hp.com/go/webjetadmin/ を参照してください。

セキュリティ ロック

セキュリティ ロックは、内部のコンピュータ コンポーネントが取り外されるのを防ぐための機械的なロック機能です。ただし、オプションの EIO アクセサリは保護されていませんので注意してください。ロック用のパーツは、別途ご購入の上、MFP に装着してください。

図 11-1 セキュリティ ロック

認証

この MFP には、いくつかの認証方法が組み込まれています。認証方法には、Kerberos、LDAP、SSL 経由の LDAP、および PIN があります。

オプションの HP Digital Sending Software では、Windows SPNEGO、LDAP、SSL 経由の LDAP、および Novell 認証がサポートされます。

コントロール パネル メニューのロック

MFP 設定が変更されるのを防ぐために、コントロール パネル メニューをロックすることができます。これによって、権限のないユーザーは SMTP サーバーなどの設定を変更できなくなります。次の手順では、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してコントロール パネル メニューへのアクセスを制限する方法について説明します。(163 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください)。

1. HP Web Jetadmin プログラムを起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストにある **[DEVICE MANAGEMENT]** フォルダを開きます。**[DEVICE LISTS]** フォルダに移動します。
3. MFP を選択します。
4. **[DEVICE TOOLS]** ドロップダウン リストで、**[Configure]** を選択します。
5. **[Configuration Categories]** リストから**[Security]** を選択します。
6. **[Device Password]** に入力を行います。
7. **[Control Panel Access]** セクションで、**[Maximum Lock]** を選択します。これによって、権限のないユーザーは構成にアクセスできなくなります。

リアルタイム クロックの設定

日付と時刻を設定するには、リアルタイム クロック機能を使用します。保存済み印刷、ファックス、およびデジタル送信ジョブに対して日付と時刻の情報が表示され、保存済み印刷ジョブの最新バージョンを特定できるようになります。

1. コントロール パネルで[管理] をタッチします。
2. [時刻/スケジューリング] をタッチします。
3. [日付/時刻] をタッチします。
4. 日付形式を選択します。
5. 時刻形式を選択します。
6. [日付] フィールドにタッチして日付を入力します。
7. [時刻] フィールドにタッチして時刻を入力します。
8. [保存] をタッチします。

MFP のクリーニング

クリーニング ページの印刷

1. ホーム画面で [管理] をタッチします。
2. [印刷品質] をタッチします。
3. [校正/クリーニング] をタッチします。
4. [クリーニング ページの作成] をタッチします。

   クリーニング ページが印刷されます。
5. クリーニング ページの説明に従ってください。

MFP ハードウェアのクリーニング

印刷品質を維持するため、次のような場合には MFP を十分に清掃してください。

- プリント カートリッジを交換したとき
- 印刷品質に関する問題が発生したとき

MFP の外側は、少し湿らせた布で拭きます。内部は、糸くずの出ない乾いた布で清掃します。クリーニング作業に関する警告事項や注意事項に気をつけ、指示に従うようにしてください。

⚠ 警告！　MFP のクリーニング中は、フューザ部分に触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

警告！　MFP のクリーニング中は、トランスファー ローラーに触れないようにしてください。

△ 注意：　プリント カートリッジの損傷を防ぐため、MFP 本体や MFP の周辺でアンモニア系のクリーナーは使用しないでください。

用紙経路のクリーニング

1. 以下の手順を開始する前に、MFP の電源を切り (電源ボタンを出た状態にする)、電源コードを含むすべてのケーブルを取り外してください。

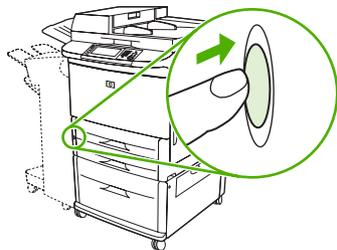
   図 11-2 用紙経路のクリーニング (1/6)

2. MFP の正面カバーを開き、緑色のレバーをロック解除位置に来るまで下方向に回して、プリント カートリッジを取り外します。

図 11-3 用紙経路のクリーニング (2/6)

△ **注意：** プリント カートリッジの損傷を防ぐため、MFP からカートリッジを取り外すときは両手を使ってください。プリント カートリッジに、数分以上にわたって光が当たることのないようにしてください。MFP の外部に置くときは、プリント カートリッジにカバーをかけてください。

注記： 衣服にトナーが付着した場合は、乾いた布でトナーを拭き取ってから、冷水で衣服を洗ってください。温水を使用するとトナーが布に染み込みます。

3. 糸くずの出ない乾いた布で、用紙経路、レジストレーション ローラー、プリント カートリッジ設置部に付着したトナーを拭き取ります。

図 11-4 用紙経路のクリーニング (3/6)

4. プリント カートリッジを交換します。

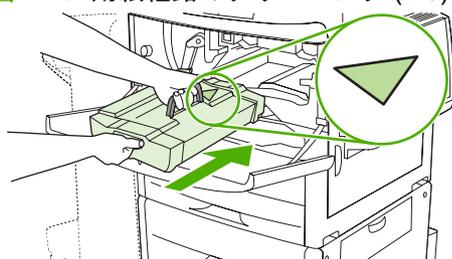
図 11-5 用紙経路のクリーニング (4/6)

5. 緑色のレバーをロック位置まで回します。

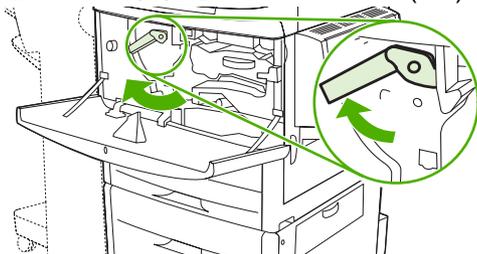
図 11-6 用紙経路のクリーニング (5/6)

6. 正面カバーを閉じ、すべてのケーブルを接続して、MFP の電源を入れます (ボタンを中に押し込む)。

図 11-7 用紙経路のクリーニング (6/6)

MFP の外側のクリーニング

- MFP の外側に目に見える汚れがあれば、クリーニングします。
- 糸くずの出ない柔らかい布を水で湿らせて拭きます。

タッチスクリーンのクリーニング

- 必要に応じて、タッチスクリーンをクリーニングします (指紋が付いている場合や、ほこりが積もっている場合など)。
- 糸くずの出ない清潔な布を水で湿らせて、あまり力を入れずにタッチスクリーンを拭きます。

△ **注意：** 水のみを使用してください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンが損傷する場合があります。タッチスクリーンに水を直接かけたり吹きかけたりしないでください。

ガラスのクリーニング

- ガラスのクリーニングは、汚れが目立つ場合や、コピー品質が低下した場合 (筋が入るなど) にのみ行います。
- 糸くずの出ない清潔な布を軽く湿らせて、あまり力を入れずにガラス面を拭きます。

△ **注意：** ガラスに直接液体をかけたり吹き付けたりしないでください。ガラス表面を強く押さないでください (ガラスが割れる場合があります)。

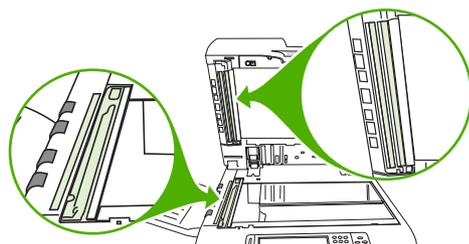
ADF 送出システムのクリーニング

ADF は、汚れが目に見えたり、線などが現れ、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。

1. 上部カバーを上げます。

図 11-8 ADF 送出システムのクリーニング (1/5)

2. 上部と下部にある ADF のガラス ストリップを見つけます。

図 11-9 ADF 送出システムのクリーニング (2/5)

3. 糸くずの出ない清潔な布を湿らせて、あまり力を入れずにこれらのガラス ストリップを拭きます。

4. ビニール製の白い裏張り部分を見つけます。

図 11-10 ADF 送出システムのクリーニング (3/5)

5. 白いプラスチックの校正ストリップを見つけます。

図 11-11 ADF 送出システムのクリーニング (4/5)

6. 糸くずの出ない清潔な布を湿らせて、ADF の裏張り部分と校正ストリップを拭きます。

7. 上部カバーを閉めます。

図 11-12 ADF 送出システムのクリーニング (5/5)

ADF のガラス ストリップのクリーニング

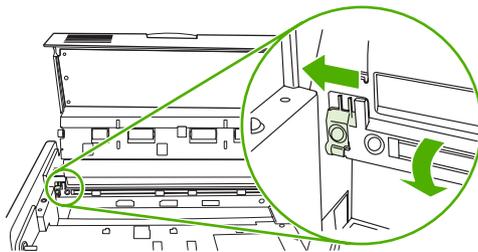
依然としてコピー品質が低下した状態にある場合は、上部の ADF のガラス ストリップをクリーニングする必要があります。

△ **注意：** この部分のクリーニングは、コピーに不具合 (筋など) がある場合や、ガラス ストリップの内部にほこりが入りこんでいる場合にのみ行ってください。頻繁にクリーニングを行うと、MFP の内部にほこりが入る原因となります。

1. ADF カバーを開けます。

図 11-13 ADF のガラス ストリップのクリーニング (1/4)

2. 上部の ADF のガラス ストリップを緩めるラッチを見つけます。ラッチを左へ押して引き下げると、ガラス ストリップの内部が現れます。

図 11-14 ADF のガラス ストリップのクリーニング (2/4)

3. 糸くずの出ない乾いた布で、あまり力を入れずにガラスを拭きます。

△ **注意：** この部分には、乾いた布以外使用しないでください。溶剤、クリーナー、水、圧縮空気などを使用すると、MFP に重大な損傷を与える可能性があります。

4. ラッチを左へ押して、ガラス ストリップを元の位置に戻します。

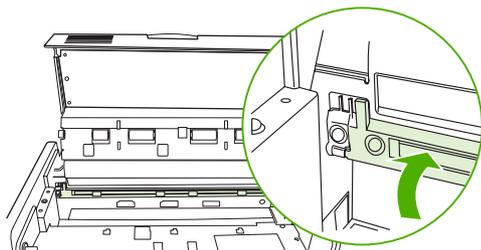
図 11-15 ADF のガラス ストリップのクリーニング (3/4)

5. ADF カバーを閉めます。

図 11-16 ADF のガラス ストリップのクリーニング (4/4)

ADF ローラーのクリーニング

給紙に失敗したり、原稿が ADF から排紙されるときに汚れが付いたりした場合に、ADF のローラーをクリーニングする必要があります。

1. 上部カバーを開けます。

△ **注意：** ローラーは、給紙に失敗したり、原稿に汚れが付いたり、ローラーにほこりがある場合にのみクリーニングしてください。ローラーを頻繁にクリーニングすると、MFP の内部にほこりが入る原因となります。

図 11-17 ADF ローラーのクリーニング (1/6)

2. ガラス ストリップの近くにあるローラーを見つけます。

図 11-18 ADF ローラーのクリーニング (2/6)

3. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。

△ 注意： ローラーに直接水をかけないでください。水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

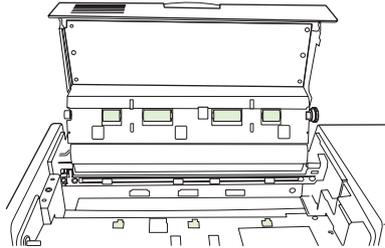
4. 上部カバーを閉めます。

図 11-19 ADF ローラーのクリーニング (3/6)

5. ADF カバーを開けます。

図 11-20 ADF ローラーのクリーニング (4/6)

6. ローラーを見つけます。

図 11-21 ADF ローラーのクリーニング (5/6)

7. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。

△ 注意： ローラーに直接水をかけないでください。水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

8. ADF カバーを閉めます。

図 11-22 ADF ローラーのクリーニング (6/6)

9. 給紙ガイドを閉じて、外面を布で拭きます。

スキャナの校正

スキャナの校正を行って、ADF およびフラットベッド スキャンのスキャナ イメージング システム (キャリッジ ヘッド) のオフセット値に補正します。機械的な許容範囲なので、スキャナのキャリッジ ヘッダでイメージの位置を適切に読み取ることができないことがあります。校正の手順時に、スキャナのオフセット値が計算されて保存されます。オフセット値は、文書の正しい位置が取り込まれるようにスキャンを生成している際に使用されます。

スキャナの校正は、スキャンされた画像にオフセットの問題がある場合にのみ実行する必要があります。スキャナは出荷前に校正が行われます。再度、校正を行う必要はほとんどありません。

1. ホーム画面をスクロールして [管理] をタッチします。
2. [トラブルシューティング] をタッチします。
3. [スキャナの校正] をタッチします。
4. [校正] にタッチして、画面に表示される手順に従います。

警報の設定

HP Web Jetadmin または MFP の内蔵 Web サーバーを使用すると、MFP で問題が発生したとき、警報が通知されるように設定することができます。警報は、電子メール メッセージの形式で電子メール アカウントまたはユーザー指定のアカウントに送信されます。

次の項目を設定することができます。

- 監視するプリンタ
- 受け取る警報の内容 (紙詰まり、用紙切れ、サプライ品ステータス、カバーの開放に関する警報など)
- 警報の送信先の電子メール アカウント

ソフトウェア	参照情報
HP Web Jetadmin	警報および警報の設定方法の詳細については、HP Web Jetadmin ヘルプ システムを参照してください。
内蔵 Web サーバー	内蔵 Web サーバーの一般情報については、58 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。 警報および警報の設定方法の詳細については、内蔵 Web サーバーのヘルプ システムを参照してください。

サプライ品の管理

最高の印刷結果を得るためには、HP 純正プリント カートリッジを使用してください。

HP プリント カートリッジ

HP 純正の新しいプリント カートリッジを使用すると、以下のサプライ品情報が表示されます。

- サプライ品の残量パーセンテージ
- 予測される残りページ数
- 印刷済みページ数

注記： カートリッジの注文情報については、245 ページの 「サプライ品とアクセサリ」を参照してください。

HP 製以外のプリント カートリッジ

Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用を推奨しません。HP 製以外のプリント カートリッジを使用したことにより必要になったサービスや修理については、MFP の保証対象となりません。

HP 製以外のプリント カートリッジが HP 純正品として販売されていた場合は、184 ページの 「HP 不正品ホットライン」を参照してください。

プリント カートリッジの認証

HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP では、プリント カートリッジが MFP に挿入されるとカートリッジが自動的に認証されます。認証の際、カートリッジが HP 純正プリント カートリッジであるかどうかが MFP によって通知されます。

HP 製プリント カートリッジを購入したはずなのに、MFP のコントロール パネルに HP 純正のプリント カートリッジではないことを示すメッセージが表示された場合は、HP 不正品ホットラインにお電話ください。

HP 製以外のプリント カートリッジのエラー メッセージを解除するには、[OK] をタッチしてください。

HP 不正品ホットライン

HP 製プリント カートリッジを取り付けたときに、HP 製ではないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、HP 不正品ホットラインにお電話ください。HP 社はその製品が純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

次の問題が発生した場合は、使用しているプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに関する問題が多数発生する。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、パッケージが HP 製のパッケージと違うなど)。

詳細については、www.hp.com/sbso/product/supplies/whybuy_fraud.html を参照してください。

プリント カートリッジの保管

プリント カートリッジを使用するまでは、カートリッジをパッケージから出さないでください。

△ 注意： プリント カートリッジの損傷を防ぐため、数分以上プリント カートリッジに光を当てないでください。

表 11-1 プリント カートリッジの温度仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (プリント カートリッジ)	17 ～ 25°C (62.6 ～ 77°F)	15 ～ 30°C (59 ～ 86°F)	-20 ～ 40°C (-4 ～ 104°F)

プリント カートリッジの寿命

カートリッジの平均寿命は、ISO/IEC 19752 に基づき 38,000 ページですが、実際の寿命は使用方法によって異なります。

プリント カートリッジの寿命の確認

MFP コントロール パネル、内蔵 Web サーバー、MFP ソフトウェア、HP Easy Printer Care または HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して、プリント カートリッジの寿命を確認できます。

MFP のコントロール パネルでの確認

1. ホーム画面で [管理] をタッチします。
2. [情報] をタッチします。
3. [設定ページ] をタッチします。
4. [サプライ品ステータス ページ] をタッチします。
5. [印刷] をタッチします。

注記： HP 製以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されない場合があります。

内蔵 Web サーバーでの確認

1. ブラウザで、プリンタのホーム ページ IP アドレス またはホスト名を入力します。プリンタ ステータス ページが表示されます。
2. 画面の左側にある **[サプライ品のステータス]** をクリックします。サプライ品ステータス ページが表示されます。このページでプリント カートリッジの情報を参照することができます。

HP Easy Printer Care での確認

[概要] タブの **[サプライ品のステータス]** セクションで **[サプライ品詳細]** をクリックし、サプライ品ステータス ページを開きます。

HP Web Jetadmin での確認

HP Web Jetadmin でプリンタ デバイスを選択します。デバイス ステータス ページにプリント カートリッジ情報が表示されます。

プリンタ保守キット

注記： プリンタ保守キットは消耗品であり、保証の対象ではありません。

最良の印刷品質を確保するため、約 350,000 ページごとに新しいプリンタ保守キットを取り付けることをお勧めします。MFP の使用状況によっては、この枚数に達していなくてもキットの交換が必要になる場合があります。プリンタ保守キットの交換頻度について不明な点がある場合は、サポート センタ (www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp) にお問い合わせください。

コントロール パネルに「保守キットを交換してください」というメッセージが表示されたら、プリンタ保守キットを購入して新しいパーツを取り付ける必要があります。110V キットの製品番号は C9152A、220V キットの製品番号は C9153A です。プリンタ保守キットには、タイプ 1 のローラー (2 個)、タイプ 2 のローラー (7 個)、トランスファー ローラー アセンブリ (1 個)、フューザ アセンブリ (1 個) が同梱されています。キットのコンポーネントを取り付ける手順については、プリンタ保守キットに付属の説明書を参照してください。

メモリの管理

この MFP には、DDR メモリの増設用 DIMM スロットが 2 つ装備されています。64MB、128MB、256MB の DDR DIMM メモリを使用できます (合計 512MB まで)。

この MFP にはコンパクト フラッシュ スロットが 2 つ装備されており、以下のことに使用できます。

- フラッシュベース メモリのアクセサリ フォント、マクロ、パターンを追加するには、適切な DDR DIMM を使用します。
- フラッシュベースのその他のプリンタ言語や MFP のオプションを追加するには、適切な DDR DIMM を使用します。

注記： 以前の HP LaserJet 製品に使用されている SIMM は、この MFP と互換性がありません。

注文の詳細については、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp を参照してください。

メモリ要件の判定

必要なメモリの量は、印刷するドキュメントのタイプによって異なります。この MFP では、メモリを増設しなくても、ほとんどのテキストとグラフィックスを 1200dpi FastRes で印刷することができます。

ただし、複雑なグラフィックスや PS ドキュメントの印刷、両面印刷、多数のダウンロード フォントの使用、サイズの大きい用紙 (A3、B4、11 x 17 など) の印刷を行う機会が多い場合は、メモリの増設が必要になることがあります。

メモリの取り付け

追加の DDR メモリ DIMM を取り付けるには、以下の手順に従います。メモリの増設を開始する前に、設定ページを印刷して、MFP に現在装着されているメモリの量を確認してください。以下に、各 DIMM スロットに取り付け可能な最大メモリ量の一覧を示します。

設定ページのスロット ラベル	フォーマッタ ボードのスロット ラベル	説明
スロット 1	J1	256MB
スロット 2	J2	128MB
合計		384MB

注意： 静電気によって DDR DIMM が損傷することがあります。DDR DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、MFP の露出した金属部に触れるようにしてください。

1. MFP に現在装着されているメモリの量をまだ確認していない場合は、設定ページを印刷して確認してください。

2. オプションの排紙デバイスをスライドして印刷エンジンから取り外します。

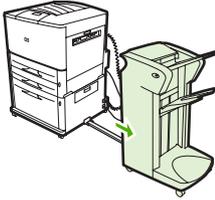
図 11-23 DDR メモリ DIMM の装着 (1/8)

3. MFP の電源を切ります。電源コードとケーブルをすべて取り外します。

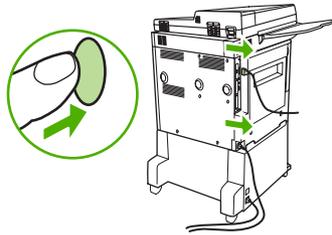
図 11-24 DDR メモリ DIMM の装着 (2/8)

4. MFP 背面のつまみねじ (2 箇所) を緩めます。

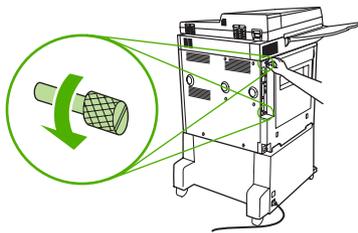
図 11-25 DDR メモリ DIMM の装着 (3/8)

5. ねじをつまんで、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。電気を通さない平らな面にフォーマッタ ボードを置きます。

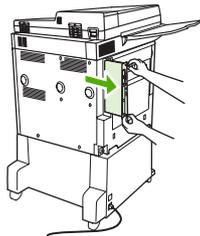
図 11-26 DDR メモリ DIMM の装着 (4/8)

6. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。両方の人差し指で両端を支え、親指で後端を支えるようにして DIMM を持ちます。DIMM のノッチを DIMM スロットの位置に合わせます (DIMM スロットの両端のロックが開いていることを確認します。開いていれば、ロックは外側に広がっています)。

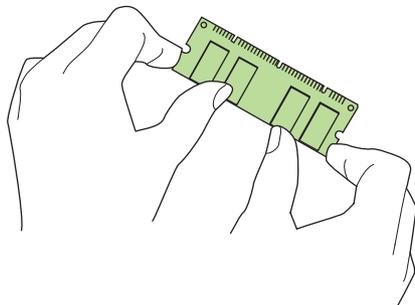
   図 11-27 DDR メモリ DIMM の装着 (5/8)

7. DIMM をスロットにまっすぐ、しっかり押し込みます。DIMM の両端のロックが内側に動き、カチリと音がして固定されることを確認してください (DIMM を取り外すには、ロックを解除する必要があります)。

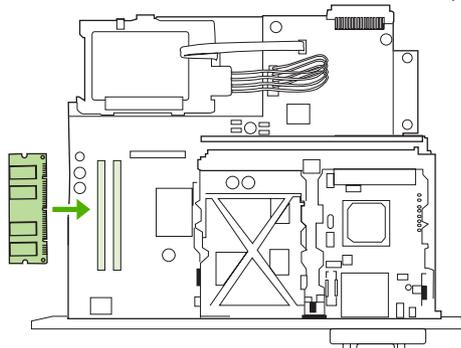
   図 11-28 DDR メモリ DIMM の装着 (6/8)

8. フォーマッタ ボードを MFP に差し込み、2 つのねじを締めます。

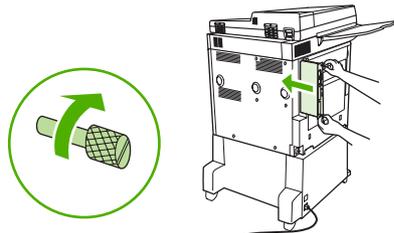
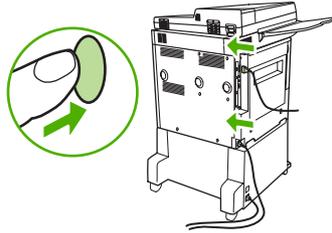
   図 11-29 DDR メモリ DIMM の装着 (7/8)

9. 電源コードとすべてのケーブルを取り付けます。MFP の電源を入れます。

図 11-30 DDR メモリ DIMM の装着 (8/8)

10. オプションの排紙デバイスを MFP に取り付け直します。

メモリ取り付けの確認

DDR DIMM が正しく取り付けられているかどうかを確認するには、以下の手順に従います。

1. MFP の電源を入れたときに、コントロール パネルに「印刷可」と表示されることを確認します。エラー メッセージが表示された場合は、DIMM が正しく取り付けられていない可能性があります。

2. 設定ページを印刷します。

3. 設定ページのメモリに関するセクションを見て、DIMM を取り付ける前の設定と比較します。メモリ量が増加していない場合は、以下のいずれかの状況になっている可能性があります。

   - DIMM が正しく取り付けられていない。取り付け手順を繰り返してください。
   - DIMM に欠陥がある。別の DIMM を使用するか、DIMM を別のスロットに取り付けます。

注記： プリンタ言語 (パーソナリティ) を取り付けた場合は、設定ページの「インストール済みパーソナリティとオプション」のセクションを確認してください。新しいプリンタ言語がここに一覧表示されます。

エコノミー設定

スリープとスリープ復帰

スリープ遅延の設定

スリープ遅延機能を使用すると、MFP がスリープ モードに入る前にアイドルでなくてはならない時間を設定できます。デフォルトの設定は、45 分 です。

1. スクロールして [管理] をタッチします。
2. [時刻/スケジューリング] をタッチします。
3. [スリープ遅延] をタッチします。
4. 目的のスリープ遅延設定を選択します。

スリープ時刻の設定

スリープ時刻機能を使用すると、毎日の設定時間に MFP をスリープ モードに移行することができます。

1. スクロールして [管理] をタッチします。
2. [時刻/スケジューリング] をタッチします。
3. [スリープ時刻] をタッチします。
4. スリープ時刻を指定する曜日にタッチします。
5. [カスタム] をタッチします。
6. [保存] をタッチします。
7. 該当するオプションをタッチして、正しい時、分、および午前/午後の設定を行います。
8. 毎日 (週末を含む) 同じ時刻に MFP をスリープ モードに移行する場合は、**すべての日に適用** 画面で、[はい] をタッチします。日ごとに時刻を設定する場合は、[いいえ] をタッチして、それぞれの日について手順を繰り返します。

スリープ復帰時刻の設定

スリープ復帰時刻機能を使用すると、毎日の設定時間に MFP のスリープを解除できます。

1. スクロールして [管理] をタッチします。
2. [時刻/スケジューリング] をタッチします。
3. [スリープ復帰時刻] をタッチします。
4. スリープ復帰時刻を指定する曜日をタッチします。
5. [カスタム] をタッチします。
6. [保存] をタッチします。

7. 該当するオプションをタッチして、正しい時、分、および午前/午後の設定を行います。

8. 毎日 (週末を含む) 同じ時刻に MFP のスリープを解除する場合は、**すべての日に適用** 画面で、[はい] をタッチします。日ごとに時刻を設定する場合は、[いいえ] をタッチして、それぞれの日について手順を繰り返します。

12 問題の解決

問題の解決

MFP が正しく応答していない場合は、次のチェックリストに示す手順を順番に実行してください。チェックリスト内の項目で問題が見つかった場合は、その項目に対応するトラブルシューティングのアドバイスに従ってください。特定の手順を終了したところで問題が解決された場合は、チェックリストの後続の手順を実行する必要はなく、そこで作業を終了できます。

トラブルシューティングのチェックリスト

1. MFP の印刷可ランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。
   a. 電源ケーブルの接続を確認します。
   b. 電源スイッチがオンになっていることを確認します。
   c. MFP を壁面または延長コードの別のコンセントに直接差し込んで、電源コンセントを確認します。
   d. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ ケアまでご連絡ください。
2. ケーブル接続を確認します。
   a. MFP とコンピュータまたはネットワーク ポートとの間のケーブル接続を調べて、 しっかり接続されていることを確認します。
   b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
   c. ネットワーク接続を確認します。240 ページの 「ネットワーク接続に関するトラブルの解決」を参照してください。
3. ご使用の印刷メディアが仕様を満たしていることを確認します。
4. 設定ページを印刷します (154 ページの 「情報ページ」を参照)。MFP がネットワークに接続されている場合、HP Jetdirect ページも印刷されます。
   a. 設定ページが印刷されない場合は、印刷メディアがセットされているトレイが少なくとも 1 つあることを確認します。
   b. MFP に紙詰まりがある場合は、199 ページの 「紙詰まりの解消」を参照してください。
5. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。
   a. 設定ページが正しく印刷される場合、MFP ハードウェアは正しく動作しています。問題は、ご使用のコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムにあります。
   b. 設定ページが正しく印刷されない場合、問題は MFP ハードウェアにあります。HP カスタマ ケアにご連絡ください。
6. HP LaserJet M9040/M9050 MFP プリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。
7. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題はご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない

場合は、MFP ソフトウェアがインストールされている別のコンピュータからジョブの印刷を試みます。

8. 問題がまだ解決されない場合は、196 ページの 「MFP の問題の解決」を参照してください。

MFP の問題の解決

状況/メッセージ	解決策
コントロール パネル ディスプレイに何も表示されず、内部ファンが稼動していません。	MFP の電源が入っていることを確認します。すべてのキーを押し、はまって動かなくなっているキーがないかどうかを調べます。それでも問題が解決されない場合は、正規の HP サービス代理店にお問い合わせください。
MFP の電源が入っていますが、内部ファンが稼動していません。	電源電圧が MFP の電源設定に適合していることを確認します (電圧要件については、デバイス背面のラベルを参照してください)。電源ストリップを使用しており、電源ストリップの電圧が仕様に適合していない場合は、MFP を電源コンセントに直接差し込みます。
MFP の電圧が正しくありません。	電源電圧が仕様に適合していることを確認します (電圧要件については、デバイス背面のラベルを参照してください)。
コントロール パネル ディスプレイにメッセージが表示されます。	198 ページの 「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。
MFP で紙詰まりが発生しています。	紙詰まりがないかどうかを確認します。詳細については、199 ページの 「紙詰まりの解消」を参照してください。
コントロール パネル ディスプレイに間違った言語や見慣れない文字が表示されます。	コントロール パネル ディスプレイの言語を再設定します。 MFP の電源を切って入れ直します。 管理 > デバイス動作 > 言語
デジタル送信ジョブの最中にエラーが発生し、 ジョブが失敗しました。	デジタル送信ジョブの実行中に MFP でエラーが発生しました。SMTP サーバーの状態を管理者に確認してもらう必要があります。239 ページの 「電子メールの問題を解決する」を参照してください。
添付ファイルが大きすぎるので、電子メール ゲートウェイがジョブを受け入れられませんでした。	電子メールの添付ファイルの最大サイズを設定して、添付ファイルのサイズを減らします。内蔵 Web サーバーの **[デジタル送信]** タブで、添付ファイルの最大サイズを設定します。156 ページの 「内蔵 Web サーバー」を参照してください。 別のファイル形式を使用するか、文書を一度に数ページずつ送信してみます。
デジタル送信を行うにはネットワーク接続が必要です。	MFP がネットワーク接続を検出できません。MFP がネットワークに接続されているかどうかを管理者に確認してもらう必要があります。240 ページの 「ネットワーク接続に関するトラブルの解決」を参照してください。

コントロール パネルのメッセージの種類

コントロール パネルに表示される 4 種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常に「**印刷可**」というステータス メッセージが表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージは、データおよび印刷エラーをユーザーに通知します。これらのメッセージは通常、**印刷可** またはステータス メッセージと交互に表示され、[OK] を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。[**解除可能な警告**] が [**ジョブ**] に設定されている (デバイスの[デバイス動作] メニュー) 場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 一部のエラー メッセージは自動続行可能です。メニューで [**自動継続**] が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間表示された後、プリンタが通常の動作を続行します。 注記： 自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能は無効になり、押したボタンの機能が優先されます。たとえば、[停止] ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大な エラーメッセージ	重大なエラー メッセージは、デバイスの故障を通知します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。**自動継続** 設定は、これらのメッセージに影響を与えません。重大なエラー メッセージが消えない場合は、カスタマ ケア センタへご連絡ください。

コントロール パネルのメッセージ

このプリンタのコントロール パネルには、堅牢なメッセージ機能が備わっています。コントロール パネルにメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って問題を解決してください。プリンタに「エラー」または「注意」というメッセージが表示された場合に問題の解決手順が表示されないときは、プリンタの電源を切って入れ直してください。プリンタの問題が解決しない場合は、HP サポートまでご連絡ください。

ステータス行に表示された警告の詳細については、[警告] ボタン (⚠) をタッチします。

さまざまなトピックの詳細については、ホーム画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (?) をタッチします。

紙詰まりの解消

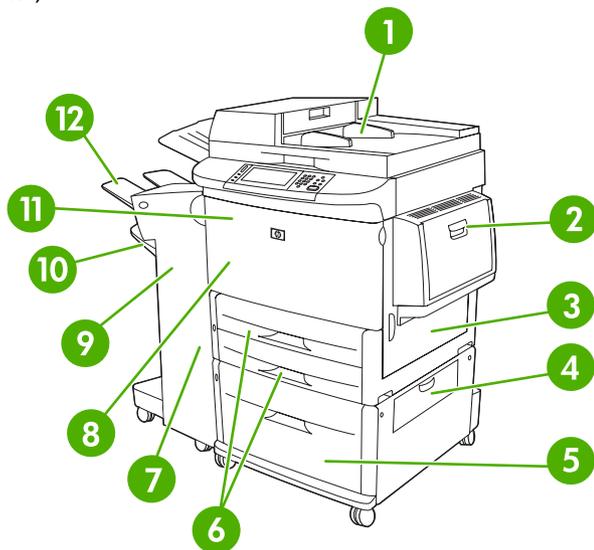
コントロール パネルに紙詰まりを示すメッセージが表示されたときは、下の図を参考に、紙詰まりの場所を確認してください。紙詰まりメッセージで示された場所とは別の場所についても確認が必要になることがあります。紙詰まりの場所がよくわからないときは、まず、正面ドアのあたりを確認してください。

場所を特定したら、詰まった紙を取り除きます。詰まった紙を取り除くときに、メディアが破れないように十分に注意してください。用紙の切れ端が MFP に残ると、後で紙詰まりの原因になります。問題が繰り返し発生する場合は、218 ページの 「頻繁に発生する紙詰まりの対策」を参照してください。

注記： 紙詰まりの後には、こぼれたトナーが MFP に残って出力品質が低下する場合があります。数ページを印刷すると、トナーの汚れはなくなります。

警告！ MFP 内部とその周囲は熱くなっていることがあります。紙詰まりを解消する前に、MFP の電源を切って冷ましてください。

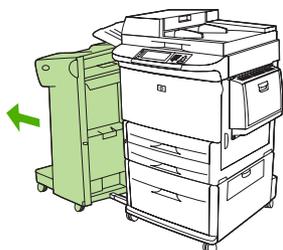
紙詰まりの場所

図 12-1 HP LaserJet M9040 MFP または HP LaserJet M9050 MFP (3000 枚用ステイプラ/スタッカ装備)

1	ADF
2	トレイ 1
3	右ドア
4	上方用紙送りドア
5	トレイ 4
6	トレイ 2 および 3
7	左ドア (排紙デバイス背面)
8	両面印刷ユニット (MFP 内部)
9	排紙デバイス

10	下部ビン
11	正面ドアとプリント カートリッジ部分
12	上部ビン

両面印刷ユニットの紙詰まりの解消

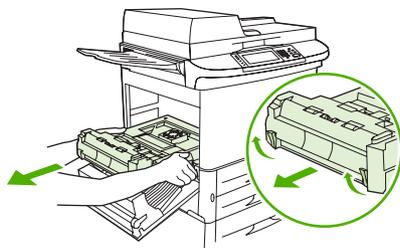
1. 排紙デバイスを MFP から切り離して、左ドアを開くことができるようにします。

   図 12-2 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (1/6)

2. 左ドアを開き、この部分にある用紙を引き出して取り除きます。

   ⚠ **警告！** すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

   図 12-3 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (2/6)

3. 緑色のレバーを押して、ユニットが止まるところまで引き出して、両面印刷アクセサリを取り外します。

   図 12-4 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (3/6)

4. 両面印刷アクセサリの 2 つの緑色のレバーを上方に起こして、用紙を取り除きます。

5. 正面ドアを開きます。

図 12-5 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (4/6)

6. 両面印刷アクセサリ内の用紙の状態を確認し、MFP から用紙を引き出して取り除きます。用紙が破れないように注意してください。

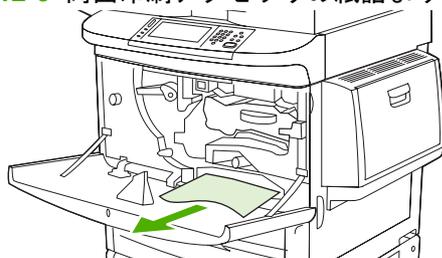
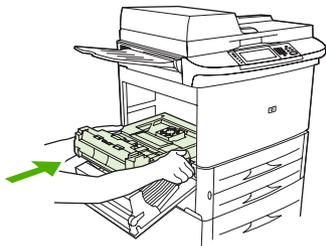
図 12-6 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (5/6)

7. 両面印刷アクセサリをスライドさせてスロットに挿入し、カチッとはめ込みます (元の状態に戻します)。

図 12-7 両面印刷アクセサリの紙詰まりの解消 (6/6)

8. 開いているドアをすべて閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

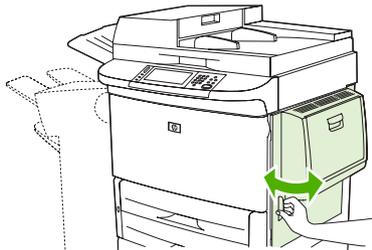
給紙トレイ付近の紙詰まりの解消

トレイ 1 の紙詰まりの解消

1. トレイ 1 の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

図 12-8 トレイ 1 の紙詰まりの解消 (1/2)

2. 右ドアを一度開き、また閉じて、MFP をリセットします。

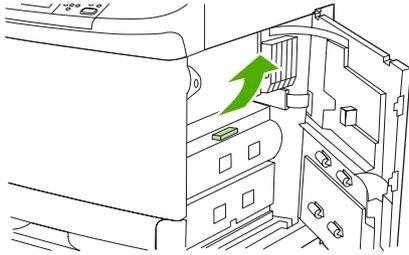
図 12-9 トレイ 1 の紙詰まりの解消 (2/2)

右ドア内側の紙詰まりの解消

1. 右ドアを開きます。

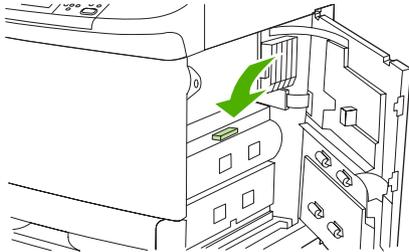
図 12-10 右ドア内側の紙詰まりの解消 (1/3)

2. 右ドア部分の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3. 紙詰まりアクセス カバーを開きます。それには、緑色のタブを引き出して起こします。

図 12-11 右ドア内側の紙詰まりの解消 (2/3)

4. この部分にある用紙を MFP から引き出して取り除きます。

5. 緑色のレバーを元の位置に押し下げます。

図 12-12 右ドア内側の紙詰まりの解消 (3/3)

6. 右ドアを閉じます。

トレイ 2 とトレイ 3 の紙詰まりの解消

1. トレイを止まるところまで開きます。

図 12-13 トレイ 2 とトレイ 3 の紙詰まりの解消 (1/3)

2. トレイの用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3. トレイを閉めます。

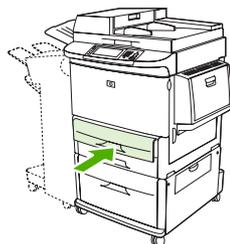
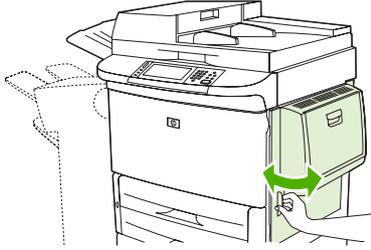
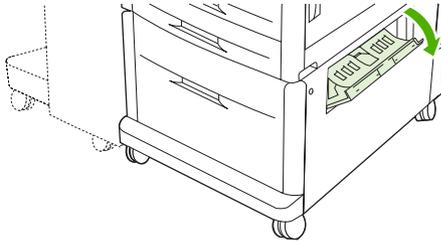
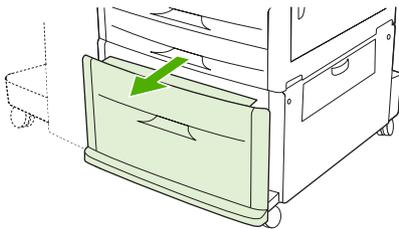
図 12-14 トレイ 2 とトレイ 3 の紙詰まりの解消 (2/3)

4. 右ドアを開き、見えている用紙をすべて取り除いてドアを閉めます。これにより、MFP がリセットされます。

図 12-15 トレイ 2 とトレイ 3 の紙詰まりの解消 (3/3)

トレイ 4 の紙詰まりの解消

1. トレイ 4 にある上方用紙送りドアを開きます。

図 12-16 トレイ 4 の紙詰まりの解消 (1/4)

2. この部分の用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

3. 上方用紙送りドアの中に用紙が見当たらない場合は、トレイ 4 を開きます。

図 12-17 トレイ 4 の紙詰まりの解消 (2/4)

4. トレイの用紙の状態を確認して、用紙を取り除きます。用紙の切れ端が残っていないことを十分に確認します。

5. トレイ 4 を閉じます。

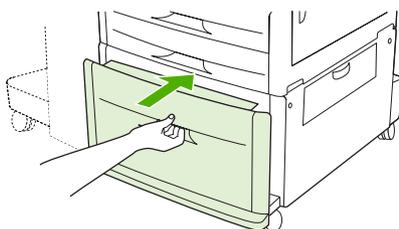
図 12-18 トレイ 4 の紙詰まりの解消 (3/4)

6. 上方用紙送りドアを閉じます。

図 12-19 トレイ 4 の紙詰まりの解消 (4/4)

出力部の紙詰まりの解消

スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消

1. 排紙ビンに紙詰まりがあるときは、用紙が破れないように注意しながら、ゆっくりとまっすぐに、MFP から用紙を引き出します。

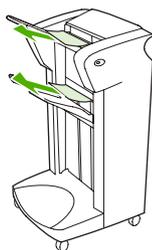
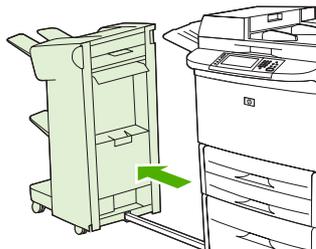
図 12-20 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (1/7)

2. 排紙デバイスを MFP から取り外します。

図 12-21 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (2/7)

3. スタッカの場合、デバイスの下部ビンのワイヤを持ち上げ、この部分に用紙があれば、慎重に取り除きます。ステイプラ/スタッカの場合、アキュームレータ部分から用紙が突き出ている場合は、それを慎重に取り除きます。

注記： 下部ビンにワイヤがあるのはスタッカだけです。

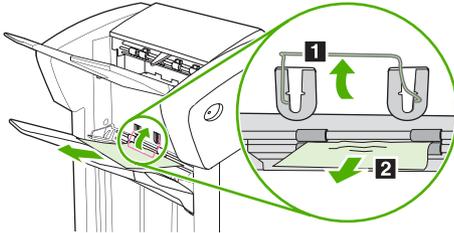
図 12-22 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (3/7)

4. フリッパのあたりにあるハンドルを探して、ハンドルを引き上げます。

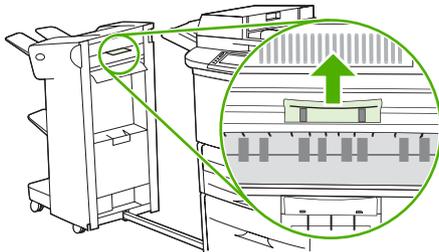
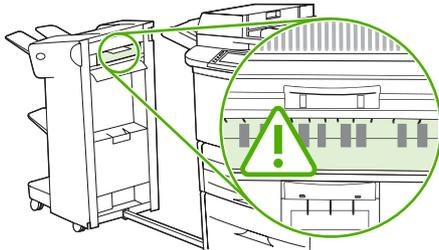
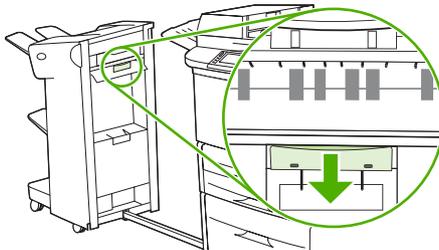
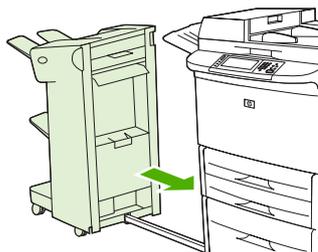
図 12-23 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (4/7)

5. フリッパの部分から用紙を取り除きます。

図 12-24 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (5/7)

警告！ フリッパのあたりには触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

6. 用紙経路モジュール内にある緑のハンドルを探して、このハンドルを引き下げます。

図 12-25 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (6/7)

7. 用紙経路モジュールから用紙を取り除きます。

8. 開いているドアをすべて閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

図 12-26 スタッカまたはステイプラ/スタッカでの紙詰まりの解消 (7/7)

多機能フィニッシャの用紙経路での紙詰まりの解消

1. 上部カバーを開けます。

図 12-27 多機能フィニッシャの用紙経路での紙詰まりの解消 (1/3)

2. 用紙が破れないように注意しながら、ゆっくりとまっすぐに、フィニッシャから用紙を引き出します。

図 12-28 多機能フィニッシャの用紙経路での紙詰まりの解消 (2/3)

3. フィニッシャのカバーを閉じます。

図 12-29 多機能フィニッシャの用紙経路での紙詰まりの解消 (3/3)

多機能フィニッシャと MFP の間の紙詰まりの解消

1. フィニッシャを MFP から取り外します。

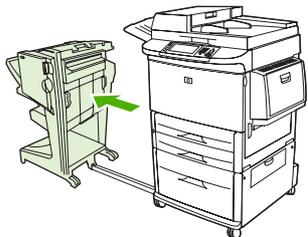
   図 12-30 多機能フィニッシャと MFP の間の紙詰まりの解消 (1/4)

2. MFP の排紙部分を確認して、用紙を取り除きます。

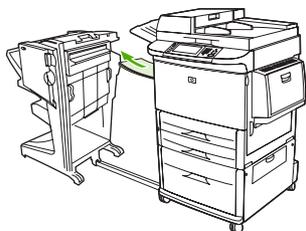
   図 12-31 多機能フィニッシャと MFP の間の紙詰まりの解消 (2/4)

3. フィニッシャの給紙部分を確認して、用紙を取り除きます。

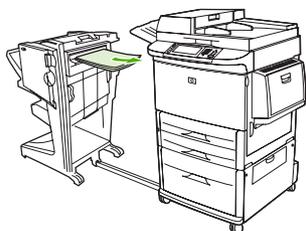
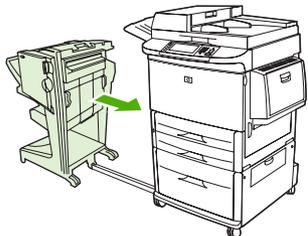
   図 12-32 多機能フィニッシャと MFP の間の紙詰まりの解消 (3/4)

4. 多機能フィニッシャを押して、元の位置に戻します。

   図 12-33 多機能フィニッシャと MFP の間の紙詰まりの解消 (4/4)

多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消

1. フィニッシャを MFP から取り外します。

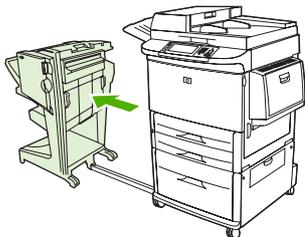
   図 12-34 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (1/7)

2. 用紙がフィニッシャの給紙部分に詰まっているが、折り畳みローラーには入っていない場合は、給紙部分から用紙を慎重に取り除いて手順 7 に進みます。

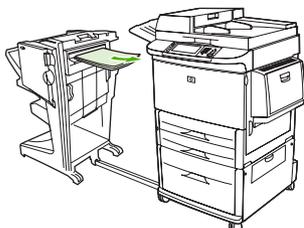
   図 12-35 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (2/7)

3. フィニッシャの背面ドアを開きます。フィニッシャ内に詰まっている用紙が折り畳みローラーに入っていない場合は、用紙を取り除いて手順 7 に進みます。用紙が折り畳みローラーに入っている場合は、手順 4 に進みます。

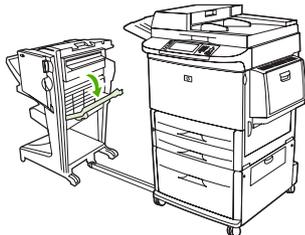
   図 12-36 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (3/7)

4. ステイプラ ユニットのドアを開きます。

   図 12-37 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (4/7)

5. 下部にある緑色のつまみを時計回りに回し、詰まっている用紙が折り畳みローラーを通過してブックレット ビンまで進むようにします。

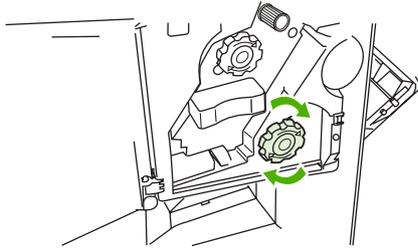
図 12-38 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (5/7)

6. ステイプラ ユニットのドアを閉じます。

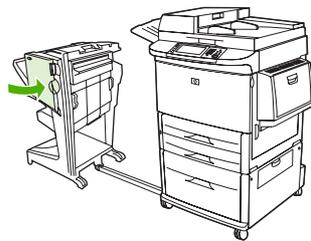
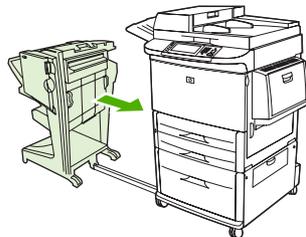
図 12-39 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (6/7)

7. 多機能フィニッシャを押して、元の位置に戻します。

図 12-40 多機能フィニッシャでのブックレットの詰まりの解消 (7/7)

多機能フィニッシャの針詰まりの解消

1. ステイプラ ユニットのドアを開きます。

図 12-41 多機能 フィニッシャの針詰まりの解消 (1/11)

2. ステイプラ ユニットを手前にスライドさせます。

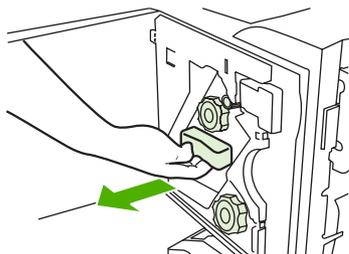
図 12-42 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (2/11)

3. 青色のドットが見えるまで、大きい方の緑色のつまみを回します (これにより、ステイプラが完全に開きます)。

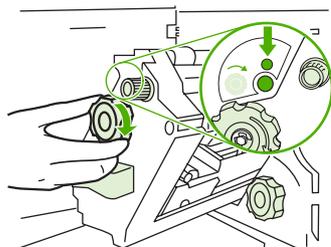
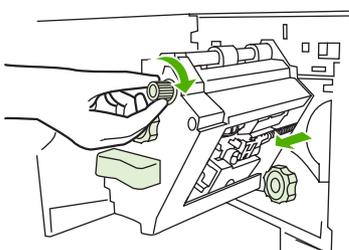
図 12-43 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (3/11)

4. ステイプル カートリッジがステイプラ ユニットの左側に移動するまで、ステイプラ上部にある小さい方の緑色のつまみを時計回りに回します。

図 12-44 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (4/11)

△ **注意：** ステイプル カートリッジを取り外す前に、ステイプラ ユニットの窓型部分に青色のドットが見えていることを確認してください。窓型部分に青色のドットが見えていない状態でステイプル カートリッジを取り外そうとすると、デバイスに損傷を与えることがあります。

5. ステイプル カートリッジを取り外します。

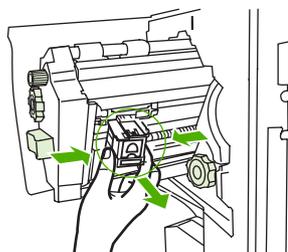
図 12-45 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (5/11)

6. 緑色のドットが付いたレバーを引き起こします。

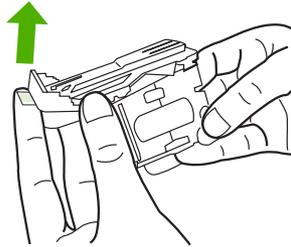
図 12-46 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (6/11)

7. 使えなくなった針を取り除きます。

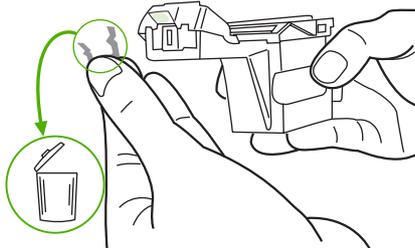
図 12-47 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (7/11)

8. 緑色のドットが付いたレバーを押し下げます。

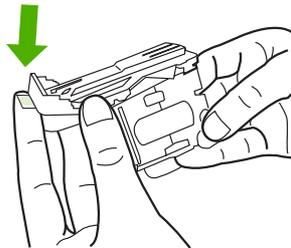
図 12-48 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (8/11)

9. ステイプル カートリッジを取り付け直します。

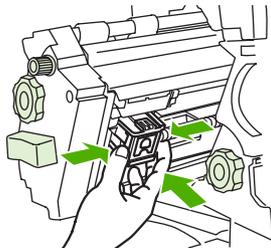
図 12-49 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (9/11)

10. ステイプラ ユニットをスライドさせて、デバイス内部に戻します。

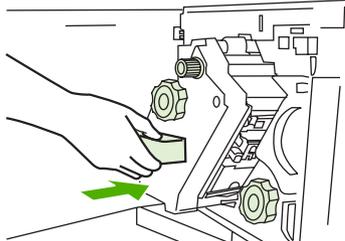
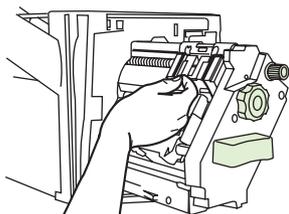
図 12-50 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (10/11)

11. ステイプラ ユニットのドアを閉じます。

図 12-51 多機能フィニッシャの針詰まりの解消 (11/11)

多機能フィニッシャのステイプラ先端の上半分での針詰まりの解消

1. 多機能フィニッシャの針詰まりを解消する手順の 1 から 4 に従って対処します。
2. ステイプラ先端の背面で、使えなくなった針の場所を確認し、針を取り除きます。

図 12-52 多機能フィニッシャのステイプラ先端の上半分での針詰まりの解消

3. 多機能フィニッシャの針詰まりを解消する手順の 10 から 11 に従って対処します。

ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消

1. ステイプラ/スタッカを MFP から取り外します。

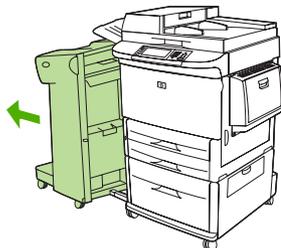
図 12-53 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (1/9)

2. ステイプラ ユニットのドアを開きます。

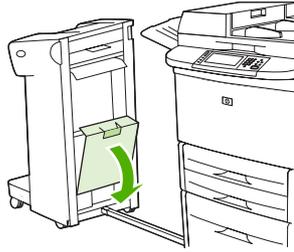
図 12-54 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (2/9)

3. カートリッジを引き出します。

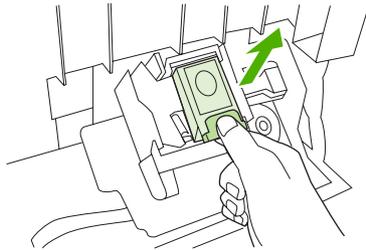
図 12-55 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (3/9)

4. 緑色のドットが付いたレバーを引き起こします。

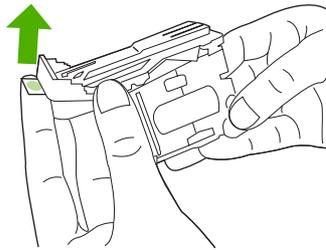
図 12-56 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (4/9)

5. 使えなくなった針を取り除きます。

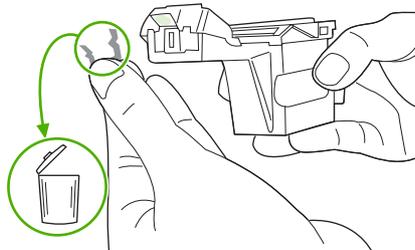
図 12-57 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (5/9)

6. 緑色のドットが付いたレバーを押し下げます。

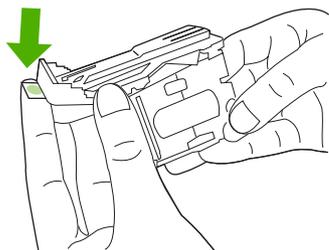
図 12-58 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (6/9)

7. ステイプル カートリッジを取り付け直します。

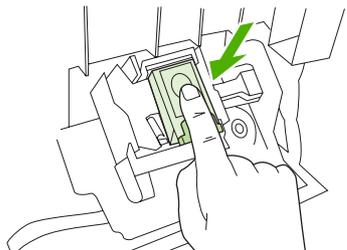
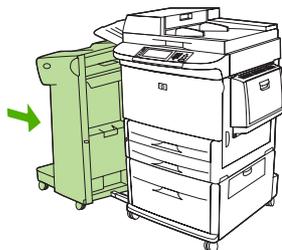
図 12-59 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (7/9)

8. ステイプラ ユニットのドアを閉じます。

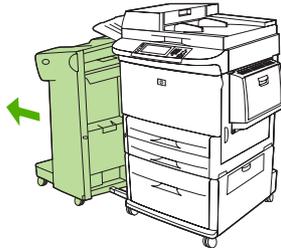
図 12-60 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (8/9)

9. ステイプラ/スタッカを押して、元の位置に戻します。

図 12-61 ステイプラ/スタッカの針詰まりの解消 (9/9)

注記： 針詰まりを解消したら、ステイプラを再セットする必要があります。再セット後、何部かのドキュメント (4 部程度) は、ステイプル留めされない場合があります。印刷ジョブを送信した後に、ステイプラに針詰まりが生じたり、ステイプラの針がなくなったりしても、排紙ビンに障害がなければ、印刷ジョブはそのまま続行されます。

左ドアの中の紙詰まりの解消 (フューザ領域)

1. 排紙デバイスを MFP から切り離して、左ドアを開くことができるようにします。

   図 12-62 左ドアの中の紙詰まりの解消 (1/4)

2. 左ドアを開きます。

⚠ **警告！** すぐ横にあるフューズ領域には触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

   図 12-63 左ドアの中の紙詰まりの解消 (2/4)

3. この部分にある詰まった用紙や使えなくなった用紙を、MFP から引き出して取り除きます。

4. 緑色のタブを押し下げて、用紙の状態を十分に確認します。用紙の切れ端が残っていないことを確認してください。

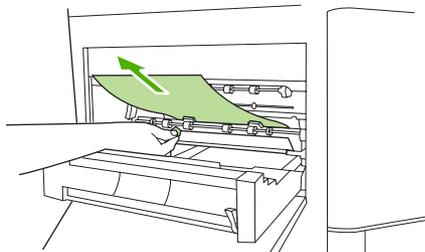
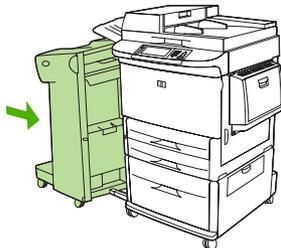
   図 12-64 左ドアの中の紙詰まりの解消 (3/4)

5. 左ドアを閉じます。排紙デバイスを押して、元の位置に戻します。

   図 12-65 左ドアの中の紙詰まりの解消 (4/4)

8 ビン メールボックスでの紙詰まりの解消

1. 8 ビン メールボックスを MFP から取り外します。MFP の左側に立ち、8 ビン メールボックスを手前にまっすぐ引き出します。

   図 12-66 8 ビン メールボックスでの紙詰まりの解消 (1/3)

2. 上部ビン (上向きビン) を、注意しながら取り外します。

3. 排紙モジュールのハンドルを引き下げ、この部分に詰まった用紙を取り除きます。

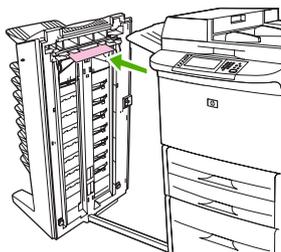
   図 12-67 8 ビン メールボックスでの紙詰まりの解消 (2/3)

4. 8 ビン メールボックスを所定の位置に押し込み、上部ビンを取り付け直します。

   図 12-68 8 ビン メールボックスでの紙詰まりの解消 (3/3)

注記： 用紙の厚さが、8 ビン メールボックスの対応範囲内であることを確認します。85 ページの「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

頻繁に発生する紙詰まりの対策

状況	解決策
繰り返し起こる一般的な紙詰まりの問題	1. 用紙がトレイに正しくセットされ、幅ガイドも適切に調節されていることを確認します (101 ページの 「印刷タスク」 を参照)。
	2. 用紙サイズに合わせて用紙トレイが設定されていることと、トレイにセットされている用紙が多すぎないことを確認します。
	3. トレイにセットされている用紙の束を裏返してみます。穴あき用紙またはレターヘッド用紙を使用している場合は、トレイ 1 から印刷します。
	4. 印刷済みの用紙、破れた用紙、使い古しの用紙、不揃いの用紙は使用しないでください。MFP での使用に推奨する用紙については、85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」 を参照してください。
	5. 用紙の仕様を確認します (85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」 を参照)。推奨サイズ外の用紙を使用すると、問題が生じることがあります。
	6. MFP が汚れている可能性があります。174 ページの 「MFP のクリーニング」 の説明に従って、MFP をクリーニングします。
	7. 使えなくなった用紙や、紙詰まりを起こした用紙が MFP に残っていないことを確認します。
繰り返し起こる ADF での紙詰まりの問題	1. ADF が汚れている可能性があります。177 ページの 「ADF 送出システムのクリーニング 」 の説明に従って、ADF をクリーニングします。

注記： 紙詰まりが解消されない場合は、正規の HP サービス プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットか、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp を参照してください)。

メディアの取り扱いに関する問題

『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』に記載されている仕様を満たしているメディア以外は使用しないでください。このガイドは、www.hp.com/support/ljpaperguide から入手できます。

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

原因	解決方法
給紙トレイがいっぱいです。	余分なメディアを給紙トレイから取り除きます。
印刷するメディアが互いにくっついています。	メディアを取り出し、よく捌くか、180° 回転させるか、あるいは裏返してからトレイにセットし直します。 注記：　メディアを扇形に広げないでください。メディアを扇形に広げると静電気が発生し、メディアが互いにくっつく原因になります。
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。
トレイが正しく調整されていません。	後ろ側のメディアの長さガイドが使用するメディアの長さを示していることを確認します。

間違ったページ サイズが給紙される

間違ったページ サイズが給紙される

原因	解決方法
正しいサイズのメディアが給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイに正しいサイズのメディアをセットします。
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、正しいサイズのメディアが選択されていません。	ソフトウェア プログラムおよびプリンタ ドライバの設定が正しいかどうかを確認してください。ソフトウェア プログラムの設定は、プリンタ ドライバやコントロール パネルの設定よりも優先されます。また、プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、55 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」を参照してください。
MFP のコントロール パネルで、トレイ 1 に対して正しいサイズのメディアが選択されていません。	コントロール パネルで、トレイ 1 に対して正しいサイズのメディアを選択します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

間違ったトレイから給紙される

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
別のプリンタのドライバが使用されています。詳細情報を参照してください。	このプリンタのドライバを使用します。

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
指定したトレイは空です。	指定したトレイにメディアをセットします。
[**要求されたトレイを使用**] オプションは、[**デバイス動作**] メニューの [**トレイの設定**] サブメニューで [**最初**] に設定されています。	設定を [**優先**] に変更します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

メディアが自動的に給紙されない

メディアが自動的に給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムで手差しが選択されています。	トレイ 1 にメディアをセットするか、メディアがセットされている場合は、[OK] をタッチしてください。
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットします。
給紙トレイが空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
前回、紙詰まりしたメディアが完全に取り除かれていません。	MFP を開き、給紙経路にあるメディアを取り除きます。フューザ部分に紙詰まりがないか十分に確認してください。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

原因	解決方法
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットし、カスタム メディア スイッチが正しい位置にあることを確認します。
給紙トレイが空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
MFP のコントロール パネルで、給紙トレイのメディア タイプが正しく選択されていません。	MFP のコントロール パネルから、給紙トレイに合ったメディア タイプを選択します。
前回、紙詰まりしたメディアが完全に取り除かれていません。	MFP を開き、給紙経路にあるメディアを取り除きます。フューザ部分に紙詰まりがないか十分に確認してください。
オプションのトレイが給紙トレイ オプションとして表示されません。	オプションのトレイが取り付けられている場合は、それらは使用可能として表示されます。オプションのトレイがすべて正しく取り付けられていることを確認します。プリンタ ドライバがオプションのトレイを認識するように設定されていることを確認します。

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

原因	解決方法
オプションのトレイが間違って取り付けられています。	設定ページを印刷して、オプションのトレイが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、トレイが正しく MFP に接続されていることを確認します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

OHP フィルムが給紙されない

OHP フィルムが給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェアまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが指定されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが選択されていることを確認します。
トレイ 1 がいっぱいです。	トレイ 1 から余分な OHP フィルムを取り出します。フィルムの量がトレイ 1 の上限線を超えないようにしてください。
他のトレイのメディアは OHP フィルムと同じサイズで、MFP はデフォルトで他のトレイに設定されています。	ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、トレイ 1 が選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用して、セットしたメディア タイプにトレイを設定できます。
トレイ 1 のタイプが正しく設定されていません。	ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、トレイ 1 が選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用して、セットしたメディア タイプにトレイを設定できます。
OHP フィルムが、サポートされているメディアの仕様を満たしていない可能性があります。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。

封筒が紙詰まりを起こしている、または封筒が MFP に給紙されない

注記： 封筒への印刷が終わったら、フューザ レバーは下側の位置に戻してください。フューザ レバーを下側の位置に戻さないままだと、標準的なタイプの用紙に印刷するときの印刷品質が低下します。

封筒が紙詰まりを起こしている、または封筒が MFP に給紙されない

原因	解決方法
封筒がサポートされていないトレイにセットされています。封筒を給紙できるのはトレイ 1 だけです。	封筒はトレイ 1 にセットしてください。
封筒がめくれているか折れています。	フューザ レバーが正しい位置にあることを確認します。別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
水分含有率が高すぎるため、封筒が密着しています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
封筒の向きが間違っています。	封筒が正しくセットされていることを確認します。

封筒が紙詰まりを起こしている、または封筒が MFP に給紙されない

原因	解決方法
この MFP では、封筒の使用はサポートされていません。	『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』を参照してください。
トレイ 1 が封筒以外のサイズに設定されています。	トレイ 1 のサイズを封筒に合った設定にしてください。

印刷出力が丸まっている、またはしわが寄っている

印刷出力が丸まっている、またはしわが寄っている

原因	解決方法
メディアがこの MFP の仕様に合っていません。	この MFP の HP 仕様を満たすメディアのみを使用します。
メディアが折れているか汚れています。	メディアを給紙トレイから取り除き、良好な状態にあるメディアをセットします。
プリンタの動作環境の湿度が非常に高くなっています。	印刷環境の湿度が仕様範囲内であることを確認します。
大きな塗りつぶされた領域を印刷しています。	大きな塗りつぶされた領域は、非常に丸まりやすくなります。別のパターンを印刷してみます。
使用したメディアの保存状態が悪く、湿気を吸収しています。	メディアを取り除き、新しい、未開封のメディアと交換します。
メディアの端が揃っていません。	メディアを取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、給紙トレイに再びセットします。メディアを扇形に広げないでください。問題が解決されない場合は、メディアを交換します。
特定のメディア タイプがトレイに設定されていないか、ソフトウェアで選択されていません。	メディアに合わせてソフトウェアを設定します (ソフトウェアのマニュアルを参照)。メディアに合わせてトレイを設定するには、97 ページの 「トレイの設定」を参照してください。

両面印刷ができないか、正しく両面印刷されない

両面印刷ができないか、正しく両面印刷されない

原因	解決方法
両面印刷しようとしているメディアはサポートされていません。	両面印刷するメディアがサポートされていることを確認します。
プリンタ ドライバが両面印刷に合わせて設定されていません。	プリンタ ドライバを設定して、両面印刷を有効にします。
印刷済みフォームまたはレターヘッドの裏面に最初のページが印刷されています。	レターヘッドのある面 (印刷面) を上にし、ページの下部が先に MFP に給紙されるように、印刷済み用紙またはレターヘッドをトレイ 1 にセットします。トレイ 2、3、4 の場合は、印刷面を下にし、ページの上部を MFP の後部に向けてメディアをセットします。

印刷品質の問題の解決

ここでは、印刷品質問題の定義とその解決方法について説明します。よく起こる印刷品質の問題は、デバイスが正しく保守されていることを確認する、HP 仕様を満たしている印刷メディアを使用する、またはクリーニング ページを実行するといった方法で簡単に解決することができます。

メディアに関連する印刷品質の問題

不適切なメディアを使用すると、印刷品質に問題が発生することがあります。

- HP 仕様を満たしているメディアを使用します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」または www.hp.com/support/ljpaperguide から入手できる『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』を参照してください。
- メディアの表面がなめらかすぎます。HP 仕様を満たしているメディアを使用します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
- 水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるまたは低すぎます。別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- メディアにトナーをはじく部分があります。別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが、粗いメディアに印刷されています。より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。これで問題が解決した場合は、レターヘッドのサプライヤに連絡して、このデバイスの仕様に合う用紙を使用するように依頼してください。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
- メディアが粗すぎます。より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。
- ドライバが正しく設定されていません。メディア タイプの設定を変更するには、55 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」を参照してください。
- 使用しているメディアが、設定されているメディア タイプより厚すぎるため、トナーがメディアに定着していません。17 ページの 「原稿のデフォルト オプション」を参照してください。

環境に関連する印刷品質の問題

デバイスの動作環境の湿度が非常に高いか、または乾燥している場合は、印刷環境が仕様範囲内かどうかを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。

紙詰まりに関連する印刷品質の問題

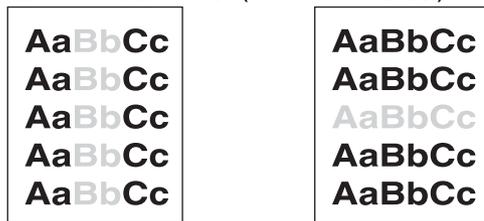
詰まった用紙が用紙経路からすべて取り除かれていることを確認します。199 ページの 「紙詰まりの解消」を参照してください。

- 紙詰まりの発生直後は、デバイスをクリーニングするために用紙を 2 ～ 3 枚印刷してください。
- 用紙がフューザを通過しなかったために、後続の文書のイメージが印刷されない場合は、3 ページ分印刷してデバイスをクリーニングします。問題が解決しない場合は、クリーニング ページを印刷して対処します。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。

薄い印字 (ページの一部分)

図 12-69 薄い印字 (ページの一部分)

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. プリント カートリッジがしっかりと所定の位置に取り付けられていることを確認します。
2. プリント カートリッジに欠陥がある可能性があります。プリント カートリッジを交換します。
3. メディアが HP 仕様を満たしていない可能性があります (たとえば、メディアが非常に湿っている、または非常に粗い場合)。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」 を参照してください。

薄い印字 (ページ全体)

図 12-70 薄い印字 (ページ全体)

1. プリント カートリッジがしっかりと所定の位置に取り付けられていることを確認します。
2. コントロール パネルとプリンタ ドライバで、[EconoMode] 設定がオフになっていることを確認します。
3. デバイスのコントロール パネルで、[管理] メニューを開きます。[印刷品質] メニューを開いて、[トナー濃度] 設定の値を上げます。43 ページの 「[印刷品質] メニュー」 を参照してください。
4. 他の種類のメディアを使用してください。
5. プリント カートリッジに欠陥がある可能性があります。プリント カートリッジを交換します。

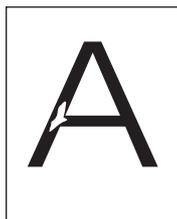
斑点

図 12-71 斑点

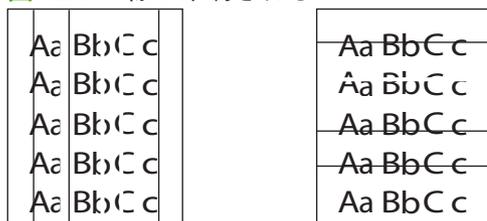
紙詰まりの解消後にページに斑点が現れる場合があります。

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. デバイスの内部を掃除し、クリーニング ページを実行します。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。
3. 他の種類のメディアを使用してください。
4. プリント カートリッジが漏れていないかどうかを確認します。漏れている場合は、カートリッジを交換します。

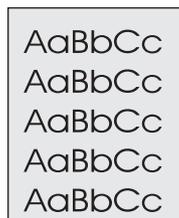
文字等が欠落する

図 12-72 文字等が欠落する

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。
2. メディアが粗く、こするとトナーが簡単に落ちる場合は、デバイスのコントロール パネルで [管理] メニューを開きます。[印刷品質] メニューを開いて、[フューザ モード] を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。
3. より滑らかなメディアを使用してください。

線が印刷される

図 12-73 線が印刷される

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. デバイスの内部を掃除し、クリーニング ページを実行します。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

背景が灰色になる

図 12-74 背景が灰色になる

1. 一度デバイスを通したメディアは再度使用しないでください。
2. 他の種類のメディアを使用してください。
3. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
4. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。
5. デバイスのコントロール パネルで、[管理] メニューを開きます。[印刷品質] メニューで、[トナー濃度] 設定の値を上げます。43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。
6. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。
7. プリント カートリッジを交換します。

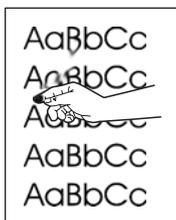
トナーのにじみ

図 12-75 トナーのにじみ

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. フューザ レバーが下側の位置にあることを確認します (封筒への印刷の場合を除く)。
3. 他の種類のメディアを使用してください。
4. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。
5. デバイスの内部を掃除し、クリーニング ページを実行します。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。
6. プリント カートリッジを交換します。

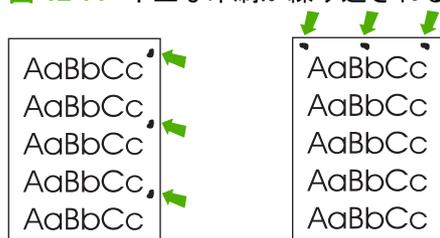
227 ページの 「トナーが落ちやすい 」も参照してください。

トナーが落ちやすい

図 12-76 トナーが落ちやすい

この場合の「トナーが落ちやすい」とは、ページをこするとトナーが簡単に取れてしまうことです。

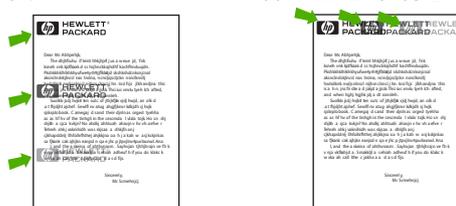
1. フューザ レバーが下側の位置にあることを確認します (封筒への印刷の場合を除く)。
2. メディアが厚手または粗い場合は、デバイスのコントロール パネルで [管理] メニューを開きます。[印刷品質] サブメニューを開いて、[フューザ モード] を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。
3. メディアの両面の粗さに違いがあることが分かっている場合は、滑らかなほうの面に印刷してください。
4. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

不正な印刷が繰り返される

図 12-77 不正な印刷が繰り返される

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. 繰り返しの間隔が 44mm、53mm、63mm、または 94mm の場合、プリント カートリッジの交換が必要な可能性があります。
3. デバイスの内部を掃除し、クリーニング ページを実行します。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。

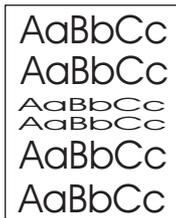
228 ページの 「イメージが繰り返し印刷される」も参照してください。

イメージが繰り返し印刷される

図 12-78 イメージが繰り返し印刷される

この種の問題は、印刷済みの用紙または大量の幅の狭いメディアを使用したときに発生する可能性があります。

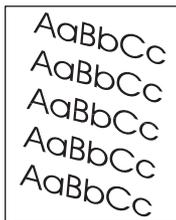
1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
3. 繰り返しの間隔が 44mm、53mm、63mm、または 94mm の場合、プリント カートリッジの交換が必要な可能性があります。

文字が歪んで印刷される

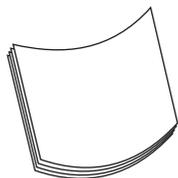
図 12-79 文字が歪んで印刷される

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。

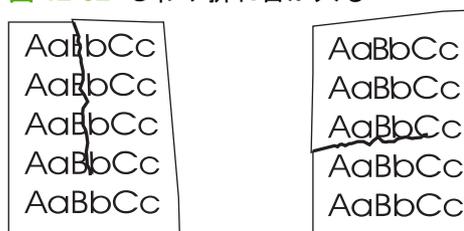
ページのずれ

図 12-80 ページのずれ

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. デバイス内部にメディアの切れ端が残っていないことを確認します。
3. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します。89 ページの 「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。トレイ内のガイドがメディアに対してきつすぎたり緩すぎたりしないことを確認します。
4. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
6. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。(258 ページの 「動作環境」を参照してください)。
7. デバイスのコントロール パネルで [管理] メニューを開き、トレイの位置調整を実行します。[印刷品質] サブメニューで、[登録の設定] をタッチします。[ソース] の下にあるトレイを選択し、テスト ページを実行します。詳細については、43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

用紙が丸まったり波打つ

図 12-81 用紙が丸まったり波打つ

1. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します (85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照)。
3. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します (258 ページの 「動作環境」を参照)。
4. 別の排紙ビンへ印刷してみてください。
5. メディアが薄手または滑らかな場合は、デバイスのコントロール パネルで [管理] メニューを開きます。[印刷品質] サブメニューを開いて、[フューザ モード] を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。その設定を[低] に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

しわや折れ目が入る

図 12-82 しわや折れ目が入る

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。
4. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します。89 ページの「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
6. 封筒に折り目がある場合は、平らにしてから保存してください。

上記を実行してもしわや折り目の問題が改善されない場合は、デバイスのコントロール パネルで、[管理] メニューを開きます。[印刷品質] サブメニューを開いて、[フューザ モード] を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。その設定を[低] に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

縦に白い線が入る

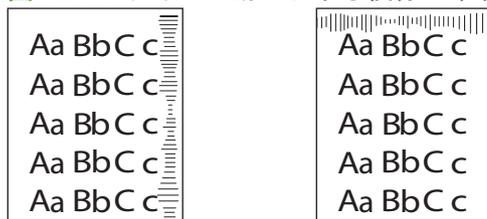
図 12-83 縦に白い線が入る

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

タイヤの跡のような模様が印刷される

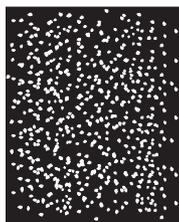
図 12-84 タイヤの跡のような模様が印刷される

Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c

Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c
Aa BbC c

通常、この不具合は、プリント カートリッジが寿命をかなり超過しているときに発生します。たとえば、残り少ないトナーで大量の用紙を印刷する場合などです。

1. プリント カートリッジを交換します。
2. 印刷するページ数を減らし、残り少ないトナーで印刷します。

黒い部分に白い点が入る

図 12-85 黒い部分に白い点が入る

1. さらに数ページを試し刷りして、問題が解決するかどうかを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

3. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。

4. プリント カートリッジを交換します。

トナーが飛び散って線が印刷される

図 12-86 トナーが飛び散って線が印刷される

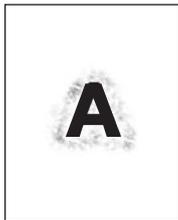
1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

2. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。

3. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。

4. デバイスのコントロール パネルで、[管理] メニューを開きます。[印刷品質] サブメニューを開いて、[トナー濃度] 設定を変更します。43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

ぼやけて印刷される

図 12-87 ぼやけて印刷される

1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。

2. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。258 ページの 「動作環境」を参照してください。

3. トレイ内の束を裏返します。180 度回転させます。

4. 一度デバイスを通したメディアは再度使用しないでください。

5. トナー濃度の値を下げます。デバイスのコントロール パネルで、[管理] メニューを開きます。[印刷品質] サブメニューを開いて、[トナー濃度] 設定を変更します。43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

ランダムなイメージが繰り返し印刷される

図 12-88 ランダムなイメージが繰り返し印刷される (1/2)

図 12-89 ランダムなイメージが繰り返し印刷される (2/2)

ページの上部に印刷される黒いイメージが、ページの下方にグレーで繰り返し印刷される場合は、前回のジョブからトナーが完全に消去されていない可能性があります (繰り返し印刷されるイメージは、それが印刷されるフィールドよりも薄い場合もあれば濃い場合もあります)。

- イメージが繰り返し印刷される領域の色調 (濃さ) を変更します。
- イメージが印刷される順序を変更します。たとえば、ページの上部に薄いイメージを印刷し、ページの下に近づくに連れて濃く印刷します。
- ソフトウェア プログラムで、ページ全体を 180 度回転して、最初に薄めのイメージを印刷します。
- 印刷ジョブ中に不具合が発生した場合は、デバイスの電源を切り、10 分後に入れ直して印刷ジョブを再開します。

ファックスの問題を解決する

ファックスの問題を解決するには、ファックス アクセサリに付属のソフトウェア CD に収録されている『*アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド*』および『*アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド*』を参照してください。

http://www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300 も参照してください。

コピーの問題を解決する

コピーに関する問題の防止

ここでは、コピー品質を簡単に改善できる手順を説明します。

- スキャナからコピーします。スキャナを使用すると、自動文書フィーダ (ADF) からコピーするよりも品質が高くなります。
- 高い品質の原稿を使用します。
- メディアを正しくセットします。メディアが正しくセットされていないと、メディアが歪んで、イメージが不明瞭になり、OCR プログラムで適切に読み取れない可能性があります。手順の詳細については、89 ページの 「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。
- 原稿を保護するために、適切な用紙を使用します。

イメージの問題

問題	原因	解決策
イメージが印刷されません。または薄い色です。	プリント カートリッジに欠陥がある可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。184 ページの 「サプライ品の管理」を参照してください。
	原稿の品質が低いこともあります。	原稿が明るすぎたり破損している場合、濃さを調整しても、補正できない場合があります。可能であれば、状態のよい原稿を使用してください。
	原稿の背景に色が付いていることがあります。	[コピー] をタッチし、[イメージ調整] を選択します。背景色を薄くするには、背景のクリーンアップ スライダを右に移動して調整します。
コピーに白または薄い色の縦線が表示されます。	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。85 ページの 「サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ」を参照してください。
	プリント カートリッジに欠陥がある可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。184 ページの 「サプライ品の管理」を参照してください。
不要な線がコピーに表示されます。	スキャナまたは ADF のガラス面が汚れている可能性があります。	スキャナまたは ADF のガラス面をクリーニングします。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。
	プリント カートリッジ内部の写真感知ドラムに傷が付いた可能性があります。	新品の HP 製プリント カートリッジを取り付けます。184 ページの 「サプライ品の管理」を参照してください。
黒いドットまたは線がコピーに表示されます。	インク、のり、修正液などが、自動文書フィーダ (ADF) またはスキャナに付着しています。	デバイスのクリーニングを行います。174 ページの 「MFP のクリーニング」を参照してください。

問題	原因	解決策
コピーが薄すぎるか濃すぎます。	濃さの設定を調整します。	[コピー] をタッチし、[イメージ調整] を選択します。濃さ スライダを調整して、色の濃淡を設定します。
テキストが不明瞭です。	鮮明度の設定を調整します。 イメージをテキストに合わせて最適化する必要があります。	鮮明度を調整するには、[コピー]、[イメージ調整] の順にタッチします。鮮明度を高めるには、鮮明度 スライダを右に移動して調整します。 テキストに合わせてイメージを最適化するには、[コピー]、[テキスト/画像の最適化] の順にタッチします。[テキスト] を選択します。

メディアの取り扱いに関する問題

問題	原因	解決策
印刷品質やトナーの定着性が低い	用紙が湿りすぎている、粒子が粗すぎる、滑らかすぎる、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。 フューザ レバーが正しい位置にありません。	100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』に記載されている仕様を満たすメディア以外は使用しないでください。このガイドは、www.hp.com/support/ljpaperguide から入手できます。 フューザ レバーが下側の位置にあることを確認します (封筒への印刷の場合を除く)。
文字の欠落、紙詰まり、または丸まり	用紙が正しく保管されていませんでした。	防湿性の包装材で包み、平らな状態で保管してください。
	用紙が丸まっています。	用紙を裏返します。
極端な丸まり	用紙が湿りすぎている、用紙の目の方向が間違っている、ショートグレイン用紙を使用している可能性があります。	フューザ モードを変更するか (43 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照)、縦目用紙を使用します。
	用紙が丸まっています。	用紙を裏返します。
紙詰まりが発生してデバイスが損傷する	用紙に切り取り線やミシン目があります。	切り取り線やミシン目のない用紙を使用してください。
給紙に関する問題	用紙の端が破れています。	レーザー プリンタ用の上質の用紙を使用してください。
	用紙が丸まっています。	用紙を裏返します。
	用紙が湿りすぎている、荒すぎる、重すぎる、または滑らかすぎる、用紙の目の方向が間違っている、ショートグレイン用紙を使用している、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。	● 100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。 ● 縦目用紙を使用してください。

問題	原因	解決策
ページの印刷が歪んだり、位置がずれます。	メディア ガイドの調整が不適切な可能性があります。	給紙トレイからすべてのメディアを取り除き、用紙の束を揃えて、給紙トレイにセットし直します。使用するメディアの幅と長さに合わせてメディア ガイドを調整し、もう一度印刷します。
	スキャナの校正が必要な可能性があります。	トレイの位置調整を行ってから、スキャナの校正を行います。 ● デバイスのコントロール パネルで [管理] メニューを開き、トレイの位置を調整します。[印刷品質] サブメニューで、[登録の設定] をタッチします。[ソース] の下にあるトレイを選択し、テスト ページを実行します。詳細については、43 ページの「[印刷品質] メニュー」を参照してください。 ● スキャナの校正方法については、182 ページの 「スキャナの校正」を参照してください。
同時に複数枚の用紙が送られます。	メディア トレイのメディアの量が多すぎる可能性があります。	トレイからメディアの一部を取り除きます。89 ページの 「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。
	メディアにしわが入る、折れている、または破損している可能性があります。	メディアにしわ、折れ、破損がないことを確認します。新規または異なるパッケージのメディアの印刷を試してください。
デバイスがメディア トレイからメディアを引き出せません。	デバイスが手差しモードになっている可能性があります。	● **[手差し]** がコントロール パネルのディスプレイに表示される場合、**[OK]** を押してジョブを印刷します。 ● デバイスが手差しモードではないことを確認し、ジョブを印刷し直します。
	ピックアップ ローラーが汚れているか破損している可能性があります。	HP カスタマ ケアにご連絡ください。252 ページの 「HP カスタマ ケア」またはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
	トレイの用紙の長さの調整コントロールが、メディアのサイズよりも長い位置に設定されています。	用紙の長さの調整コントロールを調整し、正しい長さにします。

性能に関する問題

問題	原因	解決策
コピーが出てきませんでした。	給紙トレイが空になっている可能性があります。	デバイスにメディアをセットしてください。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を下向きにセットします。
コピーが白紙です。	カートリッジにガムテープが貼り付いたままになっている可能性があります。	プリント カートリッジを交換し、欠陥カートリッジを返却します。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を下向きにセットします。
	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。
	プリント カートリッジが不良です。	プリント カートリッジを交換します。
違う原稿がコピーされました。	ADF に原稿がセットされている可能性があります。	ADF が空であることを確認します。
コピーのサイズが小さくなります。	デバイス ソフトウェアでスキャンしたイメージのサイズを縮小する設定になっている可能性があります。	設定の変更方法については、デバイス ソフトウェアの [ヘルプ] を参照してください。

電子メールの問題を解決する

デジタル送信機能を使用して電子メールを送信できない場合は、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスを再設定する必要が生じる場合があります。設定ページを印刷して、SMTP と LDAP の現在のゲートウェイ アドレスを確認します。154 ページの 「情報ページ」を参照してください。次の手順に従って、SMTP と LDAP のゲートウェイ アドレスが有効であるかどうかを確認します。

SMTP ゲートウェイ アドレスの検証

注記： この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます (**[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、「cmd」と入力します)。
2. 「telnet」の後に SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP の通信に使用されるポート番号「25」を続けて入力します。たとえば、「telnet 123.123.123.123 25」と入力した場合、「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを表します。
3. Enter キーを押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが*有効でない*場合は、「Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed (ポート 25 のホストに接続できませんでした。接続に失敗しました)」というメッセージが戻されます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証

注記： この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. Windows エクスプローラを開きます。アドレス バーに、「LDAP://」と LDAP ゲートウェイ アドレスを続けて入力します。たとえば、「LDAP://12.12.12.12」と入力した場合、「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを表します。
2. Enter キーを押します。LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合は、**[Find People]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク接続に関するトラブルの解決

MFP でネットワーク接続に関する問題が発生している場合は、このセクションの指示に従って問題を解決してください。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決

注記： MFP をネットワークにインストールして設定するには、MFP CD を使用することをお勧めします。

- ネットワーク ケーブルがフォーマッタの RJ45 コネクタにしっかりと差し込まれていることを確認します。
- フォーマッタの RJ45 コネクタ上のリンク LED が点滅していることを確認します。
- I/O カードが使用可能な状態になっていることを確認します。設定ページを印刷します (154 ページの 「情報ページ」を参照)。HP Jetdirect プリント サーバーがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。

  注記： HP Jetdirect プリント サーバーは、各種のネットワーク プロトコル (TCP/IP、IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DCL/LLC など) をサポートしています。適切なプロトコルとネットワーク パラメータが正しく設定されていることを確認します。

  HP Jetdirect の設定ページで、ご使用のプロトコルに関する次の項目を確認します。

  - 「HP Jetdirect Configuration」セクションのステータスが「I/O Card Ready」になっている。
  - プロトコルのステータスが「Ready」になっている。
  - IP アドレスが記載されている。
  - 設定方法 (Config by:) が 正しく記載されている。どの方法が正しいかについて不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 別のコンピュータからジョブの印刷を試行します。
- MFP がコンピュータと正しく連動していることを確認するには、パラレル ケーブルを使用して、MFP をコンピュータに直接接続します。印刷ソフトウェアを再インストールする必要があります。過去に印刷を正しく実行できたプログラムを使用して、ドキュメントを印刷します。正しく印刷される場合、問題はネットワークにあることが考えられます。
- サポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

ネットワークの通信状態の検証

HP Jetdirect の設定ページに MFP の IP アドレスが表示されている場合は、ネットワーク経由で MFP と通信できることを、以下の手順に従って確認してください。

1. **Windows の場合**：**[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックして、「cmd」と入力します。MS-DOS コマンド プロンプトが開きます。

   または

   Mac の場合：**[アプリケーション]** メニューの **[ユーティリティ]** をクリックして、ターミナル アプリケーションを開きます。ターミナル ウィンドウが開きます。

2. 「ping」の後に IP アドレスを入力します。たとえば、「ping XXX.XXX.XXX.XXX」と入力します。"XXX.XXX.XXX.XXX" の部分には、HP Jetdirect の設定ページに表示されている IPv4 アドレスを入力してください。MFP がネットワーク上で通信している場合は、MFP からの応答のリストが戻されます。

3. アドレス解決プロトコル (arp -a) コマンドを使用して、IP アドレスがネットワーク上の重複アドレスでないことを確認します。プロンプトで「arp -a」と入力します。出力された一覧で該当する IP アドレスを探し、その物理アドレスを、HP Jetdirect の設定ページ ([HP Jetdirect 設定] セクション) に表示されているハードウェアのアドレスと比較します。アドレスが一致する場合は、すべてのネットワーク通信が有効であることを意味します。

4. MFP がネットワーク上で通信していることを確認できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

このセクションでは、Mac OS X で発生する可能性のある問題を示します。

表 12-1 Mac OS X に関する問題

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD ファイルがハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj にあることを確認します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタ リストに表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして印刷可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタを自動的に設定しません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして印刷可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD ファイルがハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj にあることを確認します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

表 12-1 Mac OS X に関する問題 (続き)

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタを自動的に設定しません。

原因	解決方法
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。ここで、<lang> は使用する言語を表す 2 文字の言語コードです。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。**[プリント モニタ]** を開き、**[ジョブを開始]** を選択します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。まったく同じか、似たようなプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。

EPS (Encapsulated PostScript) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	● EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。 ● ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

表 12-1 Mac OS X に関する問題 (続き)

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。	
原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	**ソフトウェアで発生するトラブルの解決** ● お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 ● Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.1 以降であることを確認します。 ● お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 **ハードウェアで発生するトラブルの解決** ● プリンタの電源がオンになっていることを確認します。 ● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ● 適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。 ● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 ● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 注記： iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。

A サプライ品とアクセサリ

このセクションでは、部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法を説明します。デバイスに対応した部品およびアクセサリを使用してください。

部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法

部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法はいくつかあります。

- HP から直接注文する
- サービス プロバイダまたはサポート プロバイダから注文する
- 内蔵 Web サーバーを通して直接注文する (プリンタがネットワークに接続されている場合)
- HP Easy Printer Care Software を通して直接注文する

HP から直接注文する

以下の商品は、HP から直接購入することができます。

- **交換部品**： 米国内から交換部品を注文するには、www.hp.com/go/hpparts にアクセスしてください。米国以外の国・地域からは、最寄りの HP 認定サービス センターまでお問い合わせのうえ部品をご注文ください。
- **サプライ品とアクセサリ**： 米国内からサプライ品を注文するには、www.hp.com/go/ljsupplies にアクセスしてください。その他の国/地域からサプライ品を注文するには、www.hp.com/ghp/buyonline.html にアクセスしてください。アクセサリを注文するには、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp にアクセスしてください。

サービス プロバイダまたはサポート プロバイダから注文する

部品またはアクセサリを注文するには、正規の HP サービスまたはサポート プロバイダにお問い合わせください

内蔵 Web サーバーを通して直接注文する (プリンタがネットワークに接続されている場合)

内蔵サーバーを通して印刷用のサプライ品を直接注文するには、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの Web ブラウザで、デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[その他のリンク]** 領域で **[サプライ品の発注が必要]** をダブルクリックします。消耗品を購入できるサイトの URL が表示されます。
3. 注文する品目の製品番号を選択して、画面の指示に従います。

HP Easy Printer Care Software を通して直接注文する

HP Easy Printer Care Software は、プリンタの設定、監視、サプライ品の注文、トラブルシューティング、更新をできるだけ簡単に効率よく行えるように設計されたプリンタ管理ツールです。HP Easy Printer Care Software の詳細については、www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

製品番号

製品の種類	項目	説明または用途	注文番号
用紙処理	3,000 枚収納スタッカ	3,000 枚まで収納できる用紙スタック デバイスです。ジョブ オフセット機能も使用できます。	C8084A
	3,000 枚用ステイプラ/スタッカ	3,000 枚まで収納できる用紙スタック デバイスです。ドキュメントを最大 50 枚までステイプルで留めることができます。ジョブ オフセット機能も使用できます。	C8085A
	マルチファンクション フィニッシャ	用紙を 1,000 枚まで収納できるフィニッシャです。用紙を最大 50 枚までステイプルで留めることができます。また、ブックレット (用紙 10 枚まで) の折り畳み/中綴じも可能です。	C8088B
	8 ビン メールボックス	1 つの上向きビン (上部ビン) と 8 つの下向きビンが備わったデバイスで、各ビンをユーザーやワークグループごとに割り当てることができます。ジョブ仕分け、スタッカ、並べ替え/丁合いの機能も果たします。	Q5693A
印刷サプライ品	プリント カートリッジ (ISO/IEC 19752 に基づき平均 38,000 ページの印刷が可能)	最大容量の交換用高性能プリント カートリッジです。	C8543X
	ステイプル カートリッジ	3,000 枚収納ステイプラ/スタッカに対応した、交換用の HP 製 5,000 本ステイプル カートリッジです。	C8091A
	ステイプル カートリッジ	マルチファンクション フィニッシャに対応した、交換用の HP 製 5,000 本ステイプル カートリッジです。	C8092A
メモリ	DDR SDRAM DIMM (100 ピン)	MFP には、DIMM メモリ用スロットが 2 つあります。片方のスロットには、出荷時に標準設置されるメモリが装着されています。 これで MFP の性能を向上させると、大容量の保存ジョブが処理できるようになります (HP 製 DDR DIMM を使って最大 512MB まで拡張可能)。	Q7715A (64MB) Q7718A (128MB) Q7719A (256MB) Q7720A (512MB)

製品の種類	項目	説明または用途	注文番号
ケーブルおよびインタフェース アクセサリ	拡張 EIO カード	USB、シリアル、および LocalTalk 対応の HP Jetdirect 接続カード	J4135A
		HP Jetdirect 615N プリント サーバー (Fast Ethernet (10/100Base-TX) ネットワーク用) (RJ-45 のみ)	J6057A
		HP 680N ワイヤレス 802.11b 接続	J6058A
		HP Jetdirect 625N プリント サーバー (Fast Ethernet (10/100/1000Base-TX) ネットワーク用)	J7960A
	アナログ ファクス	MFP を単独のアナログ ファクス機として機能させるためのアクセサリ (お客様の側で装着可能)。	Q3701A
その他のソフトウェア機能	HP Digital Sending Software	拡張デジタル送信機能 (ネットワーク認証など) を備えたソフトウェア アクセサリ。	T196AA
保守キット	プリンタ保守キット	キットには、タイプ 1 のローラー (2 個)、タイプ 2 のローラー (7 個)、トランスファー ローラー アセンブリ (1 個)、フューザ アセンブリ (1 個) が同梱されています。	C9152A (110V) C9153A (220V)

B　サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 限定保証書条項

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet M9040 MFP および HP LaserJet M9050 MFP	1 年間のオンサイト保証

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。この保証期間中に HP が材料上または製造上の不具合に関する通知を受領した場合、HP は同社の裁量によって不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェア メディアの交換を行います。

HP は、HP 製品の使用における中断やエラーがないことを保証するものではありません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

この保証は、(a) 不適切または不十分な保守やキャリブレーション、(b) HP 以外の業者により供給されたソフトウェア、インタフェース、部品、またはサプライ品の使用、(c) 権限のない改ざんや不正使用、(d) その製品の対象とする印刷環境仕様外での使用、または (e) 使用場所の不適切な準備および保守状態などに起因する不具合には適用されません。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。 HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。上記の規定以外は、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害やデータの損失に対して HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。2) お客様による修理がオプションである部品。これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうかが指定されています。欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

プリント カートリッジ限定保証条項

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはデバイス製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を (不具合に関する書面と印刷サンプルを添付して) 購入店に返品するか HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

HP カスタマ ケア

オンライン サービス

最新の HP デバイス固有のソフトウェア、製品情報、およびサポート情報には、インターネット経由で 24 時間アクセス可能です。次の Web サイトを参照してください。www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp.

HP Jetdirect 外付けプリント サーバーの情報については、www.hp.com/support/net_printing を参照してください。

HP Instant Support Professional Edition (ISPE) とは、デスクトップ コンピュータや印刷関連製品のトラブルシューティングを目的とした一連の Web ベース ツールの総称です。instantsupport.hp.com を参照してください。

電話サポート

HP では保証期間中に無料電話サポートを提供しています。お客様がお住まいの国/地域のサポート電話番号については、デバイスに同梱のリーフレット、または www.hp.com/support をご覧ください。電話でお問い合わせいただく前に、 製品名およびシリアル番号、購入日、問題の発生状況などの情報をご用意ください。

ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、およびオンライン情報

www.hp.com/go/ljm9040mfp_software または www.hp.com/go/ljm9050mfp_software

ドライバが公開されている Web ページは英語ですが、各言語のドライバをダウンロードすることができます。

アクセサリおよびサプライ品の HP へのご注文

- 米国：www.hp.com/sbso/product/supplies
- カナダ：www.hp.ca/supplies
- ヨーロッパ：www.hp.com/supplies
- アジア太平洋：www.hp.com/paper

HP 純正の部品またはアクセサリを注文するには、HP Parts Store (www.hp.com/buy/parts) (米国とカナダのみ) にアクセスするか、1-800-538-8787 (米国) または 1-800-387-3154 (カナダ) までお問い合わせください。

HP サービス情報

HP 認定販売店情報については、1-800-243-9816 (米国) または 1-800-387-3867 (カナダ) にお問い合わせください。

米国およびカナダ以外の場合は、お客様の居住する国/地域のカスタマ サポート窓口までお問い合わせください。電話番号については、デバイスに同梱のリーフレットをご覧ください。

HP サービス契約

1-800-HPINVENT (1-800-474-6836 (米国)) または 1-800-268-1221 (カナダ) までお問い合わせください。または、HP サポートパックおよび Carepaq™ サービスの Web サイト www.hpexpress-services.com/10467a を参照してください。

延長サービスについては、1-800-446-0522 までお問い合わせください。

HP Easy Printer Care

デバイスのステータスおよび設定を確認したり、トラブルシューティング情報およびオンライン マニュアルを表示したりするには、HP Easy Printer Care を使用します。HP Easy Printer Care を使用するには、ソフトウェアをフル インストールする必要があります。160 ページの 「HP Easy Printer Care」を参照してください。

Macintosh コンピュータに関する HP のサポートおよび情報

Macintosh OS X サポート情報と、ドライバの更新に関する HP 購読サービスについては、www.hp.com/go/macosx を参照してください。

Macintosh ユーザー用の製品については、www.hp.com/go/mac-connect を参照してください。

C 仕様

物理仕様

表 C-1 寸法

モデル	高さ	奥行き	幅	重量 [1]
HP LaserJet M9040 MFP	1219mm	1085mm	1334mm	143kg
HP LaserJet M9050 MFP	1219mm	1085mm	1334mm	143kg

[1] プリント カートリッジなしでの重量

表 C-2 すべてのドアとトレイを完全に開いた状態での寸法

モデル	高さ	奥行き	幅
HP LaserJet M9040 MFP	1664mm	1296mm	2501mm
HP LaserJet M9050 MFP	1664mm	1296mm	2501mm

電気的仕様

⚠ **警告！** 電源条件は、販売された国/地域によって異なります。稼動電圧を変換しないでください。デバイスが損傷を受ける可能性があり、保証の対象外となる場合があります。

表 C-3 電源条件

仕様	110 ボルト対応モデル	220 ボルト対応モデル
電源条件	100 ～ 127Vac 50/60Hz	220 ～ 240Vac 50/60Hz
定格電流	12A	5.3A

表 C-4 消費電力 (平均値、単位は W)[1]

モデル	印刷時 [2]	コピー時 [2]	印刷可または スタンバイ [4]	スリープ 1[3]、[5]	スリープ 2	オフ
HP LaserJet M9040 MFP	1070W	1120W	305W	221W	59W	0.9W
HP LaserJet M9050 MFP	1130W	1160W	305W	221W	59W	0.9W

[1] 値は予備データに基づいています。最新の情報については、www.hp.com/go/ljm9040mfp/regulatory または www.hp.com/go/ljm9050mfp/regulatory をご覧ください。

[2] 消費電力は、標準電圧で測定されたすべての値のうちの最大値です。

[3] 印刷可モードからスリープ 1 に移行するデフォルト時間は 15 分、スリープ 2 に移行するデフォルト時間は、90 分 (HP LaserJet M9050 MFP) または 60 分 (HP LaserJet M9040 MFP) です。

[4] 印刷可モードでの熱損失は、1045BTU/時 (HP LaserJet M9050 MFP)、または 1045BTU/時 (HP LaserJet M9040 MFP) です。

[5] スリープ 1 から印刷開始までの復帰時間は 20 秒、スリープ 2 から印刷開始までの復帰時間は 145 秒です。

AE (acoustic emissions：アコースティック エミッション)

表 C-5 発生騒音レベル [1,2]

発生騒音レベル	ISO 9296 に準拠
印刷時 [3]	L_{WAd}= 7.4Bel (A) [74dB(A)]
準備完了	実質的に無音

[1] 値は予備データに基づいています。最新の情報については、www.hp.com/go/ljm9040mfp/regulatory または www.hp.com/go/ljm9050mfp/regulatory をご覧ください。

[2] テスト時の構成：排紙デバイスなしで、ADF を使用して A4 用紙の印刷とスキャンを連続で行うベース ユニット。

[3] 印刷速度は、50ipm (HP LaserJet M9050 MFP) または 40ipm (HP LaserJet M9040 MFP) です。

表 C-6 音圧レベル [1,2]

音圧レベル	ISO 9296 に準拠
印刷時/コピー時 [3]	L_{pAm}=58dB (A)
準備完了	実質的に無音

[1] 値は変更されることがあります。最新の情報については、www.hp.com/support/ljm9040mfp または www.hp.com/support/ljm9050mfp をご覧ください。

[2] テスト時の構成：排紙デバイスなしで、ADF を使用して A4 用紙の印刷とスキャンを連続で行うベース ユニット。

[3] 印刷速度は、50ipm (HP LaserJet M9050 MFP) または 40ipm (HP LaserJet M9040 MFP) です。

動作環境

表 C-7 必要条件

環境条件	推奨	許容値
温度 (デバイスおよびプリンタ カートリッジ)	17.5 ～ 25.0°C (63 ～ 77°F)	0 ～ 40°C (32 ～ 104°F)
相対湿度	30 ～ 70%	0 ～ 95%

注記： デバイスの最適なパフォーマンスは、温度と湿度が仕様の推奨範囲内にある場合に保証されます。仕様の許容範囲外の温度や湿度でデバイスを動作させると、印刷品質が低下したり紙詰まりの発生率が高くなったりすることがあります。

D　規制に関する情報

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class A デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する

注記： HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class A 基準に準拠するには、シールド付きインターフェース ケーブルを使用してください。

環境に関するプロダクト スチュワードシップ プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

印刷可モードまたはスリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。この製品の ENERGY STAR® 認定ステータスを確認するには、製品データ シートまたは仕様シートを参照してください。認定製品は、以下のサイトのリストにも示されています。

http://www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/productdesign/ecolabels.html

トナーの消費

Economode ではトナーの使用量が大幅に低減し、プリント カートリッジの耐用性が高まることが期待できます。

用紙の使用

本製品に装備されている手動またはオプションの自動両面印刷機能、および N-UP 印刷機能 (1 枚の用紙に複数ページを印刷する機能) によって、用紙の使用量を削減し、最終的には自然資源の節約にも貢献します。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

空になった HP LaserJet プリント カートリッジは、HP Planet Partners が無料で回収し、リサイクルします。新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。複数のカートリッジをまとめて回収すれば、環境税も節約できます。

HP では、製品設計および製造から販売、お客様によるご使用、そしてリサイクルに至るまで、環境に優しく、先進的で高品質の製品およびサービスを提供するよう努力しています。HP Planet Partners プログラムにご参加いただくことで、ご使用いただいた HP LaserJet プリント カートリッジは、適切にリサイクルされ、プラスチック部と金属部は新たな製品に使用するために生まれ変わり、埋立地から何百万トンもの廃棄物が削減されます。このカートリッジはリサイクルされ、新しい材料に使用されるため、お客様の元には戻りません。環境への私たちの取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

注記： オリジナルの HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ、回収ラベルをご使用ください。このラベルは、HP インクジェット カートリッジ、HP カートリッジ以外のカートリッジ、再充填または改ざんしたカートリッジ、または保証による返却には使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルの詳細については、http://www.hp.com/recycle をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

複数のカートリッジの回収 (2 ～ 8 個の場合)

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. ストラップ テープまたはパッケージ テープを使用して、最大 8 個の箱をテープでまとめます (最大重量は 31.5 kg)。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 所有の適当な箱を使用するか、または http://www.hp.com/recycle または 1-800-340-2445 に問い合わせて、無料の一括回収用ボックスを請求してください (HP LaserJet プリント カートリッジを 8 個まで収容できます)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

すべての HP LaserJet プリント カートリッジのリサイクル回収で、次回の集配時に UPS にパッケージを渡すか、または公認の UPS 持ち込みセンタにお持ちください。最寄りの UPS 持ち込みセンタについては、1-800-PICKUPS にお電話いただくか、または http://www.ups.com をご覧ください。USPS ラベルを使用して返却する場合は、パッケージを郵便配達員に渡すか、または郵便局に直接お持ち込

みください。詳細、および一括回収用の追加ラベルまたはボックスの注文については、http://www.hp.com/recycle を参照するか、または 1-800-340-2445 までお問い合わせください。UPS 収集を依頼すると、通常の収集料金がかかります。情報は予告なく変更される場合があります。

米国以外の回収

HP Planet Partners 回収およびリサイクル プログラムに参加するには、リサイクル ガイドの簡単な指示 (新しいプリンタのサプライ品のパッケージ内にあります) または http://www.hp.com/recycle をご覧ください。HP LaserJet 印刷用サプライ品の回収方法について、お住まいの国/地域を選択します。

用紙

この製品では、用紙が『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

この HP 製品には、スキャナとコントロール パネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP LaserJet M9040 および HP LaserJet M9050 デバイス	
タイプ	フッ化黒鉛リチウム電池 BR1632
重量	1.5g
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質 (トナーなど) が含まれているサプライ品の化学物質安全データシート (MSDS) は、HP Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment で入手できます。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

国/地域ごとの規定

適合宣言

適合宣言

適合規格：ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造者名：	Hewlett-Packard Company
製造者住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

宣言対象製品

製品名：	HP LaserJet M9040/ M9050 MFP シリーズ
付属物：	2000 枚給紙フィーダ ユニット (C8531A) 8 ビン メールボックス (Q5693A)(GUADA-0401-00)
規制モデル番号 [2)]**：**	BOISB-0403-01
製品オプション：	すべて
トナー カートリッジ	C8543X

次の製品仕様に準拠しています。

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001 + A11 IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 +A1 +A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC (電磁適合性)：	CISPR22:2005 / EN 55022:2006 - クラス A[1)、3)] EN 61000-3-2:2000 +A2 EN 61000-3-3:1995 +A1 EN 55024:1998 +A1 +A2 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A / ICES-003, Issue 4 GB9254-1998, GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は、EMC 指令 2004/108/EC および低電圧指令 2006/95/EC の条件を満たしており、当該指令で規定されている CE マーク CE を貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1) 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 規制上の理由により、本製品には規制のモデル番号が割り当てられています。この番号は、製品名や製造番号とは異なるので注意してください。

3) 警告：本製品はクラス A 製品です。屋内の環境下で、本製品が電波障害の原因になる場合もあります。このような問題が発生するときは、ユーザーが適切な処置を講じることが必要になる場合があります。

Boise, Idaho , USA

2007 年 7 月 23 日

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパでの問い合わせ先：	最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straáe 140,, D-71034 Böblingen, ドイツ, (FAX：+49-7031-14-3143), www.hp.com/go/certificates
米国内の問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160,, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号：208-396-6000)

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラ

ス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

⚠ **警告！**　このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

《 Conforme la classe A des normes canadiennes de compatibilit lectromagntiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

A급 기기 (업무용 정보통신기기)

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

EMI 規格 (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

レーザー製品に関する規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet M9040, M9050, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet M9040, M9050 - kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen. Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

索引

し

す

な

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

れ

ろ

わ